

モクレポ



○戸田建設オフィス TODA CREATIVE LAB (東京都中央区)
※ウッドデザイン賞2025奨励賞 (審査委員長賞)

令和8年4月

No.55

特集

- 「第6回木材利用促進本部」の開催
- 建築物木材利用促進協定を締結 日本繊維板工業会×国 (農林水産省・経済産業省・国土交通省・環境省)
- 建築物木材利用促進協定を締結 清水建設株式会社×国 (農林水産省)
- 建築物木材利用促進協定を締結 戸田建設株式会社×国 (農林水産省)
- 「『森の国・木の街』づくり宣言」の募集を継続
- 「第24回聞き書き甲子園フォーラム」の開催
- 「令和7年度山村と企業をつなぐフォーラム」の開催
- 木材産業における外国人材受入れセミナーの開催
- 二国間クレジット制度 (JCM) における森林分野のルールをカンボジアとの間で承認
- 国連森林フォーラム (UNFF) 「持続可能な森林ベースのバイオエコノミーアプローチの促進」イニシアティブ・グローバルサミット

このレポートは、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表するものです。林業・木材産業関係者の事業活動に役立てていただくことを目指しています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬に公表。公表日の5営業日前に入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあります。
3. 調査方法の見直しに伴い、データが接続しない場合があります。

CONTENTS 令和8年4月号

特集	1 「第6回木材利用促進本部」の開催	…1
	2 建築物木材利用促進協定を締結 日本繊維板工業会×国（農林水産省・経済産業省・国土交通省・環境省）	…2
	3 建築物木材利用促進協定を締結 清水建設株式会社×国（農林水産省）	…3
	4 建築物木材利用促進協定を締結 戸田建設株式会社×国（農林水産省）	…4
	5 「『森の国・木の街』づくり宣言」の募集を継続	…5
	6 「第24回聞き書き甲子園フォーラム」の開催	…6
	7 「令和7年度山村と企業をつなぐフォーラム」の開催	…7
	8 木材産業における外国人材受入れセミナーの開催	…8
	9 二国間クレジット制度（JCM）における森林分野のルールをカンボジアとの間で承認	…9
	10 国連森林フォーラム（UNFF）「持続可能な森林ベースのバイオエコノミーアプローチの促進」イニシアティブ・グローバルサミット	…10
01	基礎的指標	
	1 新設住宅着工戸数	…11
	2 新設住宅着工床面積 <参考>非居住用建築物着工床面積	…12
	3 木材産業の業況	…14
	4 USドル及びユーロ為替相場	…15
	5 米国民間新設住宅着工戸数、日本向けコンテナ運賃	…16
	6 中国の木材輸入量の動向	…17
02	木材価格情報	
	1 スギ・ヒノキ原木の主要市場価格	…18
	2 木材価格（農林水産統計）	…20
03	木材需給情報	
	1 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向	…31
	2 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向	…32
	3 チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向	…33
	4 燃料材（国内生産）利用量、紙品種別生産高	…34
	5 素材生産量	…35
	6 木材生産の産出額	…36
04	林産物輸出入情報	
	1 林産物輸出額	…37
	2 木材輸出額	…38
	3 木材輸入額	…39
	4 木材輸入量	…40
	5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価	…46
05	特用林産情報	
	1 特用林産物の国内生産量	…47
	2 特用林産物の産出額	…48
	3 特用林産物の輸出入量	…49
	4 特用林産物の輸出額	…50
	5 中国からのしいたけ菌糸輸入量	…53
	6 きのご類の卸売数量・単価	…54
06	セミナー・イベント情報	
	4月中旬以降の開催情報	…55
お知らせ	GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）	…56
	ウッドデザイン賞2026「あなたのおすすめウッドデザイン」キャンペーン	…58
	森林の土地を取得したときは届出が必要です	…59
	クリーンウッド法 木材の合法性確認を支援します！	…61
	クリーンウッド法 定期報告のご提出をお願いします	…62
	ウッド・チェンジ ロゴマーク活用のご案内	…63
	林業・木材産業災害復旧対策保証及びの借換資金に係る保証の概要	…64
	みどり認定を受けてみませんか？	…65
森林保険に関するお知らせ	…67	
企業における森のプログラム活用 普及動画&パンフレットのご案内	…68	

特集-1 「第6回木材利用促進本部」の開催

- 2026年3月27日、都市（まち）の木造化推進法（※）に基づく第6回木材利用促進本部（本部長：農林水産大臣）を開催。
- 今回の会合は、木材利用促進本部として初めて外部で開催し、「令和7年度建築物における木材の利用の促進に向けた措置の実施状況の取りまとめ」の決定や、各省からの木材利用促進の取組の報告、建築物木材利用促進協定締結者による取組の報告を実施。

（※）脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律

■ 第6回木材利用促進本部の開催概要

開催日：2026年3月27日

会場：TODA BUILDING 戸田建設本社9階 特別応接室

出席者：鈴木農林水産大臣（本部長）、金子国土交通大臣、高橋総務副大臣、中村文部科学副大臣、青山環境副大臣、小森経済産業大臣政務官、戸田建設株式会社 大谷代表取締役社長、日本マクドナルド株式会社 青木店舗開発本部部長

▶ 「令和7年度建築物における木材の利用の促進に向けた措置の実施状況の取りまとめ」の概要

- 国が整備する公共建築物のうち積極的に木造化を促進するとされた公共建築物の木造化率は100%。
- 建築物木材利用促進協定について、2025年12月末時点で国28件、地方公共団体192件を締結。
- 中高層木造建築物の床面積は前年と同じだったが、過去10年で見ると増加傾向。

▶ 日本マクドナルド株式会社による木材利用促進の取組に関する報告の概要

- 2018年までのドライブスルー店舗はほぼ全てが鉄骨造だったが、2023年に農林水産省と建築物木材利用促進協定を締結し3年間で、計386店舗で5,566㎡の国産木材を使用。国産材率88%の店舗の事例も出てきている。
- 今後、年間150店舗程度の建設予定のうち、6～7割を占めるドライブスルー店舗において木造化を推進。国産材率100%の木造店舗の建設にも取り組む。



本部の様子



出席者集合写真

「令和7年度建築物における木材の利用の促進に向けた措置の実施状況の取りまとめ」の詳細は、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/koukyou/kentikubutusoti.html>



- 「建築物木材利用促進協定」制度は、建築主となる事業者等と国又は地方公共団体が協定を締結し、建築物における木材利用を促進する制度。
- 農林水産省は、2026年3月10日に国として30件目となる協定を日本繊維板工業会と締結。

■ 日本繊維板工業会との協定の概要

協定名：木質ボードの利用拡大による脱炭素社会・循環型社会の実現に向けた建築物木材利用促進協定

協定期間：2026年3月10日～2031年3月31日

対象区域：全国

主な取組：

- ① 会員企業に対し全国の木材関連事業者をつなぐマッチングサイト「もりんく」への企業情報の掲載やその掲載情報の充実化を促す。
- ② 木質ボードの使用部位・用途の拡大に向けた技術開発の推進及び建築物のLCCO2評価に寄与すべく木質ボードの原単位の整備を進め、環境効果及びSHK制度等についてセミナー等を開催し設計・施工者等へ周知する。
- ③ 本協定期間内に2025年比10%のCO2排出量削減に取り組むとともに、建築物のLCCO2評価を通じた木材利用のライフサイクルカーボンの可視化・情報発信を推進する。
- ④ 未利用材や廃木材、被災木材の木質ボードの原料化への取組を関係団体等と連携して進める。



【協定締結の様子】

(左から) 国土交通省 審議官 豊嶋 太朗
 経済産業省 審議官 田中 一成
 日本繊維板工業会 会長 徳田 正則
 農林水産省 林野庁林政部長 清水 浩太郎
 環境省 審議官 西村 治彦



木質ボードを内装部材や構造用壁材などに利用した建築物



使用部位・用途拡大に向けた技術開発の取組み
 (耐火性能を検証するための試験の様子)

① 建築物木材利用促進協定制度の詳細は、次のURLをご覧ください。
https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/mokuri_kyoutei/index.html

② これまで国が締結した協定の詳細は、次のURLをご覧ください。
https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/mokuri_kyoutei/zisseki.html



①



②

- 「建築物木材利用促進協定」制度は、建築主となる事業者等と国又は地方公共団体が協定を締結し、建築物における木材利用を促進する制度。
- 農林水産省は、2026年3月13日に国として31件目となる協定を清水建設株式会社と締結。

■ 清水建設株式会社との協定の概要

協定名：森林循環に貢献する木質建築の推進により持続可能な社会の実現を目指す
建築物木材利用促進協定

協定期間：2026年3月13日～2031年1月31日

対象区域：全国

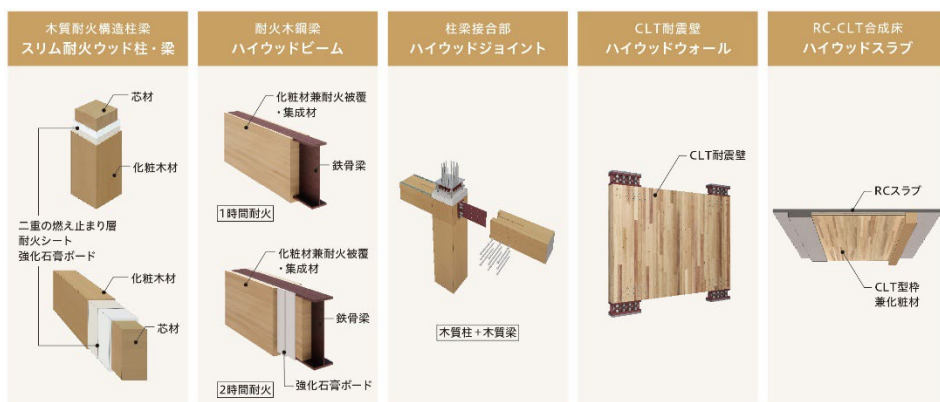
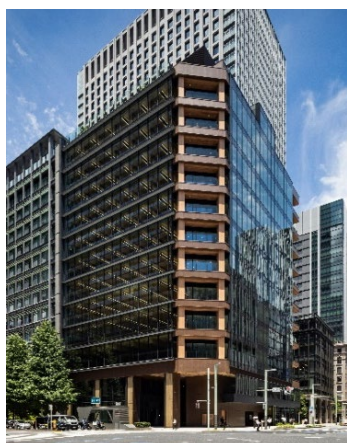
主な取組：

- ①低層から高層・大空間まで様々な用途の木質建築を推進する。また、顧客・社会に国産材の活用・木質建築のPRに努める。
- ②耐火性・耐震性に優れた木質建築技術「シミズ ハイウッド®」等の開発を推進する。
- ③持続可能な循環型の木材利用の一端を担うため、地元自治体などと協力し、植林、育林などを行う「シミズめぐりの森」プロジェクトを実施する。
- ④東京木工場における木工教室や木育活動、岐阜県立森林文化アカデミーとの相互交流を通じて、木材に関わる人材の育成に取り組む。
- ⑤東京木工場やNOVARE・旧渋沢邸を中心に木の文化と木造技術の継承を行うための見学会や木の良さを社会に伝える情報発信に努める。



【協定締結の様子】

(左) 清水建設株式会社
代表取締役社長 新村 達也
(右) 農林水産副大臣 山下 雄平



清水建設が設計・施工した木造ハイブリッド構造オフィスビル「第一生命京橋キノテラス」(2025年7月竣工) 及び木質建築技術「シミズ ハイウッド®」シリーズ

- ①建築物木材利用促進協定制度の詳細は、次のURLをご覧ください。
https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/mokuri_kyoutei/index.html
- ②これまで国が締結した協定の詳細は、次のURLをご覧ください。
https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/mokuri_kyoutei/zisseki.html



①

②

建築物木材利用促進協定を締結 戸田建設株式会社×国（農林水産省）

- 「建築物木材利用促進協定」制度は、建築主となる事業者等と国又は地方公共団体が協定を締結し、建築物における木材利用を促進する制度。
- 農林水産省は、2026年3月27日に国として32件目となる協定を戸田建設株式会社と締結。

■ 戸田建設株式会社との協定の概要

協定名：2050年カーボンニュートラルの実現とサステナブルな社会の構築に向けた
建築物木材利用促進協定

協定期間：2026年3月27日～2030年12月31日

対象区域：全国

主な取組：

①木造・木質化の推進

- ・プロポーザル等において木造・木質化を積極的に提案する。
- ・戸田建設が設計・施工する案件や所有する施設における木造・木質化を推進する。

②技術開発等の推進

- ・中高層建築物に活用可能な木質混構造技術や純木造技術の開発を推進するとともに、木造化の設計・施工技術について強化する。
- ・木質材料の建築物への適用条件について、耐久性、耐候性を含めた試験等を行い木材利用可能な領域を拡大する。

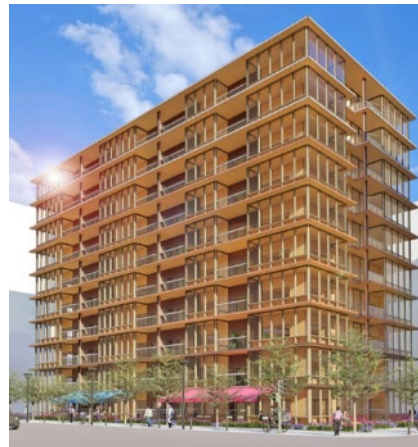


【協定締結の様子】

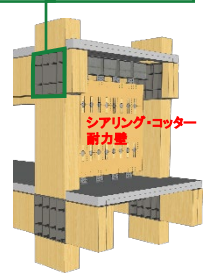
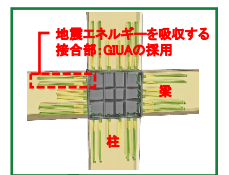
(右) 戸田建設株式会社
代表取締役社長 大谷 清介
(左) 農林水産大臣 鈴木 憲和



戸田建設、住友林業、シェルターが連携し施工中の
「渋谷マルイ」



市浦ハウジング&プランニングなどと共同で開発した
「P&UA構法」



①建築物木材利用促進協定制度の詳細は、次のURLをご覧ください。

https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/mokuri_kyoutei/index.html

②これまで国が締結した協定の詳細は、次のURLをご覧ください。

https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/mokuri_kyoutei/zisseki.html



①



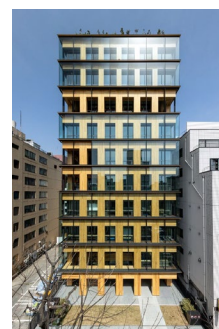
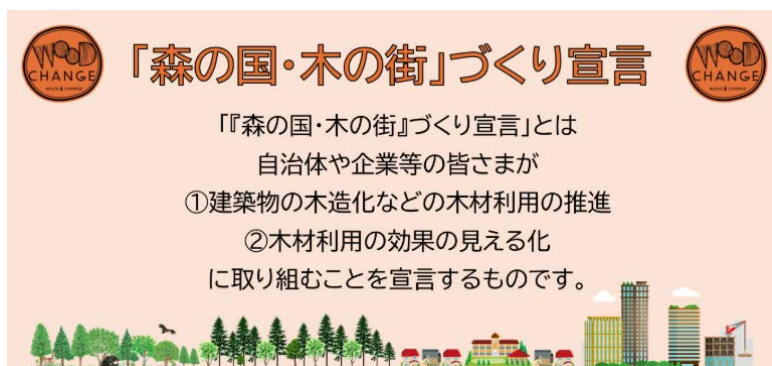
②

特集-5 「『森の国・木の街』づくり宣言」の募集を継続

- 林野庁は、2025年10月1日から2026年3月31日まで「『森の国・木の街』づくり宣言」に参画する自治体・企業等の募集を実施。現在、「『森の国・木の街』づくり宣言」の宣言者が400者超え。
- 令和8年4月以降も募集を継続。

■ 「『森の国・木の街』づくり宣言」について

- 本格的な利用期を迎えている森林資源を循環利用し、全国で街の木造化を進める「森の国・木の街」づくりの実現に向けて、林野庁では令和7年10月から「『森の国・木の街』づくり宣言」を募集中。



Port Plus 大林組横浜研修所

■ これまでの宣言状況

○これまでに**435**の自治体・企業等が宣言。(令和8年3月31日時点)

【内訳】 都道府県:35 市町村等:70 企業・団体:330

- 林業・木材関係者や、ゼネコン・工務店等の建築関係者に加え、家具、不動産、食品、商工、コンビニ、学校、クリニックなど幅広い分野から参画。

■ 宣言のメリット

- ◎建築物等への木材利用を通じて、サステナブルな社会の実現に貢献していくことを宣言できる
- ◎宣言に参画いただいた自治体・企業・団体の皆様を林野庁のウェブサイトで公表
- ◎環境意識の高い自治体・企業等として社会的評価の向上につながることを期待
- ◎林野庁から、建築物への木材利用に係る施策や補助金などに関連する情報を提供

■ 林野庁補助事業の申請要件

- ・令和8年5月下旬ごろ募集予定の中高層等JAS構造材実証支援事業について、「森の国・木の街」づくり宣言者であることが申請要件に設定される見込みです。

- ①宣言及び募集の詳細については、次のURLをご覧ください。
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/rinyahp/20251001-1.html>
- ②令和8年度の中高層等JAS構造材実証支援事業については、次のURLをご覧ください。
https://www.jas-kouzouzai.jp/news/86_index_detail.php



①



②

特集-6 「第24回聞き書き甲子園フォーラム」の開催

- 聞き書き甲子園実行委員会（農林水産省・文部科学省・環境省・（公社）国土緑化推進機構・NPO法人共存の森ネットワーク・NPO法人地球緑化センター）は、2026年3月22日に「第24回聞き書き甲子園フォーラム」を開催。
- 本フォーラムでは、「第24回聞き書き甲子園」に参加した高校生による93作品の中から選ばれた優秀作品に農林水産大臣賞等を授与。受賞した3組の高校生と名人、作家の塩野米松氏、文筆家の阿部佐和子氏の対談を実施。

- 「聞き書き甲子園」とは、高校生が、森・川・海の名人を訪ね、1対1でその知恵や技、生き方を「聞き書き」し、その成果を発信する活動。
- 林野庁長官賞を受賞した東京都の高校2年生大井さんは、長年、岩手県内で森林組合の職員として山づくりを手がけてきた阿部さんの言葉を「聞き書き」。
- 対談では、高校生から、「林業と農業は循環の中でつながっていて、人の営みさえも自然とのつながりがあることに気付いて驚いた」、名人から、「東京から高校生が来てくれて、山に目を向けてくれたことが非常に嬉しかった」等の話があり、「聞き書き」により高校生と名人の心が通い、高校生の森・川・海のつながりの理解につながったことが伺えた。



フォーラムで対談する林業（造林）名人の阿部さん（写真中央）と高校生の大井さん（写真左）

<第24回聞き書き甲子園 受賞作品>



農林水産大臣賞を受賞した田上さん（写真左）



農林水産大臣賞 「『一焼百生（いっしょうひやくしょう）』
～動物と、あなたとかちやーり～」

田上 葵さん（宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校 5年）
〔名人〕椎葉 勝さん（宮崎県椎葉・西米良地域／伝統農法（焼畑））



文部科学大臣賞 「人間の五感と山菜って調和してるの」

柴山 一花（宮城県古川高等学校 2年）
〔名人〕中川 ツヨさん（秋田県藤里町／郷土料理）



環境大臣賞 「日本ミツバチに魅せられて

～次世代に繋ぎたい養蜂家という仕事～

後藤 ゆい（岡山県 鹿島朝日高等学校 2年）
〔名人〕山田 高男さん（愛媛県松野町／養蜂）



林野庁長官賞 「助け合いの組織で山をつくる」

大井 やよい（東京都 中央大学杉並高等学校 2年）
〔名人〕阿部 政夫さん（岩手県東稲山麓地域／林業（造林））



ファミリーマート特別賞 「山は身心なり

～生きているものを、生かして使う～

橋 葵衣（金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校 2年）
〔名人〕一瀬 裕子さん（京都府京都市／森の恵み採取）

※その他審査員特別賞 3 作品、優秀写真賞 1 作品

○「第24回聞き書き甲子園」受賞作品は、2026年12月頃に「聞き書き電子図書館」に掲載予定です。

「聞き書き甲子園」の関連情報については、次のURLをご覧ください。

<https://www.kikigaki.net/>



特集-7 「令和7年度山村と企業をつなぐフォーラム」の開催

- 2026年2月25日に、木材会館（東京都江東区）において、「令和7年度山村と企業をつなぐフォーラム」を開催。
- 同フォーラムは、豊かな森林空間を活用した体験プログラム（森のプログラム）を提供する山村地域と森のプログラムを活用したい企業等をつなぐことが目的。企業、団体や自治体など、会場とオンライン合わせて約360名が参加。
- 前半は、2本の基調講演、企業の活用事例、登壇者によるトークセッションを実施。
- 後半は、森林サービス産業推進地域からのプレゼンテーションや推進地域毎にブースを設置し、企業等と交流。

■ 講演・発表内容

- 基調講演1では、武蔵野大学ウェルビーイング学部長・教授 前野 隆司氏から、「SDGs・VUCAの時代における自然を活かしたウェルビーイングな組織づくり・人づくり」として、森のプログラムに関する研究知見と企業導入の意義を説明。
- 基調講演2では、株式会社ライジング・フィールド代表取締役社長 森 和成氏から、森での企業研修等による自律型・共創型組織づくりに向けたプログラム設計について、実践を交えて説明。
- 企業の活用事例として次の2社から発表。
 - ① 安全自動車株式会社：中堅層を対象に、協働活動を通じたチームビルディング・リーダーシップ開発を目的として森のプログラムを導入。主体性や組織力向上を実感したことを報告。
 - ② シナネンホールディングス株式会社：経営層を対象に、森林での深い内省と対話を軸としたプログラムを導入。ビジョン創出や組織課題の共有促進に高い効果があったことを報告。
- トークセッションでは、「森のプログラムが企業を変える」をテーマに、企業の組織づくりや人材育成における森のプログラムの活用可能性について意見交換。



前野氏による基調講演

■ 交流会

- 7の森林サービス産業推進地域から各地で提供している森のプログラムや地域の魅力について発信。
- 終了時刻まで積極的に交流する姿が見られた。



推進地域と企業等との交流

■ 参加者の声

- 企業研修と森の体験の効果に新たな発見があった。（企業）
- 企業がどんな事に関心があるのか、どんな活動や体験が求められているのか知れてよかった。（推進地域）

本フォーラム資料や森林空間利用に関する情報などの詳細は、次のサイトをご覧ください。

これからの森業のポータルサイト

森業 portal

森林空間や機能を
活用する新たな取組



https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/morigyo.html

特集-8 木材産業における外国人材受入れセミナーの開催

- 2026年2月11日に、2024年に外国人材の受入れのための特定技能制度の対象分野となった木材産業について、関係者の理解を深めるためのセミナーをインドネシアで開催。
- セミナーには、同日に開催された特定技能評価試験の受験者が多数参加し、今後の就労に向けた意見交換を実施。

■外国人材受入れセミナー

- インドネシア共和国移住労働者保護省から歓迎の挨拶を受けた後、林野庁から、我が国における木材産業の現状や外国人材の受入状況などについて説明。その後、北海道木材産業協同組合連合会から、北海道における外国人材の受入状況や、就労場所となる製材工場等を紹介。
- 参加者からは、安全対策や日本語でのコミュニケーションに関して、多くの質問が出され、活発な意見交換が行われた。



セミナー挨拶
(林野庁)



セミナー説明
(北海道木材産業協同組合連合会)

■ 特定技能評価試験

- 外国人材が特定技能制度により木材産業分野で就労するためには、一定水準の日本語能力試験と木材産業分野の特定技能評価試験の両方に合格する必要。
- 2025年度は国内外で11回の特定技能評価試験を開催。
- 制度が開始されて以降、273名(令和8年3月末時点)の方が試験に合格。今後、特定技能外国人としての活躍が期待。



特定技能評価試験

■ 関連情報

木材産業における外国人材の受入れ（特定技能に関する制度説明資料、試験情報等）については、以下のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/seisankakou/foreigner.html>



- 2026年3月5日、日・カンボジア二国間クレジット制度(JCM)合同委員会にて、パリ協定6条ルールに準拠したJCM森林分野(REDD+※1、植林)の実施ルールが承認※2。
- これまでカンボジアでは、2018年に承認された旧ルールに基づき日本企業等がREDD+プロジェクトを実施。
- 今回承認された新ルールに基づき、今後、同国において、既存のREDD+プロジェクトの更新、新規の植林プロジェクトの登録申請が可能。

※1 途上国における森林減少・劣化からの排出の削減等

※2 2021年に合意されたパリ協定6条実施指針に準拠したJCMの森林分野ルールの承認は、フィリピンに続き2か国目

■ 背景と経緯

• 二国間クレジット制度(JCM)

日本とパートナー国の中で、日本の企業や政府が技術や資金の面で協力して対策を実行し、得られる温室効果ガス(GHG)削減・吸収量を、両国の貢献度合いに応じて配分する仕組み。パリ協定6条に基づき実施。



• カンボジアとのルール協議の経緯

2014年11月：カンボジアと日本との間で、JCMに関する二国間文書に署名。

2018年5月：合同作業部会を経て、JCM-REDD+のルールを承認。

(2024年11月：COP29においてパリ協定6条の詳細な運用ルール決定)

2025年5月：植林も対象に加え、森林分野のJCMルール更新協議開始。

2025年7月：プノンペンでワークショップ。担当部局で更新内容の大枠合意。

2026年3月：合同委員会において、森林分野のJCMルールを承認。



2025年のワークショップの様子

■ カンボジアでのREDD+の取組

実施者 三井物産株式会社、コンサベーション・インターナショナル、カンボジア環境省が契約を締結し実施。

対象地 プレイロング野生生物保護区

期間等 第1フェーズ：2018-2021、第2フェーズ：2022-
(2018-2020年の緩和成果を2023年に発行)

実施内容 下記取組等を通じ、森林減少を抑制

- ・保護区管理(計画策定、違法伐採の取り締まり等)の支援
- ・パトロールや生物多様性モニタリングに用いるテクノロジーの導入
- ・コミュニティの自立した持続的生計手段の支援
⇒ハチミツ生産、鶏飼育グループ、農業生産等のグループ(組合)の設立
⇒コミュニティに対する資金管理トレーニング
⇒ブランド米であるIBIS Rice(参考訳:トキ米)を導入し、農家の収入向上



▲コミュニティへの技術支援



▲違法な開墾の取り締まり



▲トキ米の導入

©Conservation International Cambodia

① JCMでのREDD+や植林の推進については次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kaigai/index.html#reddjcm3>



①



②

② JCM公式サイトは次のURLをご覧ください。

<https://www.jcm.go.jp/>

特集-10 国連森林フォーラム（UNFF）「持続可能な森林ベースのバイオエコノミーアプローチの促進」イニシアティブ・グローバルサミット

- 2026年2月23日～25日にオーストリア・ウィーンで、国連森林フォーラム（UNFF）の枠組みの下で各国が自主的にテーマを定めて実施する「国及び組織主導イニシアティブ」として、オーストリアが主導している「持続可能な森林ベースのバイオエコノミーアプローチの促進」イニシアティブに係るグローバルサミットが開催。
- 60を超える国、100を超える機関から約260人が現地、約230人がオンラインにより参加。我が国はオーストリアと協働する主要メンバー（パートナー国）として参画。

■ ハイレベルセッション等における対応

- ハイレベルセッションでは、谷村林野庁次長がビデオメッセージにて、我が国のバイオエコノミー戦略において森林資源の活用が位置付けられていること、「森林・林業基本計画」に基づき、森林資源の循環利用をベースとした取組を推進していること等について発言。
- テーマ別セッションでは、出席者が小グループに分かれてグループ討論を実施。「イノベーション」のテーマでは、我が国が司会役として参画。
- ビジネストークセッションでは、民間企業からのパネリストが意見交換を行い、我が国からは住友林業(株)が登壇。



ハイレベルセッションにおける
谷村林野庁次長スピーチ



テーマ別セッションにおける
田端企画官の発表



ビジネストークにおける住友林業(株)
飯塚執行役員の登壇

■ 成果文書

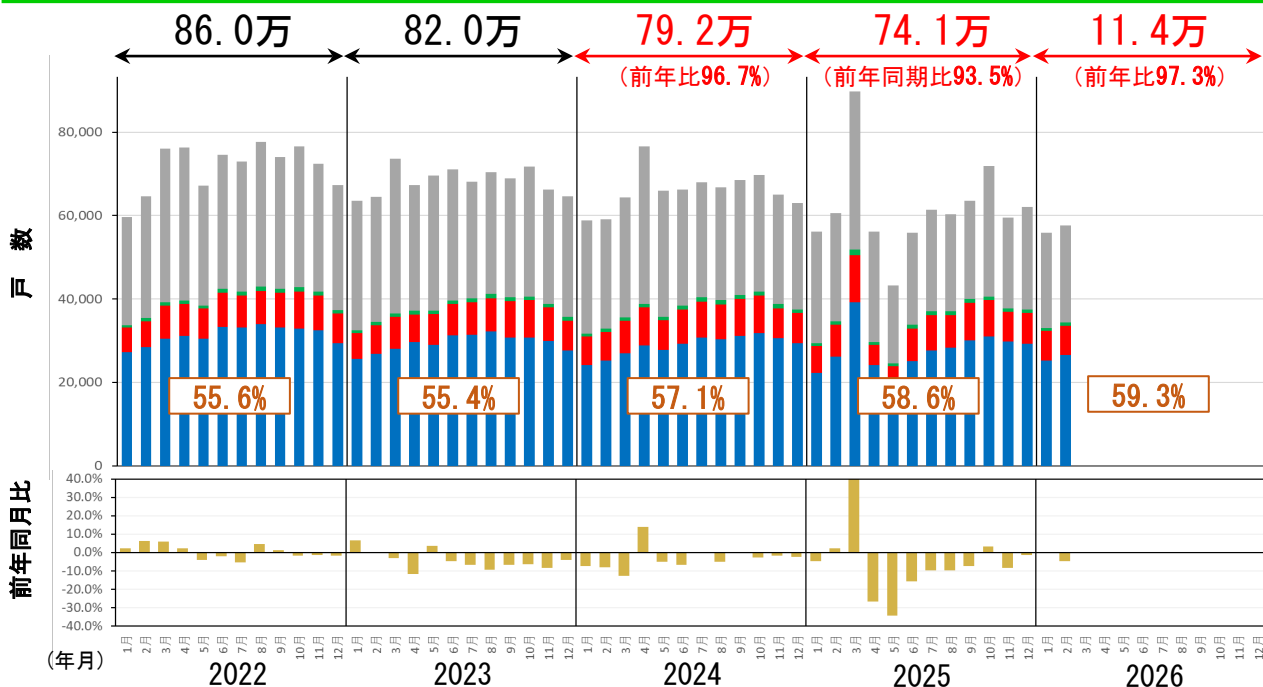
- 本会合では、議論の概要を記載した「共同議長サマリー」のほか、森林ベースのバイオエコノミー促進に向けた「ウィーン行動呼びかけ」を作成。「ウィーン行動呼びかけ」では、以下の5つの優先行動を加速することを記載。
 - ① システム変革に向けたリーダーシップの発揮
 - ② 包摂的なバイオエコノミーの実現
 - ③ ターゲットを絞った財政資源の動員
 - ④ 森林ベースのバリューチェーンとイノベーションを促進する環境の整備
 - ⑤ あらゆるレベルにおける協働パートナーシップの構築
- この成果文書は今後、5月の国連森林フォーラム（UNFF21）、9月のFAO林業委員会（COF028）で報告予定。UNFF21では、本会合で成果報告を行うほか、サイドイベントの開催、決議文への関連事項の記載に向けて、今後検討が進められる予定。

「持続可能な森林ベースのバイオエコノミーアプローチの促進」イニシアティブ・グローバルサミットについては、次のURLをご覧ください。（外部サイト：上記成果文書等を掲載）
<https://www.bmluk.gv.at/en/coli>



基礎的指標-1 新設住宅着工戸数

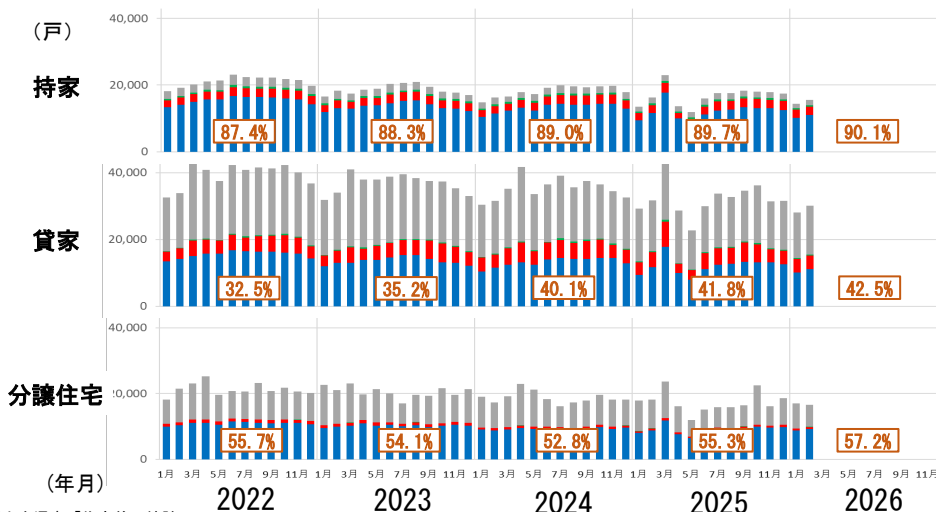
- 2025年の新設住宅着工戸数は、74.1万戸（前年比93.5%）、このうち木造住宅は、43.4万戸（同96.0%）。
- 2026年1～2月の新設住宅着工戸数は、11.4万戸（前年同期比97.3%）、このうち木造住宅は、6.7万戸（同105.0%）。



構造別の着工戸数	2026年 1～2月	2025年 同期	2025年 同期比	2024年 同期	2024年 同期比
合計	113,528	116,717	97.3%	118,018	96.2%
■非木造	46,201	52,569	87.9%	53,328	86.6%
木造	67,327	64,148	105.0%	64,690	104.1%
■木造プレハブ	1,463	1,690	86.6%	1,491	98.1%
■2×4	14,003	14,018	99.9%	13,735	102.0%
■在来軸組	51,861	48,440	107.1%	49,464	104.8%
□木造率	59.3%	55.0%		54.8%	

(単位：戸)

(参考) 利用関係別の着工戸数 (ただし、「給与住宅」を除く。)

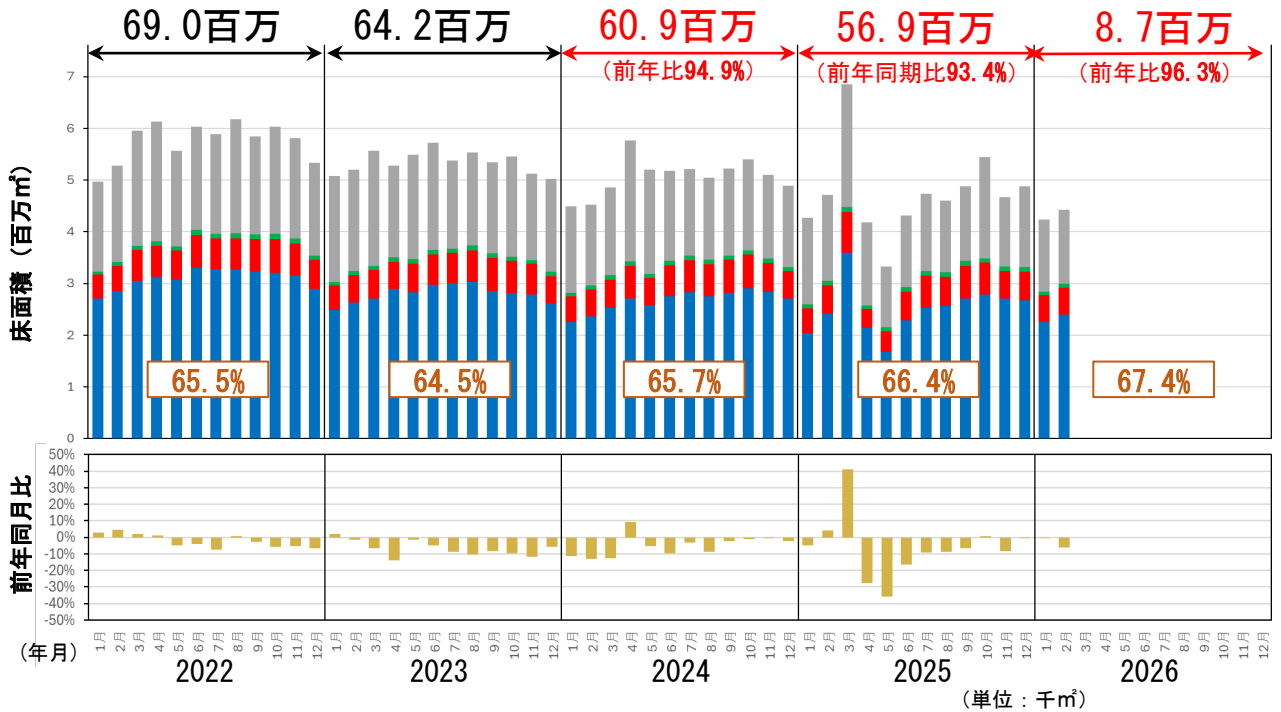


資料：国土交通省「住宅着工統計」

※ 令和7年6月30日に公表値の一部訂正があり、本項の数値は訂正後の公表値に基づいている。

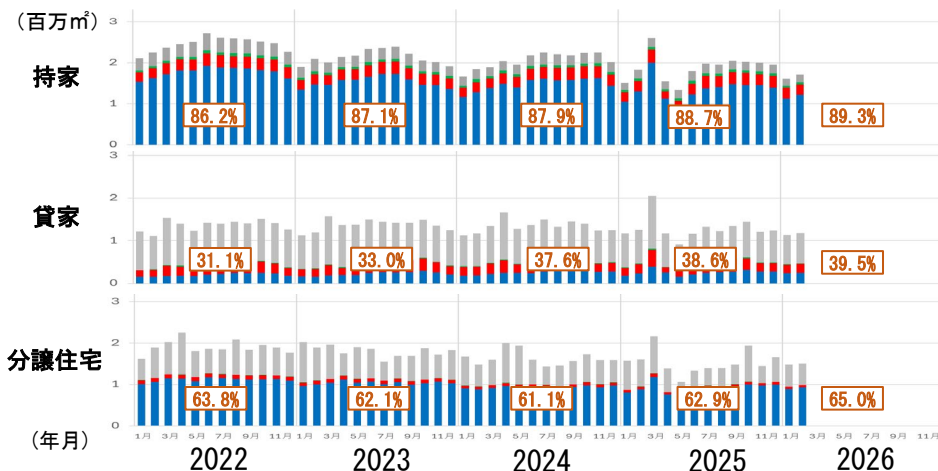
基礎的指標-2 新設住宅着工床面積

- 2025年の新設住宅着工床面積は、56.9百万㎡（前年比93.4%）、このうち木造住宅は、37.8百万㎡（同94.5%）。
- 2026年1～2月の新設住宅着工床面積は、8.7百万㎡（前年同期比96.3%）、このうち木造住宅は、5.8百万㎡（同103.5%）。



構造別の 着工床面積	2026年 1～2月	2025年 同期	2025年 同期比	2024年 同期	2024年 同期比
合計	8,661	8,991	96.3%	9,014	96.1%
■非木造	2,826	3,351	84.3%	3,233	87.4%
木造	5,835	5,639	103.5%	5,781	100.9%
■木造プレハブ	144	157	91.9%	149	96.4%
■2×4	1,037	1,025	101.2%	1,018	101.9%
■在来軸組	4,654	4,458	104.4%	4,615	100.9%
□木造率	67.4%	62.7%		64.1%	

(参考) 利用関係別の着工床面積 (ただし、「給与住宅」を除く。)



資料：国土交通省「住宅着工統計」

※ 令和7年6月30日に公表値の一部訂正があり、本項の数値は訂正後の公表値に基づいている。

<参考> 非居住用建築物着工床面積

(單位:千㎡、%)

年次	月	合計		構造別			
			前年比	木造	前年比	非木造	前年比
2022年	1	3,237	96	214	87	3,023	97
	2	3,711	111	223	93	3,488	112
	3	3,627	85	244	85	3,384	85
	4	4,866	116	285	82	4,581	119
	5	3,920	92	318	104	3,602	91
	6	4,788	112	349	107	4,438	112
	7	4,983	122	346	101	4,637	124
	8	3,980	127	327	109	3,653	129
	9	3,589	97	354	115	3,236	95
	10	3,599	68	300	88	3,299	66
	11	3,512	94	299	102	3,213	93
	12	3,391	71	256	91	3,134	70
2023年	1	3,898	120	216	101	3,682	122
	2	3,570	96	224	100	3,346	96
	3	2,803	77	226	93	2,577	76
	4	4,804	99	306	107	4,498	98
	5	3,254	83	325	102	2,930	81
	6	3,148	66	315	90	2,834	64
	7	3,612	72	278	80	3,333	72
	8	3,523	89	332	102	3,191	87
	9	3,617	101	342	97	3,275	101
	10	4,622	128	292	97	4,330	131
	11	3,170	90	297	99	2,873	89
	12	3,426	101	254	99	3,172	101
2024年	1	3,269	84	199	92	3,071	83
	2	3,105	87	192	86	2,913	87
	3	3,242	116	212	94	3,030	118
	4	4,045	84	272	89	3,773	84
	5	2,874	88	297	91	2,577	88
	6	3,394	108	293	93	3,100	109
	7	3,294	91	285	103	3,009	90
	8	3,053	87	273	82	2,780	87
	9	3,480	96	286	84	3,194	98
	10	3,361	73	279	96	3,081	71
	11	3,149	99	293	99	2,856	99
	12	2,935	86	255	100	2,680	84
2025年	1	2,487	76	201	101	2,286	74
	2	3,181	102	223	116	2,958	102
	3	3,474	107	338	159	3,136	103
	4	4,085	101	300	110	3,786	100
	5	3,531	123	183	62	3,348	130
	6	2,922	86	236	81	2,687	87
	7	2,612	79	291	102	2,321	77
	8	2,578	84	239	88	2,339	84
	9	3,379	97	268	94	3,111	97
	10	3,093	92	298	107	2,795	91
	11	2,360	75	269	92	2,090	73
	12	2,761	94	232	91	2,529	94
2026年	1	2,566	103	213	106	2,354	103
	2	2,833	89	176	79	2,657	90
2022年計		47,203	97	3,515	97	43,688	97
2023年計		43,447	92	3,407	97	40,041	92
2024年計		39,201	90	3,136	92	36,064	90
2025年計		36,463	93	3,078	98	33,386	93
2022年	第1四半期	10,575	96	681	88	9,895	97
	第2四半期	13,574	106	952	97	12,621	107
	第3四半期	12,552	115	1,027	108	11,526	116
	第4四半期	10,502	76	855	93	9,646	75
2023年	第1四半期	10,271	97	666	98	9,605	97
	第2四半期	11,206	83	946	99	10,262	81
	第3四半期	10,752	86	952	93	9,799	85
	第4四半期	11,218	107	843	99	10,375	108
2024年	第1四半期	9,616	94	603	91	9,014	94
	第2四半期	10,313	92	862	91	9,450	92
	第3四半期	9,827	91	844	89	8,983	92
	第4四半期	9,445	84	827	98	8,617	83
2025年	第1四半期	9,142	95	762	126	8,380	93
	第2四半期	10,538	102	719	83	9,821	104
	第3四半期	8,569	87	798	95	7,771	87
	第4四半期	8,214	87	799	97	7,414	86

資料：国土交通省「建築着工統計調査報告」

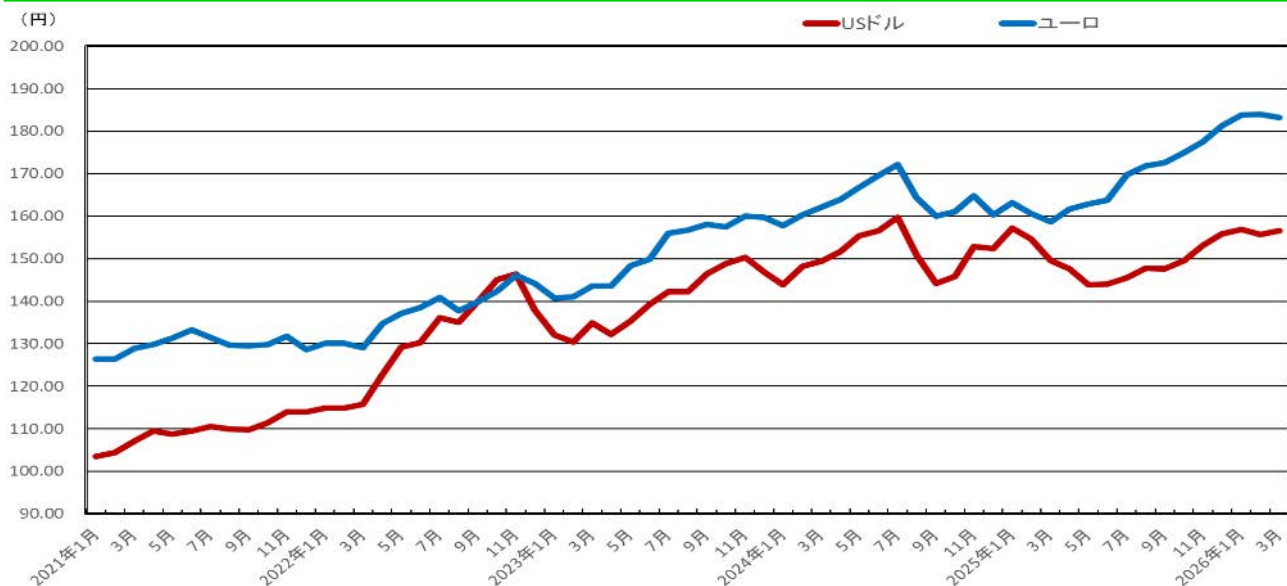
基礎的指標-3 木材産業の業況

- 2025年の木材産業の倒産件数は36件（前年比144%）、負債金額は11,366百万円（同410%）。
- 2026年1～2月の木材産業の倒産件数は9件（前年同期比225%）、負債金額は1,742百万円（同73%）。

年・月		企業倒産状況							
		全 企 業				木材・木製品製造業			
		件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)
2023年	1	570	126	56,524	84	3	300	230	1,769
	2	577	126	96,580	136	1	-	154	-
	3	809	136	147,434	87	4	100	1,340	67
	4	610	126	203,861	251	3	150	1,122	39
	5	706	135	278,734	319	2	200	270	150
	6	770	141	150,947	12	3	-	571	-
	7	758	153	162,137	192	3	-	339	-
	8	760	154	108,377	97	2	200	140	7
	9	720	120	691,942	478	0	0	0	0
	10	793	133	308,010	354	0	0	0	0
	11	807	139	94,871	82	1	100	50	58
	12	810	134	103,228	130	5	500	1,106	334
2024年	1	701	123	79,123	140	1	33	166	72
	2	712	123	139,596	145	1	100	90	58
	3	906	112	142,252	96	2	50	108	8
	4	783	128	113,423	56	4	133	1,161	103
	5	1,009	143	136,769	49	4	200	184	68
	6	820	106	109,879	73	0	0	0	0
	7	953	126	781,206	482	3	100	189	56
	8	723	95	101,370	94	2	100	35	25
	9	807	112	132,754	19	1	-	50	-
	10	909	115	252,913	82	1	-	30	-
	11	841	104	160,223	169	4	400	576	1,152
	12	842	104	194,030	188	2	40	185	17
2025年	1	840	120	121,449	153	1	100	20	12
	2	764	107	171,277	123	3	300	2,382	2,647
	3	853	94	98,586	69	5	250	961	890
	4	828	106	102,802	91	5	125	2,461	212
	5	857	85	90,389	66	4	100	188	102
	6	848	103	105,703	96	1	-	638	-
	7	961	101	167,035	21	4	133	445	235
	8	805	111	114,373	113	0	-	0	-
	9	873	108	112,470	85	2	200	730	1,460
	10	965	106	127,521	50	5	500	1,785	5,950
	11	778	93	82,403	51	2	50	430	75
	12	928	110	298,182	154	4	200	1,326	717
2026年	1	887	106	119,815	99	2	200	550	2,750
	2	851	111	133,160	78	7	233	1,192	50
2023年計		8,690	135	2,402,645	103	27	208	5,322	70
2024年計		10,006	115	2,343,538	98	25	93	2,774	52
2025年計		10,300	103	1,592,190	68	36	144	11,366	410
2023年	第1四半期	1,956	130	300,538	98	8	160	1,724	85
	第2四半期	2,086	134	633,542	45	8	267	1,963	64
	第3四半期	2,238	141	962,456	282	5	250	479	25
	第4四半期	2,410	135	506,109	180	6	200	1,156	187
2024年	第1四半期	2,319	119	360,971	120	4	50	364	21
	第2四半期	2,612	125	360,071	57	8	100	1,345	69
	第3四半期	2,483	111	1,015,330	105	6	120	274	57
	第4四半期	2,592	108	607,166	120	7	117	791	68
2025年	第1四半期	2,457	106	391,312	108	9	225	3,363	924
	第2四半期	2,533	97	298,894	83	10	125	3,287	244
	第3四半期	2,639	106	393,878	39	6	100	1,175	429
	第4四半期	2,671	103	508,106	84	11	157	3,541	448

資料：東京商工リサーチ「TSR情報（全国企業倒産状況）」

- 2026年3月の為替相場※は、1ドル156.60円、1ユーロ183.15円。
※ 税関長公示レート of 平均値



(単位:円)

年月	USドル	ユーロ
2021年1月	103.57	126.44
2月	104.50	126.41
3月	107.13	128.93
4月	109.56	129.89
5月	108.80	131.36
6月	109.50	133.28
7月	110.55	131.43
8月	109.89	129.63
9月	109.87	129.60
10月	111.42	129.77
11月	113.95	131.84
12月	113.95	128.72
2022年1月	114.82	130.09
2月	114.84	130.17
3月	115.86	129.13
4月	122.84	134.73
5月	129.17	137.21
6月	130.35	138.58
7月	136.05	140.87
8月	135.08	137.78
9月	139.81	139.88
10月	145.09	142.34
11月	146.43	146.15
12月	137.90	144.14
2023年1月	132.08	140.75
2月	130.38	141.08
3月	134.97	143.57
4月	132.23	143.64
5月	135.31	148.42
6月	139.24	149.89
7月	142.32	156.04
8月	142.23	156.75
9月	146.44	158.12
10月	148.88	157.55
11月	150.34	160.04
12月	146.92	159.80

(単位:円)

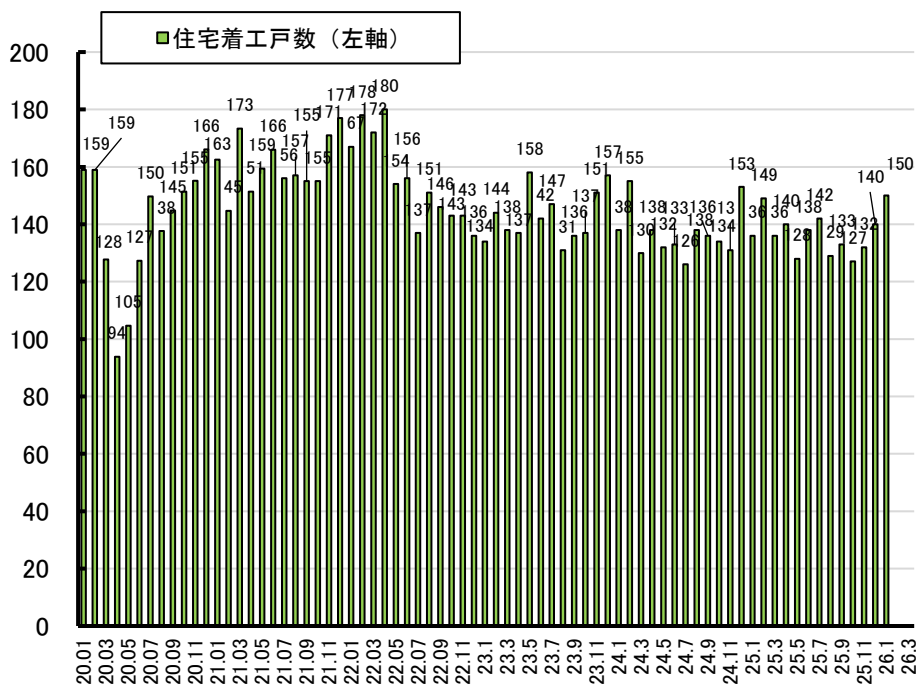
年月	USドル	ユーロ
2024年1月	143.95	157.82
2月	148.18	160.35
3月	149.45	162.17
4月	151.66	163.86
5月	155.48	166.79
6月	156.64	169.63
7月	159.77	172.17
8月	150.89	164.44
9月	144.27	160.04
10月	145.87	161.08
11月	152.83	164.76
12月	152.48	160.39
2025年1月	157.20	163.11
2月	154.61	160.70
3月	149.55	158.74
4月	147.70	161.65
5月	143.97	162.83
6月	144.04	163.84
7月	145.56	169.73
8月	147.73	171.93
9月	147.61	172.57
10月	149.51	175.00
11月	153.17	177.48
12月	155.86	181.22
2026年1月	156.91	183.88
2月	155.65	184.00
3月	156.60	183.15

資料：関税定率法第4条の7に規定する財務省令で定める外国為替相場（関税定率法施行規則（昭和44年大蔵省令第16号）第1条の規定により税関長が公示する相場）
注：税関長公示レートの平均を算出して掲載。（モクレポNo. 55（令和8年4月）より掲載内容を変更。）

- 2026年1月の米国の住宅着工戸数（年率換算、戸建て計）は、前月比107%の約150万戸。※2026年2月分の更新情報はなし
- 日本向けコンテナ運賃は、欧州発、米国発ともに一時期高騰していたが、2023年末時点で概ね元の水準まで下落。2024年1月には、紅海でのフーシ派攻撃によるサプライチェーンの混乱の影響で欧州発コンテナ運賃が一時期高騰。

○米国における住宅着工戸数

(万戸)

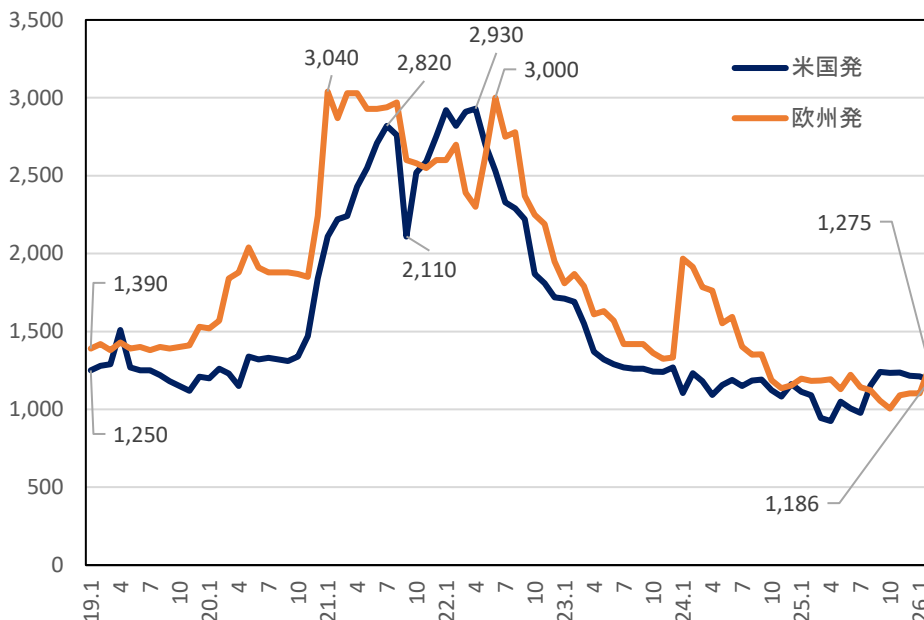


(年.月)

資料：(住宅着工戸数)米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)

○日本向けコンテナ運賃の推移

(米ドル/個)



(年.月)

注：40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。

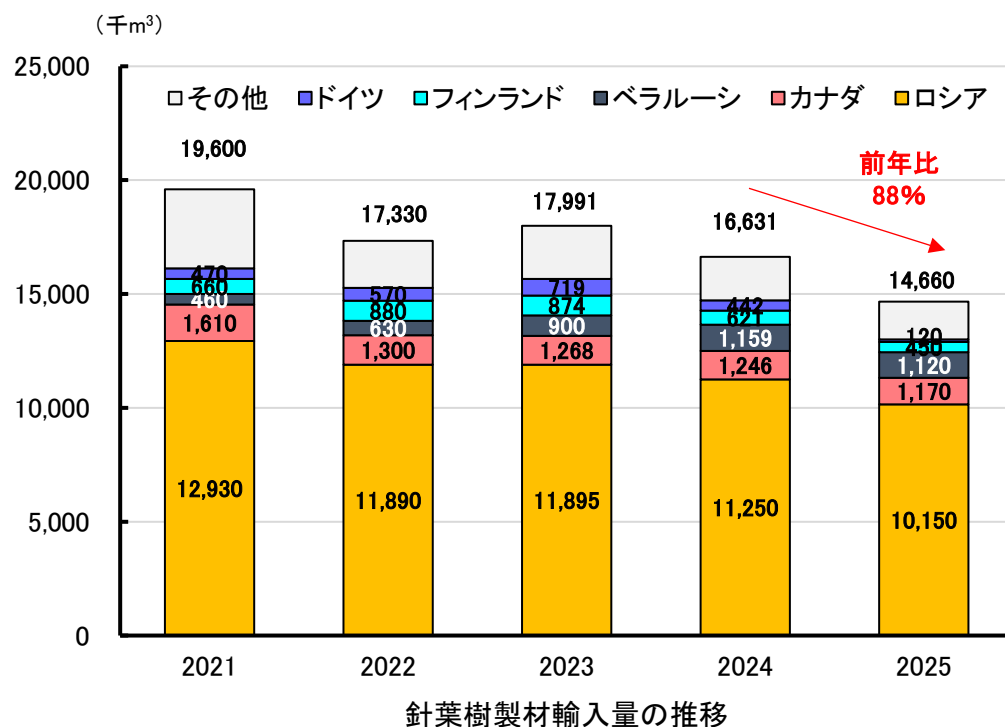
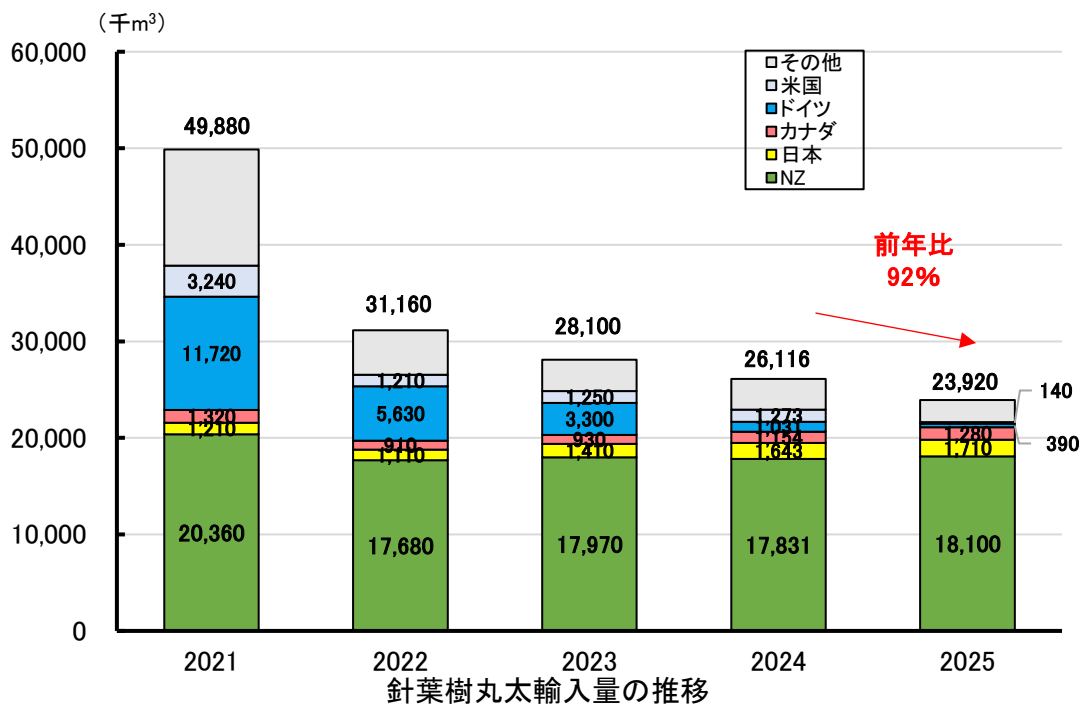
出典：Drewry「Container Freight Rate Insight」

資料：日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

基礎的指標-6 中国の木材輸入量の動向

- 2025年の中国における針葉樹丸太輸入量は、前年比92%の2,392万m³。
- 同年の中国における針葉樹製材輸入量は、前年比88%の1,466万m³。

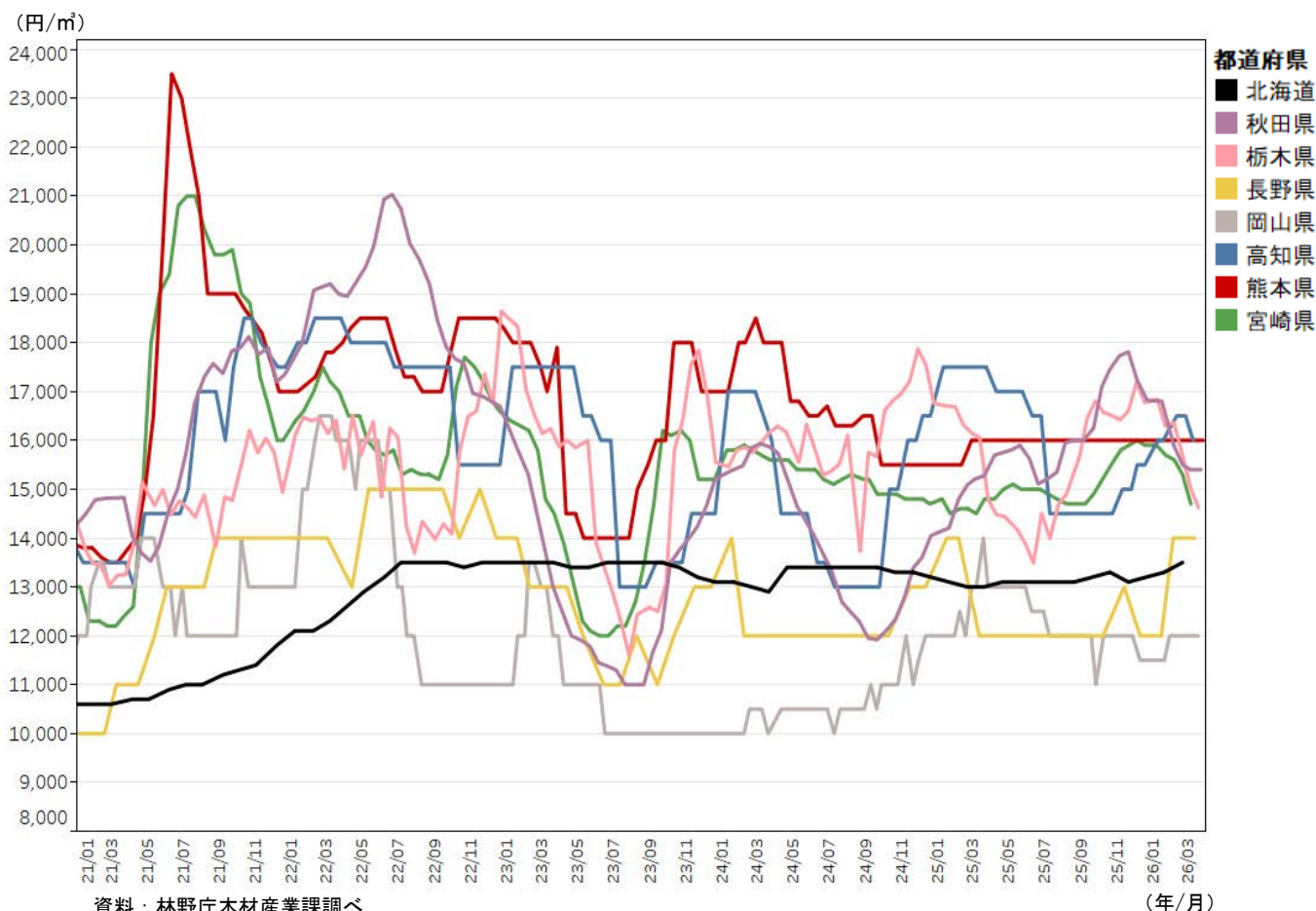
○中国の木材輸入量(2021年～2025年)



資料:ITTO (Tropical Timber Market Report,Volume 30 Number 2、Number 3 を基に作成)

木材価格情報- 1 スギ原木の主要市場価格

- 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、12,000円～16,000円/㎡となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

注2：径24cm程度、長さ3.65～4.0m（2018年12月～）。

注3：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

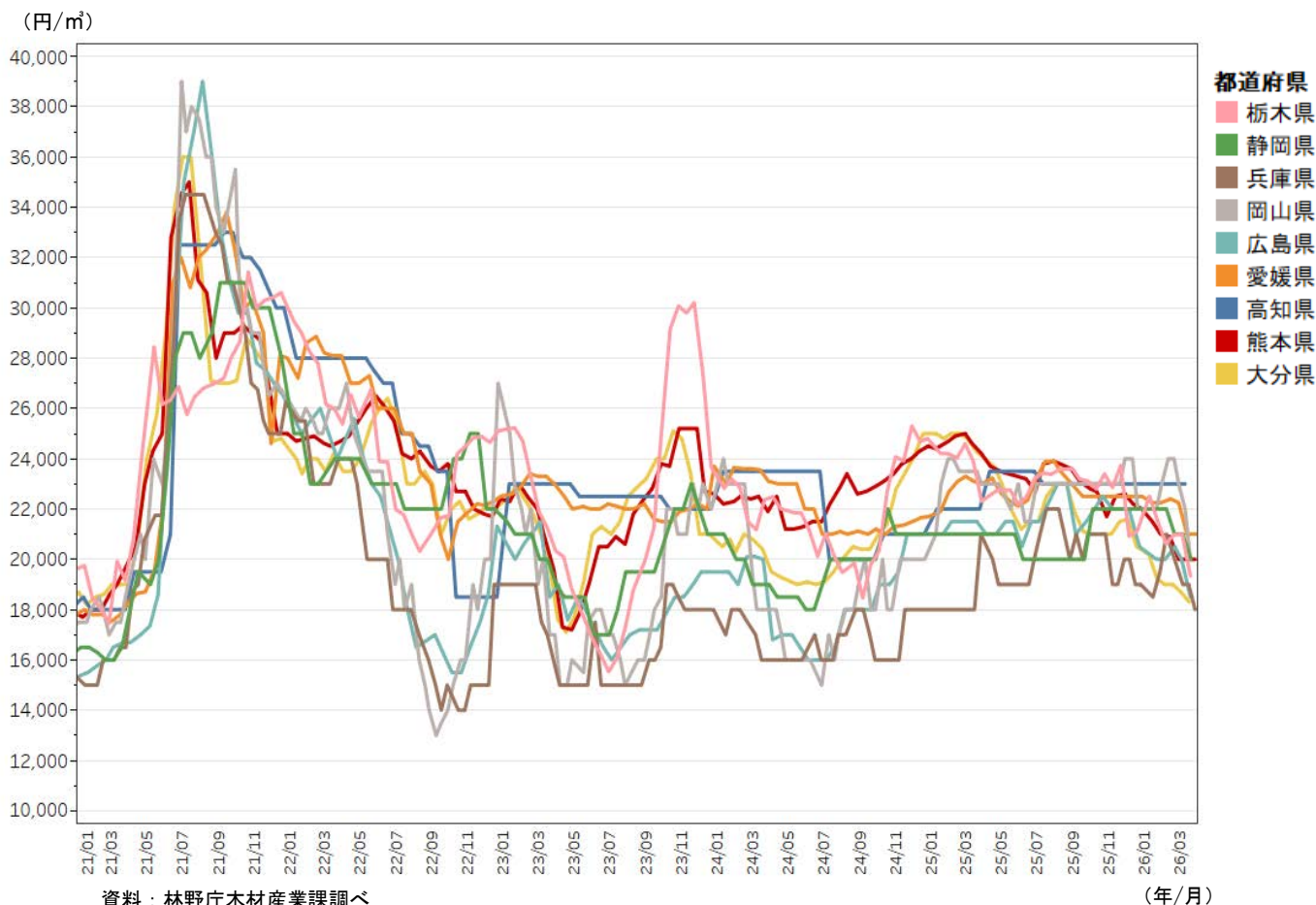
(年/月)

(単位：円/㎡)

都道府県	2026年直近※	前年同期	前年同期比
■ 北海道	13,500	13,000	104%
■ 秋田県	15,400	15,280	101%
■ 栃木県	14,620	14,800	99%
■ 長野県	14,000	12,000	117%
■ 岡山県	12,000	14,000	86%
■ 高知県	16,000	17,500	91%
■ 熊本県	16,000	16,000	100%
■ 宮崎県	14,700	14,500	101%

※北海道については2月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については3月の値を使用。

- 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、18,000円～23,000円/㎡となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(単位：円/㎡)

都道府県	2026年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	19,340	22,310	87%
静岡県	20,000	21,000	95%
兵庫県	18,000	21,000	86%
岡山県	20,000	23,500	85%
広島県	18,500	21,500	86%
愛媛県	21,000	23,000	91%
高知県	23,000	22,000	105%
熊本県	20,000	24,200	83%
大分県	18,300	24,300	75%

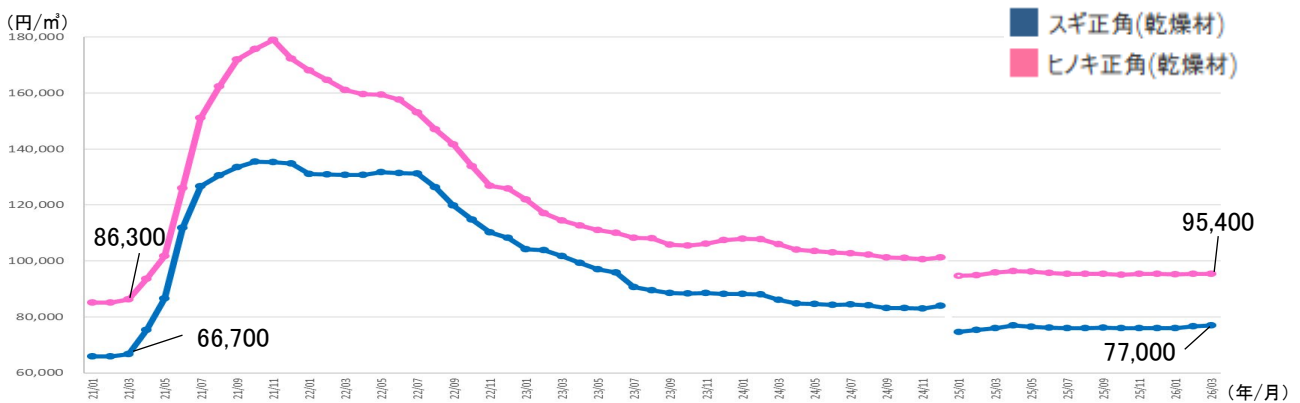
※各県3月の値を使用。

木材価格情報-2 木材価格（農林水産統計）

- 2026年3月の正角（乾燥材）の価格について、スギは77,000円/m³、ヒノキは95,400円/m³。
- 同月の間柱（乾燥材）の価格は、スギは84,400円/m³、ホワイトウッドは90,500円/m³。
- 2026年3月の針葉樹合板の価格は、1,510円/枚。

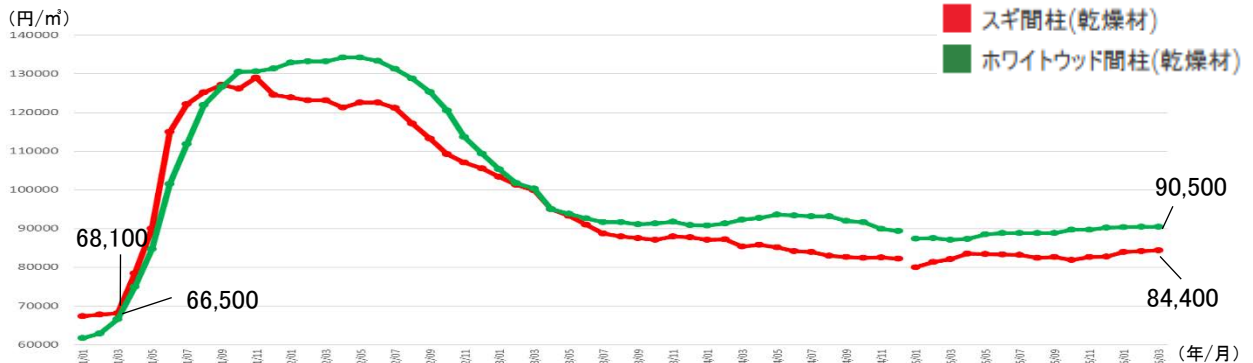
■主な製材品等の価格推移（全国平均価格）

○正角（乾燥材）※厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級



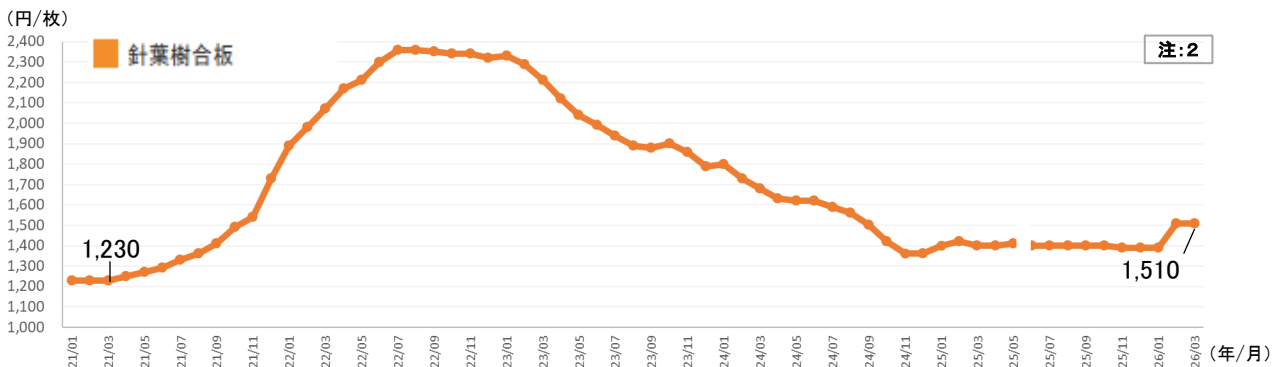
○間柱（乾燥材）※厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等

注:5



○針葉樹合板 ※厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類

注:2



資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

- 注：1 2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。
- 2 針葉樹合板は、2022年1月より、四半期ごとの公表となった（4月に1～3月分、7月に4～6月分、10月に7～9月分、翌1月に10～12月分を公表）。
- 3 製材品価格及び合板価格は、木材市売市場にあたってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあたっては店頭渡し価格である。
- 4 2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）
- 5 すぎ間柱（乾燥材）の令和8年1月及び2月の全国平均価格並びに新潟県の価格は、調査対象事務所の変更に伴う影響があるため利用にあたっては留意されたい。

(1) 全国平均価格

年次	月	丸太								製材品														
		スギ		ヒノキ		カラマツ		スギ		スギ		ヒノキ		ヒノキ		スギ		ホワイトウッド						
		中丸太(製材用)		中丸太(製材用)		中丸太(製材用)		丸太(合板用)		正角		正角(乾燥材)		正角		正角(乾燥材)		間柱(乾燥材)		間柱(乾燥材)				
		14-22cm 3.65-4m (円/m ³)	対前年 比(%)	14-22cm 3.65-4m (円/m ³)	対前年 比(%)	14-28cm 3.65-4m (円/m ³)	対前年 比(%)	18cm上	対前年 比(%)	10.5cm角 3.0m (円/m ³)	対前年 比(%)	10.5cm角 3.0m (円/m ³)	対前年 比(%)	10.5cm角 3.0m (円/m ³)	対前年 比(%)	10.5cm角 3.0m (円/m ³)	対前年 比(%)	3.0×10.5cm 3.0m (円/m ³)	対前年 比(%)	3.0×10.5cm 3.0m (円/m ³)	対前年 比(%)			
2023年	1	17,400	103	23,000	79	16,400	114	15,200	107	59,700	88	104,100	79	81,800	86	122,000	73	103,400	83	105,300	79			
	2	17,300	98	23,000	82	16,300	112	15,200	98	59,200	90	103,800	79	80,700	86	117,100	71	101,300	82	101,700	76			
	3	16,700	94	22,700	82	16,300	110	15,200	97	58,600	89	101,800	78	77,700	83	114,500	71	99,900	81	100,300	75			
	4	15,800	90	21,900	81	16,200	108	15,100	94	55,500	84	99,300	76	76,600	82	112,600	71	95,000	78	95,000	71			
	5	15,100	84	20,700	78	16,200	101	14,900	93	54,300	82	97,000	74	76,500	82	111,000	70	93,300	76	93,800	70			
	6	14,700	83	20,600	80	16,200	94	14,800	92	50,100	76	95,900	73	75,400	82	110,100	70	91,000	74	92,600	69			
	7	14,500	83	20,500	81	16,100	95	14,500	90	50,100	76	90,600	69	73,800	81	108,200	71	88,700	73	91,600	70			
	8	14,400	83	20,800	87	15,400	91	14,400	91	50,000	77	89,500	71	73,100	82	108,100	74	88,000	75	91,700	71			
	9	15,200	87	21,400	98	16,000	95	14,200	90	48,300	76	88,500	74	72,600	82	105,800	75	87,500	77	91,100	73			
	10	15,900	88	22,600	105	15,800	93	14,200	91	50,000	81	88,400	77	72,800	84	105,400	79	87,100	80	91,300	76			
	11	16,200	91	23,500	106	15,800	95	14,100	92	50,100	81	88,600	80	73,100	85	106,200	84	87,900	82	91,800	81			
	12	15,900	91	23,600	107	15,800	95	14,100	92	50,100	83	88,200	81	75,400	89	107,500	85	87,700	83	90,900	83			
2024年	1	16,300	94	23,400	102	15,800	96	14,100	93	54,300	91	88,200	85	77,400	95	107,900	88	87,100	84	90,800	86			
	2	16,300	94	23,700	103	15,600	96	14,100	93	54,800	93	88,100	85	77,400	96	107,700	92	87,200	86	91,300	90			
	3	16,400	98	23,300	103	15,300	94	13,900	91	54,800	94	86,100	85	77,400	100	105,900	92	85,400	85	92,300	92			
	4	16,100	102	22,800	104	15,300	94	13,900	92	54,800	99	84,700	85	76,000	99	104,000	92	85,800	90	92,700	98			
	5	16,000	106	22,300	108	15,200	94	13,900	93	54,800	101	84,600	87	76,000	99	103,600	93	85,100	91	93,600	100			
	6	15,700	107	21,500	104	15,200	94	13,800	93	50,600	101	84,300	88	75,900	101	103,000	94	84,200	93	93,400	101			
	7	15,600	108	21,200	103	15,200	94	13,900	96	49,500	99	84,400	93	73,900	100	102,700	95	83,900	95	93,200	102			
	8	15,600	108	21,300	102	14,900	97	13,800	96	49,500	99	84,200	94	73,500	101	102,300	95	83,000	94	93,200	102			
	9	15,500	102	21,600	101	15,100	94	13,700	96	49,500	102	83,100	94	73,400	101	101,200	96	82,600	94	92,000	101			
	10	15,500	97	21,700	96	15,200	96	13,600	96	49,500	99	83,100	94	72,100	99	101,100	96	82,400	95	91,600	100			
	11	15,500	96	21,900	93	15,200	96	13,600	96	49,500	99	83,000	94	72,100	99	100,600	95	82,500	94	89,900	98			
	12	15,800	99	22,400	95	15,100	96	13,500	96	49,500	99	84,000	95	72,100	96	101,200	94	82,200	94	89,400	98			
2025年	1	15,500	注1)	25,000	注1)	15,300	注1)	13,300	注1)	52,300	注1)	74,700	注1)	80,700	注1)	94,800	注1)	80,000	注1)	87,400	注1)			
	2	15,500	-	25,300	-	15,400	-	13,400	-	52,600	-	75,300	-	80,500	-	94,900	-	81,300	-	87,500	-			
	3	15,500	-	25,900	-	15,500	-	13,500	-	51,700	-	75,900	-	80,300	-	95,900	-	82,100	-	87,100	-			
	4	15,500	-	25,700	-	15,400	-	13,500	-	54,200	-	76,900	-	82,300	-	96,300	-	83,500	-	87,300	-			
	5	15,300	-	25,500	-	15,400	-	13,600	-	54,100	-	76,500	-	82,000	-	96,200	-	83,400	-	88,500	-			
	6	15,200	-	25,200	-	15,400	-	13,500	-	54,100	-	76,100	-	81,500	-	95,700	-	83,300	-	88,800	-			
	7	15,200	-	25,100	-	15,400	-	13,600	-	52,900	-	75,900	-	81,500	-	95,400	-	83,200	-	88,800	-			
	8	15,200	-	25,600	-	15,400	-	13,600	-	52,600	-	75,900	-	81,500	-	95,400	-	82,400	-	88,800	-			
	9	15,500	-	25,500	-	15,400	-	13,600	-	51,700	-	76,200	-	81,300	-	95,300	-	82,600	-	88,800	-			
	10	15,400	-	25,100	-	15,500	-	13,600	-	51,300	-	76,000	-	81,300	-	95,100	-	81,900	-	89,700	-			
	11	15,300	-	25,200	-	15,500	-	13,600	-	51,400	-	75,900	-	81,400	-	95,300	-	82,600	-	89,700	-			
	12	15,400	-	24,800	-	15,500	-	13,700	-	51,400	-	76,000	-	81,500	-	95,300	-	82,700	-	90,200	-			
2026年	1	15,400	99	24,200	97	15,600	102	13,800	104	51,400	98	76,000	102	81,400	101	95,200	100	注2)	注2)	83,900	注2)	105	90,300	103
	2	15,500	100	24,300	96	15,600	101	13,700	102	51,000	97	76,700	102	80,900	100	95,400	101	注2)	注2)	84,100	注2)	103	90,400	103
	3	15,400	99	23,600	91	15,600	101	13,800	102	51,000	99	77,000	101	80,900	101	95,400	99	84,400	103	90,500	104			
2023年	15,800	90	22,000	88	16,000	99	14,700	94	53,000	82	94,600	76	75,800	84	110,700	74	92,600	79	94,800	74				
2024年	15,900	101	22,300	101	15,300	96	13,800	94	51,800	98	84,800	90	74,800	99	103,400	93	84,300	91	92,000	97				
2025年	15,400	注1)	25,300	注1)	15,400	注1)	13,500	注1)	52,500	注1)	75,900	注1)	81,300	注1)	95,500	注1)	82,400	注1)	88,600	注1)				
2023年	第1四半期	17,100	98	22,900	81	16,300	112	15,200	101	59,200	89	103,200	79	80,100	85	117,900	72	101,500	82	102,400	77			
	第2四半期	15,200	86	21,100	80	16,200	101	14,900	93	53,300	81	97,400	74	76,200	82	111,200	70	93,100	76	93,800	70			
	第3四半期	14,700	84	20,900	88	15,800	93	14,400	91	49,500	77	89,500	71	73,200	82	107,400	73	88,100	75	91,500	71			
	第4四半期	16,000	90	23,200	106	15,800	94	14,100	91	50,100	82	88,400	80	73,800	86	106,400	83	87,600	82	91,300	80			
2024年	第1四半期	16,300	95	23,500	103	15,600	96	14,000	92	54,600	92	87,500	85	77,400	97	107,200	91	86,600	85	91,500	89			
	第2四半期	15,900	105	22,200	105	15,200	94	13,900	93	53,400	100	84,500	87	76,000	100	103,500	93	85,000	91	93,200	99			
	第3四半期	15,600	106	21,400	102	15,100	96	13,800	96	49,500	100	83,900	94	73,600	101	102,100	95	83,200	94	92,800	101			
	第4四半期	15,600	98	22,000	95	15,200	96	13,600	96	49,500	99	83,400	94	72,100	98	101,000	95	82,400	94	90,300	99			
2025年	第1四半期	15,500	注1)	25,400	注1)	15,400	注1)	13,400	注1)	52,200	注1)	75,300	注1)	80,500	注1)	95,200	注1)	81,100	注1)	87,300	注1)			
	第2四半期	15,300	-	25,500	-	15,400	-	13,500	-	54,100	-	76,500	-	81,900	-	96,100	-	83,400	-	88,200	-			
	第3四半期	15,300	-	25,400	-	15,400	-	13,600	-	52,400	-	76,000	-	81,400	-	95,400	-	82,700	-	88,800	-			
	第4四半期	15,400	-	25,000	-	15,500	-	13,600	-															

年次	月	構造用集成材						合板		チップ							
		スギ集成管柱 国産、無化粧			ホワイットウッド集成管柱 国産、無化粧			針葉樹合板		チップ用素材(丸太)				木材チップ			
		105角×2.98~3m JAS			105角×2.98~3m JAS			1.2×91.0cm		針葉樹		広葉樹		針葉樹		広葉樹	
		(円/m ³) (参考値:注5)	(円/本)	対前 年比 (%)	(円/m ³) (参考値:注5)	(円/本)	対前 年比 (%)	1.82m (円/枚)	対前 年比 (%)	(円/m ²)	対前 年比 (%)	(円/m ²)	対前 年比 (%)	(円/t)	対前 年比 (%)	(円/t)	対前 年比 (%)
2023年	1	93,726	3,100	84	99,773	3,300	63	2,330	123	7,200	107	9,900	104	15,900	106	20,400	105
	2	90,703	3,000	79	93,726	3,100	60	2,290	116	7,300	109	9,900	103	15,900	106	20,400	105
	3	84,656	2,800	76	87,680	2,900	57	2,210	107	7,200	106	9,900	103	15,900	105	20,400	105
	4	81,633	2,700	71	78,609	2,600	51	2,120	98	7,500	109	9,800	101	16,700	110	20,900	107
	5	81,633	2,700	71	78,609	2,600	51	2,040	92	7,400	106	9,900	102	16,900	110	21,100	107
	6	81,633	2,700	71	78,609	2,600	51	1,990	87	7,400	106	9,900	101	16,900	110	21,100	107
	7	81,633	2,700	73	78,609	2,600	55	1,940	82	7,500	106	10,000	102	17,000	111	21,100	107
	8	81,633	2,700	73	78,609	2,600	57	1,890	80	7,500	106	10,000	102	17,000	111	21,100	106
	9	81,633	2,700	73	78,609	2,600	59	1,880	80	7,500	104	10,000	102	17,000	111	21,100	106
	10	81,633	2,700	77	78,609	2,600	63	1,900	81	7,600	107	10,000	102	17,100	110	21,100	106
	11	81,633	2,700	79	81,633	2,700	68	1,860	79	7,500	104	10,000	101	17,100	109	21,200	105
	12	81,633	2,700	82	81,633	2,700	77	1,790	77	7,600	107	10,000	101	17,200	109	21,200	104
2024年	1	81,633	2,700	87	81,633	2,700	82	1,800	77	7,700	107	10,100	102	17,200	108	21,200	104
	2	81,633	2,700	90	81,633	2,700	87	1,730	76	7,700	105	10,100	102	17,300	109	21,200	104
	3	81,633	2,700	96	81,633	2,700	93	1,680	76	7,700	107	10,100	102	17,300	109	21,200	104
	4	84,656	2,800	104	81,633	2,700	104	1,630	77	7,700	103	10,100	103	17,400	104	21,700	104
	5	84,656	2,800	104	81,633	2,700	104	1,620	79	7,600	103	10,100	102	17,700	105	21,900	104
	6	84,656	2,800	104	84,656	2,800	108	1,620	81	7,800	105	10,200	103	17,800	105	22,000	104
	7	84,656	2,800	104	84,656	2,800	108	1,590	82	7,800	104	10,200	102	17,800	105	22,000	104
	8	84,656	2,800	104	84,656	2,800	108	1,560	83	7,700	103	10,100	101	17,900	105	22,100	105
	9	84,656	2,800	104	84,656	2,800	108	1,500	80	7,900	105	10,100	101	17,900	105	22,200	105
	10	81,633	2,700	100	84,656	2,800	108	1,420	75	7,800	103	10,200	102	18,200	106	22,200	105
	11	81,633	2,700	100	81,633	2,700	100	1,360	73	7,800	104	10,200	102	18,200	106	22,300	105
	12	81,633	2,700	100	81,633	2,700	100	1,360	76	7,800	103	10,200	102	18,200	106	22,300	105
2025年	1	69,539	2,300	注1)	81,633	2,700	注1)	1,400	注1)	7,800	注1)	10,500	注1)	17,900	注1)	21,900	注1)
	2	69,539	2,300	-	81,633	2,700	-	1,420	-	7,800	-	10,500	-	18,000	-	22,200	-
	3	69,539	2,300	-	84,656	2,800	-	1,400	-	7,700	-	10,500	-	18,000	-	22,200	-
	4	69,539	2,300	-	84,656	2,800	-	1,400	-	7,800	-	10,600	-	18,100	-	22,600	-
	5	69,539	2,300	-	84,656	2,800	-	1,410	-	7,800	-	10,600	-	18,300	-	23,100	-
	6	69,539	2,300	-	84,656	2,800	-	1,400	-	7,800	-	10,600	-	18,300	-	23,200	-
	7	69,539	2,300	-	87,680	2,900	-	1,400	-	7,900	-	10,600	-	18,300	-	23,200	-
	8	69,539	2,300	-	87,680	2,900	-	1,400	-	7,900	-	10,600	-	18,300	-	23,200	-
	9	69,539	2,300	-	87,680	2,900	-	1,400	-	7,900	-	10,600	-	18,300	-	23,200	-
	10	69,539	2,300	-	87,680	2,900	-	1,400	-	7,800	-	10,600	-	18,300	-	23,200	-
	11	69,539	2,300	-	87,680	2,900	-	1,390	-	7,900	-	10,600	-	18,300	-	23,200	-
	12	69,539	2,300	-	90,703	3,000	-	1,390	-	7,900	-	10,600	-	18,300	-	23,200	-
2026年	1	69,539	2,300	100	90,703	3,000	111	1,390	108	7,900	101	10,700	102	18,400	103	23,300	106
	2	69,539	2,300	100	90,703	3,000	111	1,510	108	7,900	101	10,700	102	18,400	102	23,200	105
	3	69,539	2,300	100	90,703	3,000	107	1,510	108	7,900	103	10,700	102	18,300	102	23,200	105
2023年		84,656	2,800	76	81,633	2,700	57	2,020	91	7,400	106	9,900	102	16,700	109	20,900	106
2024年		84,656	2,800	100	81,633	2,700	100	1,570	78	7,800	105	10,100	102	17,700	106	21,900	105
2025年		69,539	2,300	注1)	84,656	2,800	注1)	1,400	注1)	7,800	注1)	10,600	注1)	18,200	注1)	22,900	注1)
2023年	第1四半期	90,703	3,000	81	93,726	3,100	60	2,280	115	7,200	107	9,900	103	15,900	106	20,400	105
	第2四半期	81,633	2,700	71	78,609	2,600	51	2,050	92	7,400	106	9,900	102	16,800	110	21,000	107
	第3四半期	81,633	2,700	73	78,609	2,600	51	1,900	81	7,500	106	10,000	102	17,000	111	21,100	106
	第4四半期	81,633	2,700	79	81,633	2,700	69	1,850	79	7,600	107	10,000	101	17,100	109	21,200	105
2024年	第1四半期	81,633	2,700	90	81,633	2,700	87	1,740	76	7,700	107	10,100	102	17,300	109	21,200	104
	第2四半期	84,656	2,800	104	81,633	2,700	104	1,620	79	7,700	104	10,100	102	17,600	105	21,900	104
	第3四半期	84,656	2,800	104	84,656	2,800	108	1,550	82	7,800	104	10,100	101	17,900	105	22,100	105
	第4四半期	81,633	2,700	100	81,633	2,700	100	1,380	75	7,800	103	10,200	102	18,200	106	22,300	105
2025年	第1四半期	69,539	2,300	注1)	81,633	2,700	注1)	1,410	注1)	7,800	注1)	10,500	注1)	18,000	注1)	22,100	注1)
	第2四半期	69,539	2,300	-	84,656	2,800	-	1,400	-	7,800	-	10,600	-	18,200	-	23,000	-
	第3四半期	69,539	2,300	-	87,680	2,900	-	1,400	-	7,900	-	10,600	-	18,300	-	23,200	-
	第4四半期	69,539	2,300	-	87,680	2,900	-	1,390	-	7,900	-	10,600	-	18,300	-	23,200	-
2026年	第1四半期	69,539	2,300	100	90,703	3,000	111	1,470	104	7,900	101	10,700	102	18,400	102	23,200	105

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注：1 2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。このため、2025年の対前年比(%)は算出できないため、「-」としている。

- 構造用集成材価格、木材チップ用丸太価格及び木材チップ価格は、それぞれ集成管柱工場から販売先への出荷時の販売価格、木材チップ工場における工場着購入価格、パルプ向けチップ工場における工場渡し価格である。
- 2022年1月より、四半期ごとの公表となった(4月に1~3月分、7月に4~6月分、10月に7~9月分、翌1月に10~12月分を公表)。
- 合板価格は、木材市売市場にあってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあっては店頭渡し価格である。
- 構造用集成材のm²当たりの価格は、1本を0.033075m³に換算して算出した。
- 2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。(速報値は今後修正される可能性がある)

(2) 都道府県別価格

○スギ中丸太（製材用、径14.0～22.0cm、長3.65～4.0m）

・2025年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
青森	12,000	12,300	12,300	12,200	12,200	13,100	12,800	12,800	12,700	12,800	13,300	13,200
岩手	14,400	14,100	14,100	14,100	14,100	14,100	14,200	14,200	14,000	14,000	14,000	14,400
宮城	13,200	13,200	13,200	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300
秋田	13,700	14,000	14,400	14,500	14,600	14,600	14,600	14,800	14,900	15,000	15,100	15,200
山形	11,800	11,900	12,000	12,400	12,300	12,300	12,100	12,200	12,200	11,700	11,800	12,300
福島	12,700	12,500	11,900	11,900	11,900	11,800	11,800	11,800	11,800	12,100	12,200	12,200
茨城	15,300	14,100	14,300	14,300	14,300	14,200	14,200	14,300	14,800	14,900	15,400	15,400
栃木	16,300	16,800	17,100	16,300	16,000	15,500	15,700	15,700	16,200	16,000	16,000	15,800
岐阜	18,100	18,100	18,100	18,600	18,600	18,600	18,400	18,400	18,400	18,500	18,500	18,500
静岡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三重	19,400	19,800	20,200	20,600	20,600	20,600	19,100	19,400	19,400	19,400	19,400	19,400
奈良	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
岡山	15,100	15,000	13,900	13,900	13,400	13,400	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
徳島	18,700	19,000	19,200	19,200	19,200	19,200	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500
愛媛	15,200	15,400	16,200	16,300	16,600	16,200	16,300	16,300	16,300	16,300	16,100	16,200
高知	16,200	16,300	16,300	16,300	16,100	16,100	15,400	15,400	15,400	15,300	15,300	15,300
佐賀	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
熊本	17,200	17,500	17,400	17,700	17,200	16,700	16,900	17,100	20,400	19,500	18,200	18,000
大分	16,000	16,000	15,800	15,900	15,700	16,100	16,100	15,800	15,700	15,200	15,300	15,900
宮崎	16,200	16,200	16,200	16,100	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,500
鹿児島	17,300	17,100	17,100	17,100	16,900	16,700	16,600	16,300	16,400	16,500	16,600	16,600

・2026年

都道府県	1月	2月	3月
青森	13,600	13,600	13,500
岩手	14,600	14,800	14,700
宮城	12,300	12,300	12,300
秋田	15,200	15,100	15,000
山形	12,200	12,300	12,500
福島	12,300	12,400	12,200
茨城	15,400	15,300	15,300
栃木	15,900	16,000	15,900
岐阜	18,400	18,400	18,400
静岡	—	—	—
三重	19,400	19,100	19,100
奈良	—	—	—
岡山	12,400	12,400	12,400
徳島	19,300	19,200	19,200
愛媛	16,100	16,100	16,200
高知	15,300	15,500	15,500
佐賀	—	—	—
熊本	18,400	18,500	18,100
大分	15,700	16,400	16,200
宮崎	15,400	15,400	15,500
鹿児島	16,500	16,300	16,300

○カラマツ中丸太（製材用、径14.0～28.0cm、長3.65～4.0m）

・2025年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	14,300	14,400	14,500	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400
岩手	24,000	24,000	24,200	24,400	24,400	24,400	24,400	24,400	24,400	25,200	25,200	25,700
長野	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200

・2026年

都道府県	1月	2月	3月
北海道	14,500	14,500	14,500
岩手	25,700	25,700	25,700
長野	23,200	23,200	23,200

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。

注2：2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

○ヒノキ中丸太（製材用、径14.0~22.0cm、長3.65~4.0m）

・2025年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
福島	20,400	21,200	26,300	26,100	25,800	25,800	25,800	25,200	25,200	25,200	25,200	23,000
茨城	24,900	25,300	25,600	25,600	25,600	25,600	25,600	25,300	25,300	25,000	23,900	23,000
栃木	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜	24,300	24,600	24,700	24,900	24,900	24,900	24,700	24,700	24,700	24,500	24,800	24,800
静岡	25,000	23,200	23,800	23,900	24,500	24,000	23,700	23,400	23,300	24,300	25,000	24,800
愛知	24,400	24,100	24,200	23,700	23,600	23,200	23,200	23,400	23,400	23,400	23,700	23,700
三重	25,300	25,800	26,100	26,400	26,400	26,400	25,000	25,500	27,200	27,700	27,700	27,700
兵庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山	23,800	24,400	25,400	24,300	23,900	24,400	24,900	24,800	24,900	24,900	25,000	24,600
広島	26,400	26,500	26,800	26,600	25,800	25,000	25,200	25,800	25,700	25,500	25,600	23,900
徳島	22,600	22,600	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200
愛媛	24,600	26,000	26,500	26,500	26,500	24,500	24,500	26,500	26,800	25,300	25,200	25,100
高知	25,500	25,800	25,900	26,700	26,900	26,800	26,200	26,300	26,200	26,100	26,000	25,800
福岡	26,500	26,700	27,000	25,800	25,200	24,900	24,800	25,400	24,200	23,800	24,800	23,200
佐賀	21,600	23,100	23,700	23,700	23,700	23,800	23,200	23,200	23,300	23,200	23,200	23,200
熊本	28,500	28,000	27,900	26,500	26,200	26,400	26,600	27,600	26,600	25,800	26,300	26,200
大分	27,500	27,500	27,500	27,100	26,200	25,000	25,100	25,900	25,900	24,800	25,600	24,900
宮崎	22,000	22,700	24,400	24,400	24,100	24,200	24,400	24,600	24,400	23,800	23,800	23,600

・2026年

都道府県	1月	2月	3月
福島	22,300	22,300	22,300
茨城	22,500	22,500	22,300
栃木	-	-	-
岐阜	24,800	24,800	24,400
静岡	24,800	24,600	24,400
愛知	23,700	23,700	23,700
三重	27,800	27,500	27,500
兵庫	-	-	-
奈良	-	-	-
和歌山	-	-	-
岡山	24,000	25,800	22,600
広島	24,000	25,400	23,100
徳島	23,200	23,200	23,200
愛媛	24,700	24,300	23,700
高知	25,500	25,300	25,300
福岡	21,600	21,200	21,500
佐賀	23,200	22,500	22,500
熊本	24,100	23,700	23,500
大分	23,900	23,500	22,600
宮崎	23,200	22,900	22,600

○スギ丸太（合板用、径18.0cm上）

・2025年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
青森	12,300	12,300	12,300	12,700	12,700	12,700	12,700	12,700	12,700	12,700	12,700	13,300
岩手	10,800	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200
宮城	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100
秋田	14,300	14,300	14,300	14,200	14,200	14,300	14,300	14,200	14,200	14,200	14,200	14,200
石川	14,000	14,000	14,000	14,500	14,500	14,500	14,500	14,500	14,500	14,700	14,700	14,700
静岡	14,500	14,500	14,500	14,500	14,500	14,600	16,000	16,400	16,500	16,500	16,200	15,900
鳥取	12,700	12,800	12,900	13,200	14,500	14,500	14,500	14,300	14,200	14,000	13,900	14,000
島根	14,700	14,800	15,000	14,800	15,200	14,800	14,800	14,900	15,000	15,000	15,000	15,200
広島	13,200	13,200	13,200	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800
徳島	14,800	14,800	14,800	14,900	15,200	15,200	15,600	15,200	15,200	15,800	15,600	15,500
熊本	14,000	14,200	14,100	14,200	13,900	13,900	13,600	13,700	13,700	14,000	13,800	14,000
大分	14,000	14,900	15,200	14,300	14,300	13,800	13,800	14,000	13,800	13,800	13,800	14,300
宮崎	15,600	15,500	15,500	15,500	15,400	15,200	15,200	15,200	15,100	15,400	15,400	15,500

・2026年

都道府県	1月	2月	3月
青森	13,300	13,300	13,300
岩手	11,200	11,200	11,200
宮城	12,100	12,100	12,100
秋田	14,200	14,200	14,200
石川	14,700	14,700	14,700
静岡	15,900	15,700	15,700
鳥取	14,600	13,800	14,100
島根	15,000	15,200	15,000
広島	13,800	13,800	13,800
徳島	15,500	15,700	16,000
熊本	13,800	13,800	14,400
大分	14,900	14,900	14,900
宮崎	15,700	16,000	15,700

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。

注2：2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

○スギ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2025年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉			—			—			—			—
東京			—			—			—			—
愛知			66,100			66,100			66,100			66,100
大阪			66,000			62,700			62,700			66,000
福岡			56,900			58,200			53,000			53,000
佐賀			58,000			58,000			56,000			55,000
熊本			51,300			51,200			51,400			50,400
宮崎			46,300			50,700			47,200			47,200

・2026年

都道府県	1月	2月	3月
千葉			—
東京			—
愛知			66,100
大阪			66,000
福岡			53,100
佐賀			55,100
熊本			50,700
宮崎			46,300

○スギ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2025年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
群馬	59,300	59,400	60,100	60,700	64,800	61,400	61,400	63,100	63,100	61,400	60,100	60,100
埼玉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
千葉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東京	74,500	76,200	76,200	76,200	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000
神奈川	85,500	86,200	88,600	88,900	88,900	88,900	89,300	89,300	89,300	89,300	89,300	89,300
愛知	85,700	85,700	85,700	85,900	86,100	86,100	86,100	86,100	86,100	86,100	86,100	86,100
大阪	77,600	77,600	77,600	80,500	80,500	80,300	80,300	80,300	80,300	80,500	80,500	80,800
兵庫	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
福岡	70,600	72,200	74,600	74,700	74,900	74,600	74,600	74,600	74,600	74,600	74,600	74,700
佐賀	83,000	84,900	85,800	86,100	86,100	86,200	86,200	85,200	85,300	85,300	86,100	86,100
熊本	68,800	68,800	68,500	71,800	71,800	71,800	71,800	71,800	74,300	73,600	73,600	73,600
宮崎	69,300	69,300	70,600	71,900	68,100	67,900	67,000	67,000	67,000	67,000	67,000	67,000

・2026年

都道府県	1月	2月	3月
群馬	60,300	62,300	62,000
埼玉	—	—	—
千葉	—	—	—
東京	77,000	77,000	77,000
神奈川	88,900	88,900	88,900
愛知	86,100	86,100	86,100
大阪	80,800	80,800	82,700
兵庫	—	—	—
福岡	74,700	74,700	76,300
佐賀	86,300	87,900	87,900
熊本	73,600	75,100	75,600
宮崎	67,000	67,000	67,000

○ヒノキ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2025年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉			—			—			—			—
東京			—			—			—			—
愛知			88,000			88,000			88,000			88,000
大阪			81,300			85,600			85,600			86,800
兵庫			—			—			—			—
福岡			72,200			75,300			75,200			75,200
熊本			68,800			69,400			69,800			70,500
宮崎			76,800			78,100			77,400			77,400

・2026年

都道府県	1月	2月	3月
千葉			—
東京			—
愛知			88,000
大阪			86,800
兵庫			—
福岡			75,200
熊本			69,400
宮崎			75,800

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。

注2：2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

○ヒノキ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2025年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
群馬	66,900	75,200	75,200	77,700	79,400	79,400	80,900	80,900	80,900	80,900	80,900	80,900
埼玉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京	106,400	106,400	106,400	108,100	108,100	108,100	108,100	108,100	108,100	108,100	108,100	108,100
神奈川	111,100	111,900	112,200	112,400	112,400	112,400	112,400	112,400	112,400	112,400	112,400	112,400
愛知	94,200	94,200	94,700	94,400	94,400	94,400	93,900	93,900	93,900	93,900	94,100	94,100
大阪	93,500	93,500	97,800	100,400	100,400	97,800	97,800	97,800	97,800	97,800	97,800	97,800
兵庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡	89,500	91,200	92,900	93,900	93,900	93,900	92,200	92,200	90,500	90,500	90,500	90,500
佐賀	79,600	93,200	93,200	85,400	85,400	86,100	83,800	83,800	81,900	81,900	81,900	81,900
熊本	84,100	84,100	84,200	85,900	85,900	85,900	85,900	85,900	86,900	86,900	87,300	87,300
宮崎	104,300	101,800	102,800	104,300	102,300	100,800	100,800	100,800	100,000	98,500	98,500	98,500

・2026年

都道府県	1月	2月	3月
群馬	82,000	82,000	82,000
埼玉	-	-	-
千葉	-	-	-
東京	108,100	107,400	107,400
神奈川	111,000	111,000	111,000
愛知	94,100	94,100	94,100
大阪	97,800	97,800	97,800
兵庫	-	-	-
福岡	90,500	90,500	90,500
佐賀	81,900	96,100	96,100
熊本	87,200	87,200	87,200
宮崎	98,500	98,500	98,500

○スギ間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2025年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
群馬	64,300	65,300	65,300	71,100	68,900	68,900	68,900	71,100	68,900	68,500	68,500	68,900
埼玉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京	76,200	76,200	76,200	76,200	76,200	76,200	76,200	76,200	76,200	76,200	76,200	76,200
神奈川	119,500	120,500	121,600	121,600	121,600	121,600	121,600	121,600	121,600	121,600	121,600	121,600
新潟	89,000	89,000	89,000	89,000	88,900	88,900	88,900	88,900	88,900	88,900	88,900	89,000
愛知	86,400	86,400	86,500	86,300	86,500	86,500	86,500	86,500	86,500	86,500	86,700	86,700
大阪	88,200	88,200	88,200	88,500	88,500	88,500	88,500	88,500	88,500	88,500	88,500	88,500
兵庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡	74,700	76,700	78,000	78,100	78,400	78,100	78,100	78,100	78,100	78,100	78,100	78,100
佐賀	85,400	85,500	88,300	90,300	90,300	90,300	90,300	87,500	87,400	85,600	87,700	87,700
熊本	68,700	68,700	69,300	71,600	71,600	71,700	71,700	71,700	74,300	73,900	75,500	75,500
宮崎	65,400	73,900	73,900	74,600	73,900	73,100	72,400	72,400	72,400	72,400	72,400	73,100

・2026年

都道府県	1月	2月	3月
群馬	70,200	71,700	71,700
埼玉	-	-	-
千葉	-	-	-
東京	76,200	76,200	76,200
神奈川	122,200	122,200	122,200
新潟	注2) 113,700	注2) 78,100	84,400
愛知	86,700	86,700	86,700
大阪	88,300	88,300	88,300
兵庫	-	-	-
広島	-	-	-
福岡	78,100	78,700	80,000
佐賀	88,800	90,000	89,900
熊本	77,800	80,400	80,400
宮崎	73,100	73,100	73,100

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。

注2：すぎ間柱（乾燥材）の令和8年1月及び2月の新潟県の価格は、調査対象事務所の変更に伴う影響があるため利用にあたっては留意されたい。

注3：2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

○ホワイトウッド間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2025年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京	95,400	95,700	94,300	94,600	94,800	95,100	95,100	95,100	95,100	95,100	95,100	95,100
神奈川	102,900	103,200	103,200	103,200	103,200	104,600	104,600	104,500	104,500	105,900	105,900	105,900
愛知	85,200	84,500	84,500	85,000	85,500	86,600	87,000	87,000	87,000	87,500	87,500	87,500
大阪	79,200	79,300	79,300	79,300	81,500	81,500	81,500	81,500	81,500	82,600	82,600	83,700
兵庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡	85,700	85,700	85,700	85,700	85,700	79,200	79,200	81,400	81,400	82,200	82,200	82,200

・2026年

都道府県	1月	2月	3月
埼玉	-	-	-
千葉	-	-	-
東京	95,100	95,100	95,400
神奈川	105,900	105,900	105,900
愛知	88,000	89,200	89,300
大阪	83,700	83,700	83,700
兵庫	-	-	-
広島	-	-	-
福岡	84,400	86,400	88,000

○スギ集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98~3.0m、1等）

・2025年

単位：円/本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岩手	3,500	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300
秋田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,300	2,200	2,200	2,200	2,300
福島	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
茨城	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
栃木	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
広島	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
愛媛	2,300	2,300	2,300	2,300	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
佐賀	2,200	2,200	2,200	2,200	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
宮崎	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300

・2026年

都道府県	1月	2月	3月
岩手	3,300	3,300	3,300
秋田	-	-	-
山形	2,300	2,300	2,300
福島	2,200	2,300	2,300
茨城	2,300	2,300	2,300
栃木	2,100	2,100	2,100
広島	2,300	2,300	2,300
愛媛	2,400	2,500	2,500
佐賀	2,300	2,300	2,300
宮崎	2,300	2,300	2,300

○ホワイトウッド集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98~3.0m、1等）

・2025年

単位：円/本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
秋田	2,800	2,800	2,800	2,700	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	2,900	2,900	2,900
兵庫	2,600	2,600	2,600	2,700	2,700	2,700	2,700	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800
奈良	2,600	2,600	2,700	2,800	2,800	2,800	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900
岡山	2,800	2,800	2,900	2,900	2,900	2,900	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,100
愛媛	2,600	2,600	2,600	2,600	2,700	2,700	2,700	2,700	2,800	2,800	2,800	2,800

・2026年

都道府県	1月	2月	3月
秋田	3,000	2,800	2,800
兵庫	2,800	2,800	2,900
奈良	2,900	2,900	2,900
岡山	3,100	3,100	3,100
愛媛	2,800	2,800	2,800

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。

注3：2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

○針葉樹合板（厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類）

・2025年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
群馬			1,320			1,380			1,380			1,380
埼玉			-			-			-			-
東京			1,360			1,430			1,440			1,440
神奈川			1,350			1,380			1,390			1,390
新潟			2,300			1,550			1,580			1,550
愛知			1,260			1,390			1,420			1,410
大阪			1,240			1,330			1,340			1,310
佐賀			1,330			1,330			1,330			1,330
熊本			1,520			1,520			1,370			1,370
宮崎			1,460			1,430			1,430			1,420

単位：円/枚

・2026年

都道府県	1月	2月	3月
群馬			1,380
埼玉			-
東京			1,450
神奈川			1,400
新潟			1,490
愛知			1,370
大阪			1,290
佐賀			1,750
熊本			1,370
宮崎			1,420

○チップ用丸太（針葉樹）

・2025年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	8,200	8,200	8,200	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400
青森	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800
岩手	8,800	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400
宮城	7,100	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300
秋田	7,900	8,100	8,100	8,100	8,100	8,100	8,300	8,400	8,100	8,100	8,100	8,100
山形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,100	7,200	7,200	7,100	7,200	7,100
茨城	8,400	8,400	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800
山梨	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野	7,600	7,600	7,600	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900
岐阜	9,300	10,500	9,200	9,300	9,700	9,700	10,200	10,600	9,900	9,800	9,900	10,000
三重	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800
京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	9,600	9,600	9,100	9,200	9,200	9,200	9,400	9,400	9,400	9,400	9,400	9,400
鳥取	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800
島根	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900
高知	5,600	5,600	5,600	5,700	5,600	5,700	5,500	5,500	5,700	5,500	5,800	5,800
熊本	8,900	9,200	8,900	8,700	8,800	8,900	9,100	9,300	9,000	9,100	9,300	9,700
大分	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
宮崎	7,200	7,200	7,200	7,200	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
鹿児島	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	9,000	9,000	9,000	9,100	9,000

単位：円/m³

・2026年

都道府県	1月	2月	3月
北海道	8,500	8,400	8,500
青森	7,800	7,800	7,800
岩手	8,500	8,500	8,500
宮城	7,300	7,300	7,300
秋田	8,100	8,100	8,100
山形	-	-	-
福島	7,100	7,100	7,200
茨城	-	-	-
栃木	5,800	5,800	5,800
山梨	-	-	-
長野	7,900	7,900	7,900
岐阜	9,800	9,900	9,700
三重	6,800	6,800	6,800
京都	-	-	-
兵庫	9,500	9,500	9,400
鳥取	7,800	7,800	7,800
島根	-	-	-
広島	-	-	-
徳島	4,900	4,900	4,900
高知	5,700	5,700	5,800
熊本	9,400	9,400	9,100
大分	8,900	8,900	8,900
宮崎	7,500	7,500	7,500
鹿児島	9,000	9,000	9,100

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。

注2：2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

○チップ用丸太（広葉樹）

・2025年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,200	10,200	10,200	10,200	10,200	10,200	10,200
青森	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900
岩手	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300
宮城	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
秋田	13,200	13,200	13,200	13,200	13,200	13,200	13,200	13,200	12,700	12,700	12,700	12,700
山形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島	9,700	9,800	9,900	9,900	9,900	9,600	10,000	10,100	10,300	10,300	10,100	10,000
群馬	11,000	10,800	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
山梨	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
京都	8,300	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900
鳥取	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	12,000	12,000	12,700	12,700
島根	12,000	11,900	11,000	11,500	12,100	12,000	12,100	12,100	11,700	11,900	12,100	12,100
岡山	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
広島	6,700	7,200	7,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200
山口	11,000	11,100	11,100	11,000	10,600	10,800	10,900	10,900	11,100	10,800	10,900	10,500
熊本	8,800	8,200	8,000	8,000	8,100	8,600	8,500	8,400	8,200	8,300	8,300	8,600
宮崎	12,800	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
鹿児島	9,100	9,100	9,200	9,100	9,100	9,100	9,100	9,100	9,100	9,000	9,100	9,200

・2026年

都道府県	1月	2月	3月
北海道	10,300	10,300	10,300
青森	11,900	11,900	11,900
岩手	12,300	12,300	12,300
宮城	9,600	9,600	9,600
秋田	12,700	12,700	12,700
山形	-	-	-
福島	10,200	10,100	10,300
群馬	9,700	9,700	9,700
山梨	9,600	9,600	9,600
京都	9,900	9,900	9,900
鳥取	12,700	12,700	12,100
島根	12,100	12,200	12,100
岡山	8,900	8,900	8,900
広島	8,200	8,200	8,200
山口	10,700	11,200	11,200
熊本	8,200	8,000	8,100
宮崎	13,000	13,000	13,000
鹿児島	9,400	9,400	9,400

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。

注2：2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

○木材チップ（針葉樹）

・2025年 単位：円/t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	17,900	17,900	17,900	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200
青森	17,600	17,600	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400
岩手	20,400	20,400	20,500	20,500	20,500	20,500	20,500	20,600	20,700	20,700	20,700	20,700
宮城	21,700	21,800	21,800	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,400	21,400	21,400	21,300
秋田	16,300	16,300	16,300	16,300	16,300	16,300	16,400	16,400	16,100	16,100	16,100	16,100
山形	11,100	10,700	11,000	11,800	11,900	11,800	11,900	11,900	11,800	11,900	11,900	11,900
福島	16,100	16,100	16,100	16,100	16,100	16,100	16,300	16,300	16,300	16,300	16,300	16,300
茨城	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
栃木	14,700	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200
富山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
山梨	18,500	18,500	18,500	18,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,400	19,400	19,400
長野	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100
静岡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三重	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100	21,000	21,100	21,700	21,600	21,500	21,400
滋賀	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100
京都	26,300	26,300	26,300	26,300	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000
兵庫	17,600	17,800	18,900	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000
鳥根	16,500	16,500	16,500	16,800	16,800	16,800	17,800	17,800	17,800	17,800	17,800	17,800
岡山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
広島	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
徳島	16,200	16,200	16,200	16,200	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600
愛媛	13,100	13,100	12,300	12,300	12,300	12,400	12,700	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600
高知	21,000	21,000	21,000	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100
熊本	18,200	18,400	18,400	18,400	18,900	18,900	18,900	18,500	18,500	18,500	19,000	19,000
大分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宮崎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鹿児島	20,800	20,800	20,100	20,400	20,600	20,600	20,600	20,600	20,600	20,600	20,900	20,900

・2026年

都道府県	1月	2月	3月
北海道	18,200	18,200	18,200
青森	18,500	18,400	18,400
岩手	20,700	20,700	20,700
宮城	21,400	21,400	21,300
秋田	16,400	16,400	16,400
山形	11,900	11,700	11,600
福島	16,300	16,100	16,100
茨城	—	—	—
栃木	16,200	16,200	16,200
富山	—	—	—
山梨	19,500	19,400	19,500
長野	15,100	15,100	15,100
静岡	—	—	—
三重	21,500	21,500	21,500
滋賀	6,100	6,100	6,100
京都	28,000	28,000	28,000
兵庫	19,000	19,000	19,000
鳥根	17,800	17,800	17,800
岡山	—	—	—
広島	—	—	—
徳島	17,600	17,600	17,600
愛媛	12,600	13,400	13,400
高知	21,100	21,100	21,100
熊本	19,000	19,000	19,000
大分	—	—	—
宮崎	—	—	—
鹿児島	21,000	21,000	21,000

○木材チップ（広葉樹）

・2025年 単位：円/t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	23,600	23,600	23,600	24,200	25,700	25,800	25,800	25,800	25,800	25,800	25,800	25,800
青森	21,000	21,000	21,900	21,900	21,900	21,900	21,900	21,900	21,900	21,900	21,900	21,900
岩手	20,600	20,600	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800
宮城	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500
秋田	21,800	21,800	21,800	21,800	21,800	21,800	21,800	21,700	22,100	22,100	22,100	22,100
福島	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400
栃木	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
群馬	11,000	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500
山梨	17,600	17,600	17,600	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200
鳥根	28,400	28,400	28,000	28,000	28,400	28,400	28,400	28,400	28,400	28,400	28,700	28,700
広島	24,500	24,400	24,300	26,700	26,700	26,700	26,700	26,700	26,700	26,700	27,000	27,000
熊本	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宮崎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鹿児島	19,800	19,800	19,800	20,100	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,500	20,500

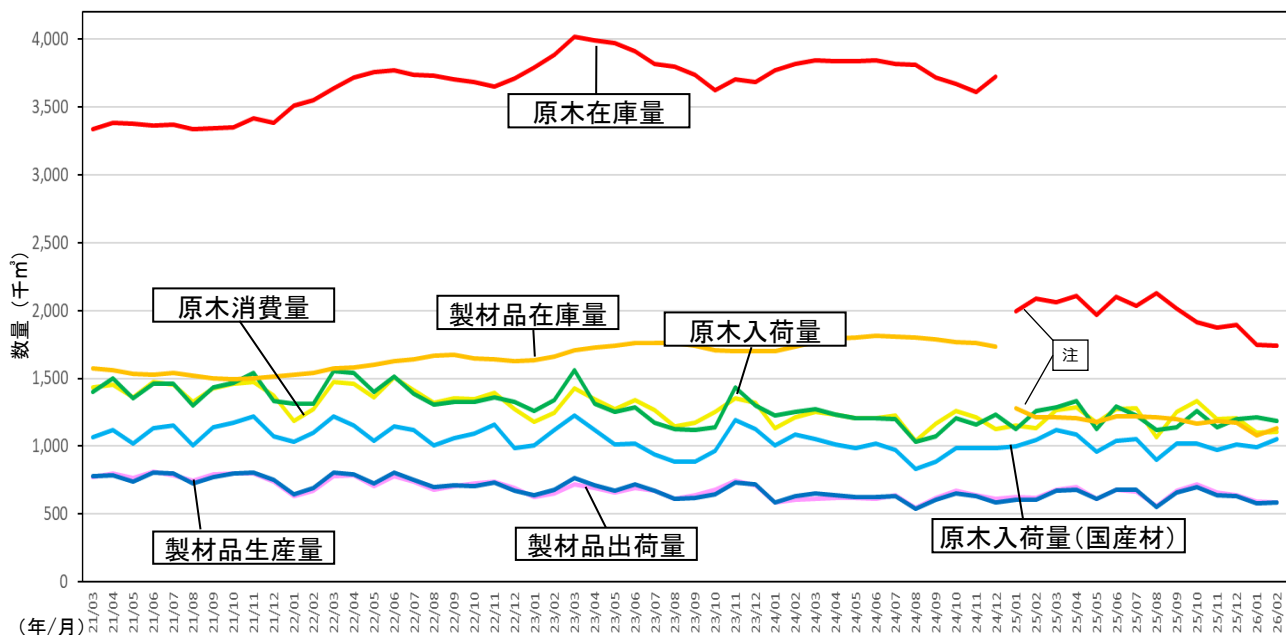
・2026年

都道府県	1月	2月	3月
北海道	25,800	25,800	25,800
青森	22,600	21,900	21,900
岩手	20,800	20,800	20,800
宮城	21,500	21,500	21,500
秋田	22,100	22,100	22,100
福島	21,400	21,400	21,400
栃木	—	—	—
群馬	16,500	16,500	16,500
山梨	18,200	18,200	18,200
鳥根	28,700	28,700	28,400
広島	27,000	27,000	27,000
熊本	—	—	—
宮崎	—	—	—
鹿児島	20,500	20,500	20,500

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」
 注1：2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。
 注2：2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

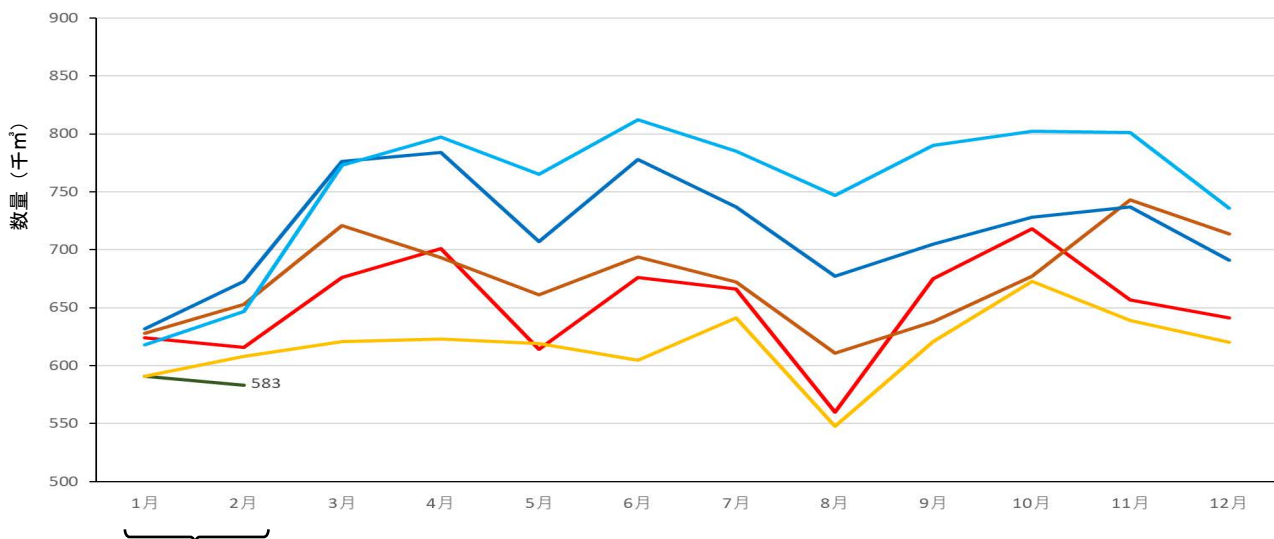
木材需給情報-1 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向

- 2026年1～2月の原木の入荷量は、2,397千m³（前年同期比 100%）。
- 同様に製材品の出荷量は、1,174千m³（前年同期比 95%）。



注：「原木在庫量」「製材品在庫量」は、2025年1月から月末在庫量の算出方法が変更されたため、2024年以前の数値とは接続しない。

○製材品出荷量の月別推移（全国）

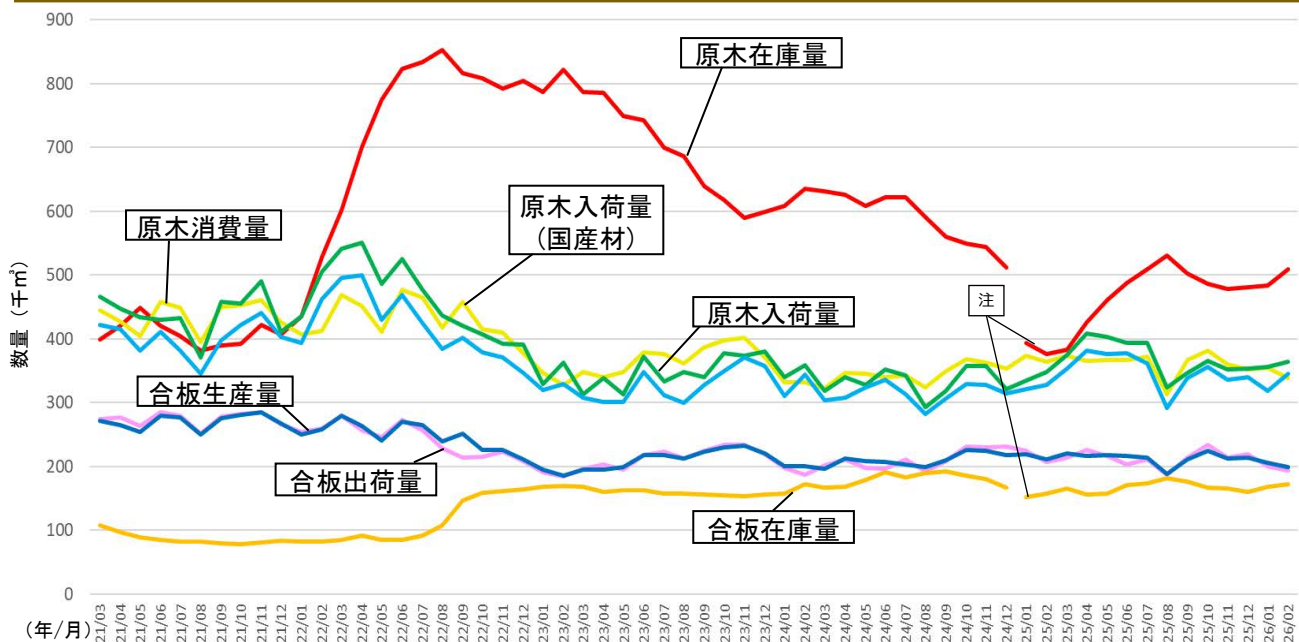


	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
1～2月原木入荷量 合計(千m ³)	2441	2630	2604	2478	2388	2397
前年との比較	90%	108%	99%	95%	96%	100%
1～2月出荷量 合計(千m ³)	1265	1305	1281	1188	1240	1174
前年との比較	93%	103%	98%	93%	104%	95%

資料：農林水産省「製材統計」

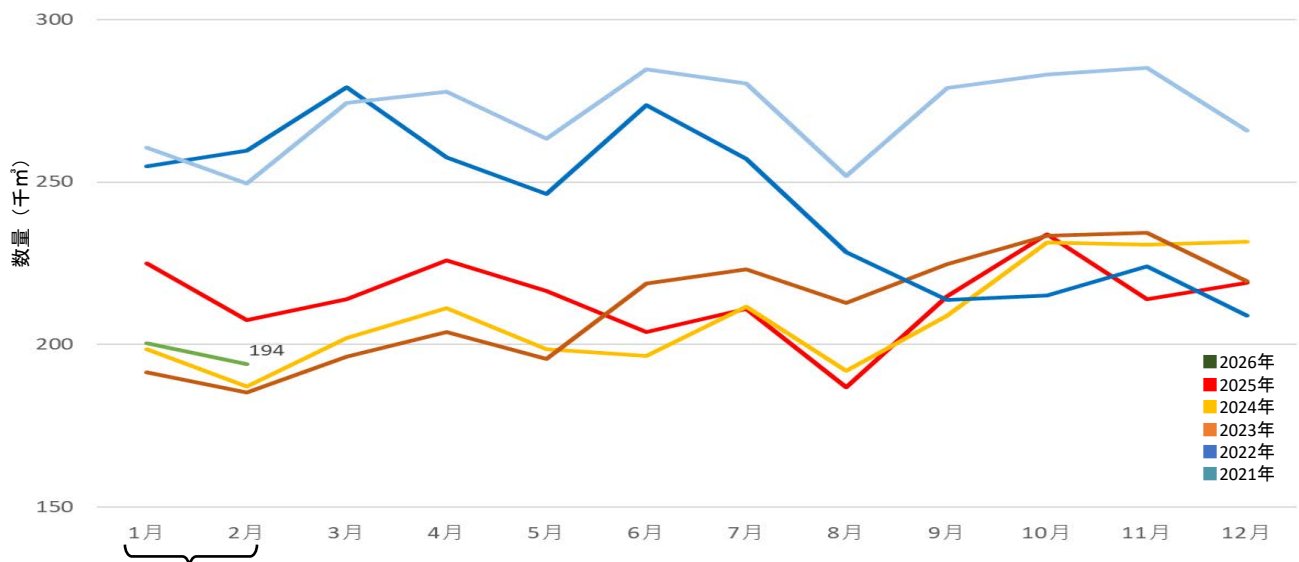
木材需給情報-2 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向

- 2026年1～2月の原木の入荷量は、721千 m^3 （前年同期比 106%）。
- 同様に合板の出荷量は、395千 m^3 （前年同期比 91%）。



注：「原木在庫量」「合板在庫量」は、2025年1月から月末在庫量の算出方法が変更されたため、2024年以前の数値とは接続しない。

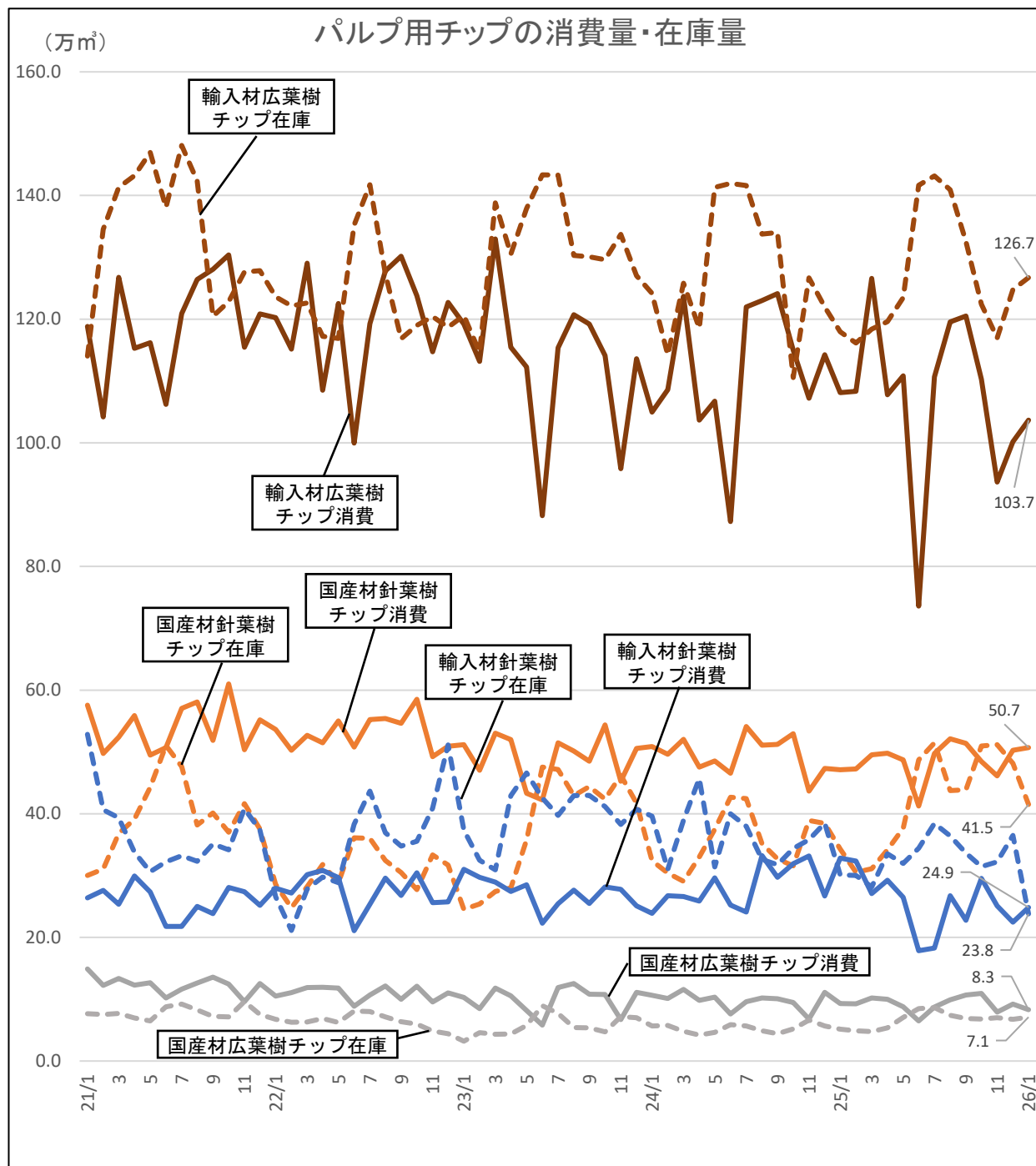
○合板出荷量の月別推移（全国）



	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
1～2月原木入荷 合計(千 m^3)	774	941	693	700	683	721
前年との比較	91%	122%	74%	101%	98%	106%
1～2月出荷量 合計(千 m^3)	510	515	377	386	433	395
前年との比較	100%	101%	73%	102%	112%	91%

資料：農林水産省「合板統計」

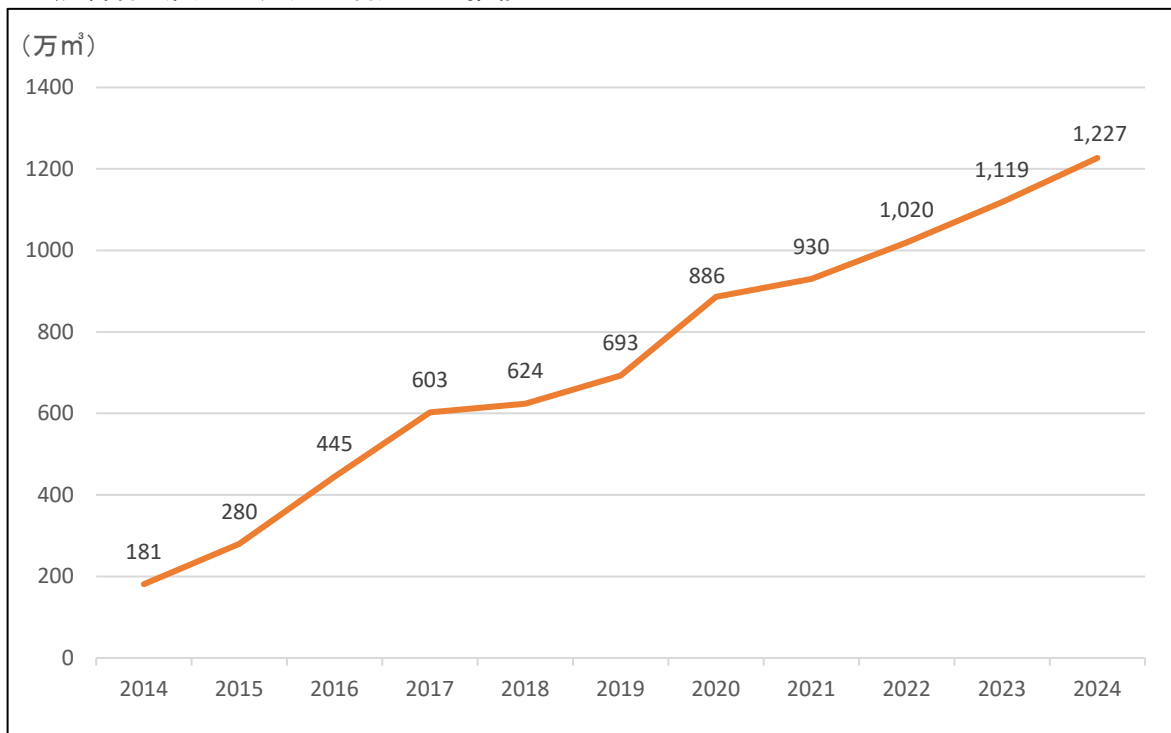
- パルプ用チップの消費について、2026年1月の輸入材広葉樹チップの消費量は103.7万 m^3 。国産材針葉樹チップの消費量は50.7万 m^3 となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

- 燃料材(国内生産)の利用量は、発電利用を中心に増加(過去10年間で約7倍)。
- 2026年2月の紙の生産高は75万トン。板紙の生産高は88万トンとなっている。

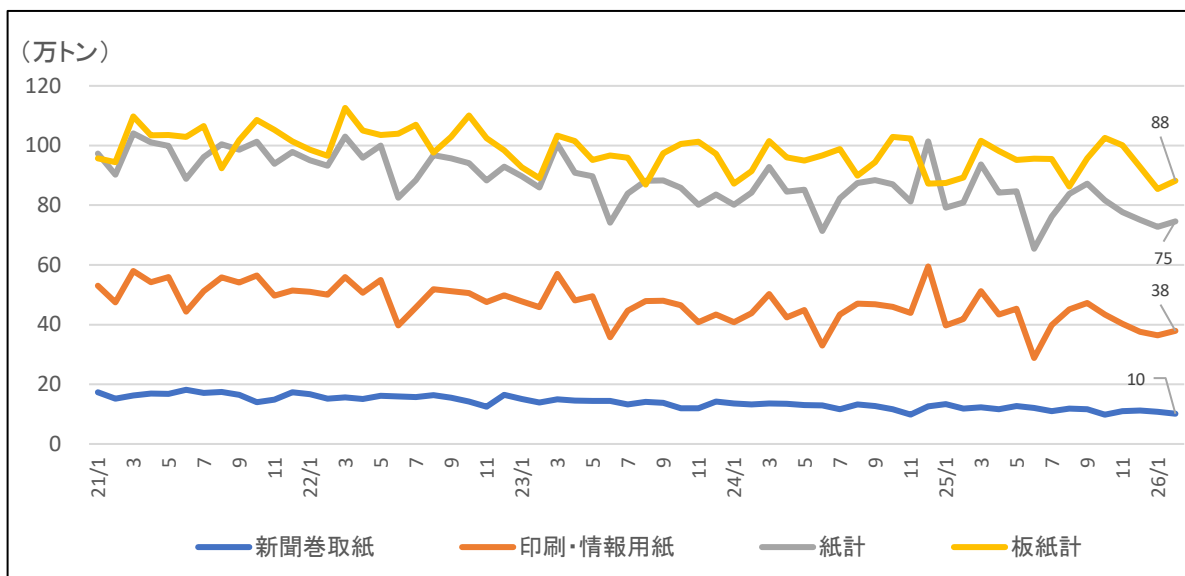
○燃料材(国内生産)の利用量の推移



資料：木材利用課調べ(～2014年)、林野庁「木材需給表」(2015年～)

注：利用量には輸出量は含まない。

○紙品種別生産高



資料：林野庁木材産業課調べ

木材需給情報-5 素材生産量（2024年）

- 2024年の製材、合板及びチップ用材の素材生産量の合計は1,976万m³。

単位：千m³

全 国 都道府県	計	製材用	合板等用	木材チップ用	針葉樹		広葉樹
					スギ		
全 国	19,763	11,956	3,951	3,856	18,398	11,716	1,365
北 海 道	2,850	1,443	511	896	2,407	43	443
青 森	729	293	332	104	706	619	23
岩 手	1,170	503	423	244	1,063	703	107
宮 城	613	194	271	148	572	523	41
秋 田	1,098	556	379	163	1,058	1,015	40
山 形	293	224	55	14	291	282	2
福 島	872	487	67	318	811	593	61
茨 城	483	319	4	160	419	325	64
栃 木	633	463	7	163	568	439	65
群 馬	193	146	21	26	166	134	27
埼 玉	67	35	0	32	44	31	23
千 葉	67	11	3	53	46	39	21
東 京	44	15	6	23	42	23	2
神 奈 川	7	6	1	-	7	4	0
新 潟	91	57	19	15	90	89	1
富 山	75	35	24	16	72	62	3
石 川	102	46	45	11	97	86	5
福 井	114	48	42	24	113	96	1
山 梨	94	19	56	19	86	21	8
長 野	455	152	212	91	444	81	11
岐 阜	434	324	63	47	413	228	21
静 岡	285	153	109	23	283	140	2
愛 知	160	102	45	13	156	84	4
三 重	304	152	90	62	294	164	10
滋 賀	46	21	16	9	44	28	2
京 都	164	65	55	44	159	126	5
大 阪	17	3	3	11	13	6	4
兵 庫	291	99	131	61	285	189	6
奈 良	93	73	4	16	90	51	3
和 歌 山	128	107	13	8	127	78	1
鳥 取	208	79	88	41	195	160	13
島 根	354	91	147	116	284	193	70
岡 山	427	331	33	63	406	135	21
広 島	329	111	97	121	247	131	82
山 口	199	113	43	43	179	120	20
徳 島	280	151	67	62	269	211	11
香 川	14	4	-	10	7	2	7
愛 媛	520	467	13	40	518	292	2
高 知	537	385	34	118	534	211	3
福 岡	168	146	1	21	164	118	4
佐 賀	118	110	2	6	118	63	0
長 崎	132	79	-	53	123	64	9
熊 本	920	742	99	79	898	636	22
大 分	1,019	843	126	50	1,005	835	14
宮 崎	1,899	1,708	104	87	1,882	1,733	17
鹿 児 島	666	444	90	132	603	510	63
沖 縄	1	1	-	0	0	-	1

資料：農林水産省「令和6年木材統計」（2026年3月27日確報）

- 統計数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値（全国）と内訳（都道府県別）の計が一致しない場合がある。
- 「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの
- 「0」：単位に満たないもの（例：0.4千m³ → 0千m³）、「-」：事実のないもの

木材需給情報-6 木材生産の産出額（2024年）

- 2024年の都道府県別木材生産の産出額の合計は4,770億円。

単位：1,000万円

都道府県	林業産出額	木材生産	針葉樹					広葉樹	竹材
			スギ	ヒノキ	アカマツ・クロマツ	カラマツ・エゾマツ・トドマツ			
北海道	4,076	3,190	2,760	33	-	0	2,698	430	-
青森	828	777	749	613	-	30	60	28	-
岩手	1,853	1,399	1,254	714	0	120	420	132	-
宮城	1,016	590	561	521	7	22	12	27	2
秋田	1,570	1,198	1,155	1,090	0	8	56	43	-
山形	747	366	364	346	0	2	16	2	-
福島	1,297	863	801	507	174	28	80	61	0
茨城	877	559	508	342	163	2	0	48	2
栃木	1,092	695	638	443	184	3	2	55	0
群馬	709	225	201	152	32	0	16	23	-
埼玉	313	71	51	34	16	0	1	19	-
千葉	235	76	44	37	6	-	1	31	0
東京	53	33	31	15	15	0	0	2	-
神奈川	39	10	10	5	6	-	-	0	0
新潟	4,961	102	98	98	0	1	0	3	0
富山	463	81	78	66	2	1	9	3	-
石川	181	126	122	103	8	1	6	4	-
福井	158	112	111	92	17	1	0	1	0
山梨	128	92	81	16	11	15	36	4	-
長野	6,594	645	633	77	125	56	369	5	-
岐阜	1,030	732	696	354	331	1	7	34	0
静岡	1,085	384	383	151	229	1	-	1	0
愛知	285	204	200	93	95	0	10	4	-
三重	1,015	422	413	201	211	1	-	9	-
滋賀	94	45	43	25	17	1	0	2	1
京都	267	170	163	125	37	1	-	7	1
大阪	50	15	11	4	4	1	2	4	-
兵庫	384	303	298	183	110	1	0	5	0
奈良	200	142	139	55	84	-	-	3	0
和歌山	361	145	140	79	61	0	-	1	3
鳥取	329	195	185	141	41	3	-	10	-
島根	507	383	318	209	86	18	0	64	0
岡山	779	613	596	120	472	2	-	12	4
広島	923	439	387	179	194	15	-	52	0
山口	337	265	246	149	96	2	-	13	5
徳島	1,011	336	327	230	97	1	-	9	0
香川	460	11	7	1	5	1	-	3	0
愛媛	790	669	667	293	373	2	-	1	0
高知	898	689	685	202	420	0	-	2	3
福岡	1,610	221	218	145	73	0	-	3	0
佐賀	175	162	161	72	89	0	-	0	1
長崎	604	150	144	69	75	0	-	6	-
熊本	1,629	1,404	1,382	882	499	1	-	15	4
大分	1,807	1,229	1,207	965	242	0	-	11	3
宮崎	2,875	2,350	2,338	2,083	255	1	0	11	-
鹿児島	943	804	743	597	143	0	-	48	14
沖縄	58	1	0	-	-	-	-	1	-
合計	47,698	23,694	22,348	12,909	5,106	342	3,803	1,253	44

資料：農林水産省「令和6年林業産出額」

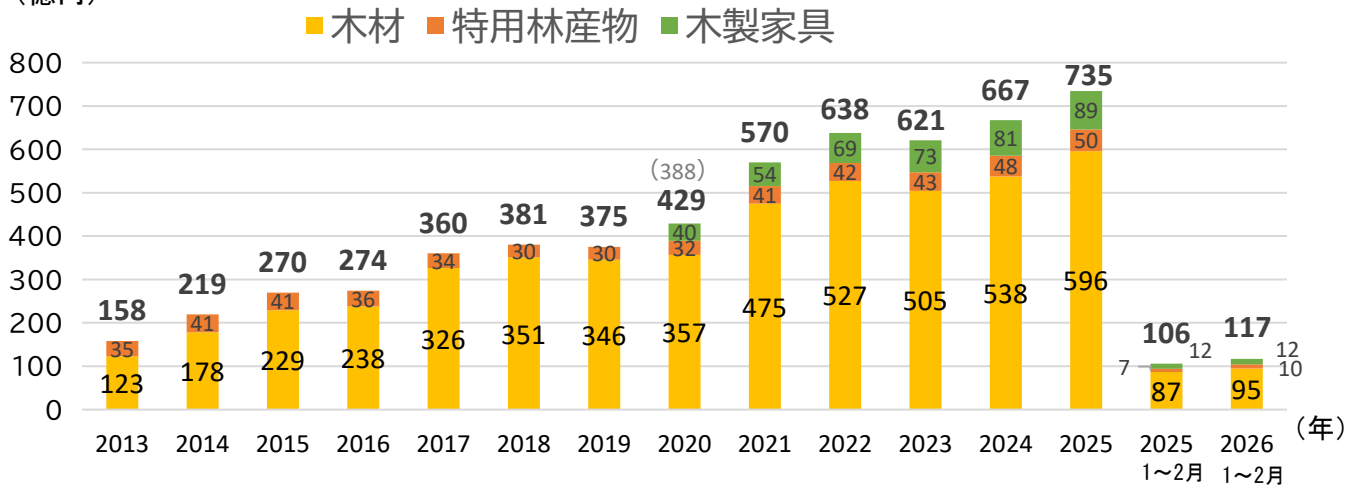
注：都道府県別産出額には、全国値に計上する木材生産におけるパルプ工場へ直接入荷されるパルプ用素材、輸出丸太及び燃料用チップ素材の産出額、薪炭生産におけるまきの産出額、林野副産物採取における木ろう及び生うるしの産出額を計上しない。

また、全国値には計上しない木材生産における他都道府県に販売されたしいたけ原木の産出額を計上する。

- 2026年2月の林産物輸出額は、67億円（前年同月比107%）となった。内訳は、木材が55億円（同109%）、特用林産物が5億円（同118%）、木製家具が6億円（同90%）となった。
- 2026年1～2月の林産物輸出額は、117億円（前年同月比110%）となった。内訳は、木材が95億円（同109%）、特用林産物が10億円（同133%）、木製家具が12億円（同108%）となった。

○林産物輸出額の推移

（億円）



資料：財務省「貿易統計」

※：特用林産物には、きのこ（はらたけ属以外）、乾しいたけ、ロジン、植物性ろう等が含まれる。なお、木質ペレット、薪、木炭は木材に含まれる。

※：2020年の（388）は品目の見直しによる追加品目（木製家具、調整・保存処理したきのこ等）を含まない数字。

※：四捨五入により、合計が合致しない場合がある。

○林産物の月別輸出額

（億円）

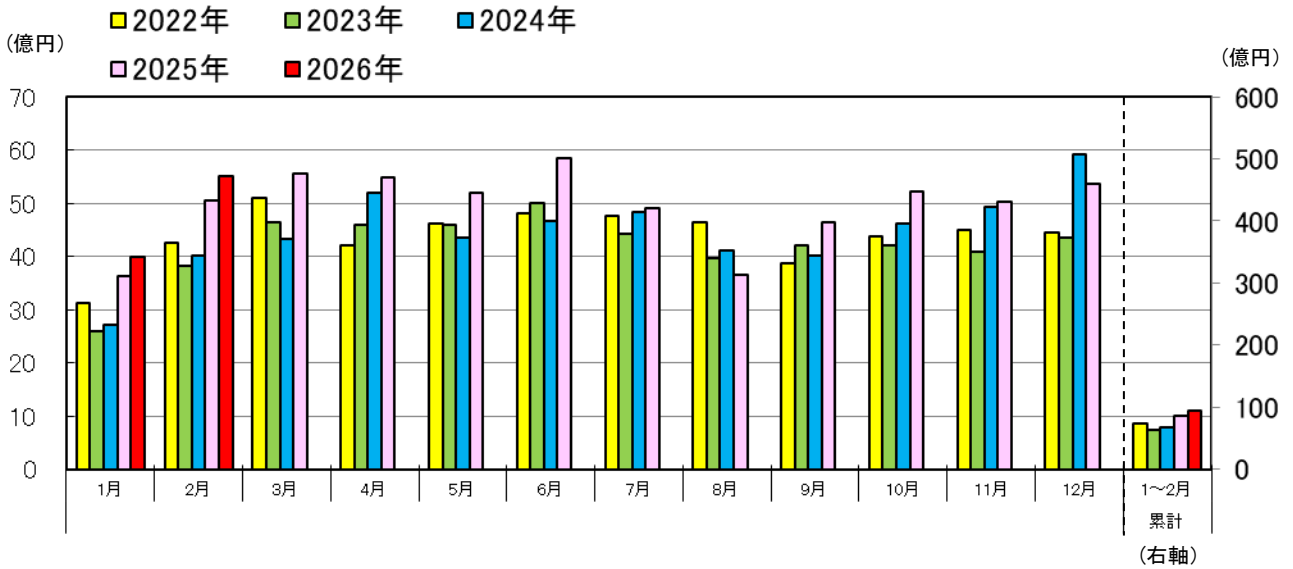
	2025年				2026年					
	林産物	木材	特用林産物	木製家具	林産物	前年比	前々年比	木材	特用林産物	木製家具
1月	44	36	3	5	50	115%	141%	40	4	6
2月	62	51	5	7	67	107%	135%	55	5	6
3月	66	56	3	8						
4月	65	55	3	7						
5月	64	52	4	7						
6月	70	58	4	8						
7月	64	49	6	8						
8月	47	37	3	7						
9月	59	46	4	8						
10月	66	52	5	8						
11月	62	50	5	7						
12月	67	54	5	9						
2月累計	106	87	7	12	117	110%	137%	95	10	12

資料：財務省「貿易統計」

※：四捨五入により、合計や前年比が合致しない場合がある。

- 2026年1～2月の木材輸出額は95億円(前年同期比109%)となった。
- 国・地域別では、フィリピン向け(同134%)、米国向け(同129%)は前年同期を上回り、中国向け(同97%)、韓国向け(同98%)、台湾向け(同94%)は下回った。
- 品目別では、丸太(同98%)は前年同期を下回り、製材(同129%)、合板(同129%)は前年同期を上回った。

○木材輸出額の推移(月別)



○木材輸出額の推移(主な国・地域別、品目別)

輸出先	2月 単月					1～2月累計				
	輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)			輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)		
			丸太	製材	合板			丸太	製材	合板
中国	2,943	97%	2,689 103%	140 72%	19 67%	4,931	97%	4,418 99%	208 82%	34 72%
韓国	212	80%	84 61%	43 89%	1 60%	448	98%	229 89%	83 105%	1 55%
台湾	145	74%	73 86%	31 51%	0 0%	309	94%	143 115%	80 81%	0 0%
米国	665	131%	0 —	415 149%	25 —	1,107	129%	0 —	687 141%	25 —
フィリピン	1,081	153%	0 —	187 150%	811 154%	1,902	134%	0 —	307 168%	1,453 129%
その他	451	134%	4 18%	83 259%	1 22%	782	140%	12 39%	117 253%	5 181%
総計	5,497	109%	2,850 100%	899 122%	856 153%	9,478	109%	4,802 98%	1,482 129%	1,519 129%

※資料：財務省貿易統計

丸太は、第44.03項、製材は第44.07項、合板は第4412.31号から第4412.39号までを集計。
四捨五入により、数値が合わないことがある。

木材輸出についての詳細は、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/yusyutu/mokuzai-yusyutsu.html>



- 2026年2月の木材輸入額は、前月比87%、前年同月比105%の1,213億円。

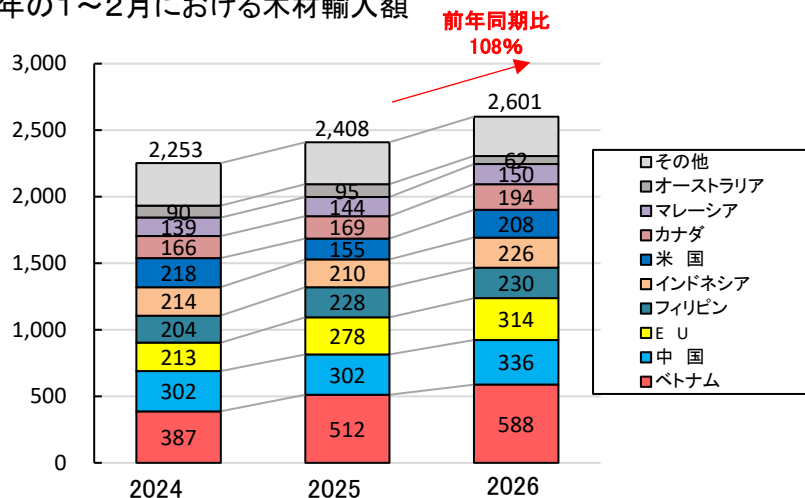
○2026年2月の木材輸入額

(単位:億円)

年 国名	2025年 (1月～ 12月)	月別金額				累計金額		
		2026年 1月	2026年 2月	前月比	前年 同月比	2025年 1～2月	2026年 1～2月	前年 同期比
世界計	14,911	1,387	1,213	87%	105%	2,408	2,601	108%
ベトナム	3,153	296	291	98%	133%	512	588	115%
中国	1,797	177	159	90%	137%	302	336	111%
E U (フィンランド)	1,733	177	137	78%	94%	278	314	113%
(スウェーデン)	543	57	43	75%	101%	82	100	122%
フィリピン	416	46	35	76%	95%	73	81	111%
インドネシア	1,496	116	114	99%	97%	228	230	101%
米国	1,231	118	108	91%	104%	210	226	108%
カナダ	1,217	116	92	80%	104%	155	208	134%
マレーシア	1,141	123	71	58%	77%	169	194	114%
オーストラリア	841	82	67	82%	96%	144	150	104%
その他	447	33	29	87%	54%	95	62	65%
その他	1,856	149	145	97%	98%	316	294	93%
我が国の総輸入額	1,124,261	103,509	95,153	92%	111%	177,315	192,116	108%
我が国の総輸入額に 占める木材輸入額の割合	1.33%	1.34%	1.28%			1.36%	1.35%	

○2024～2026年の1～2月における木材輸入額

(億円)



資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第44類（木材及びその製品並びに木炭）の合計（※次ページ以降に記載の品目の合計ではない）。

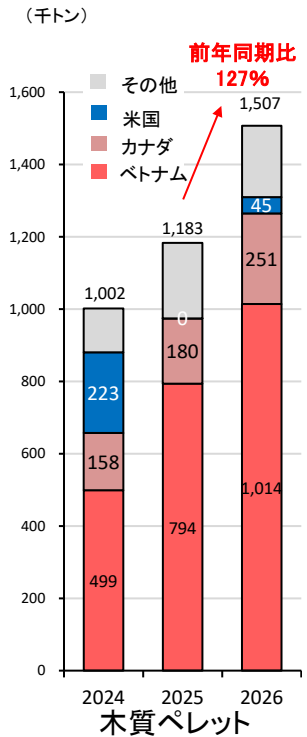
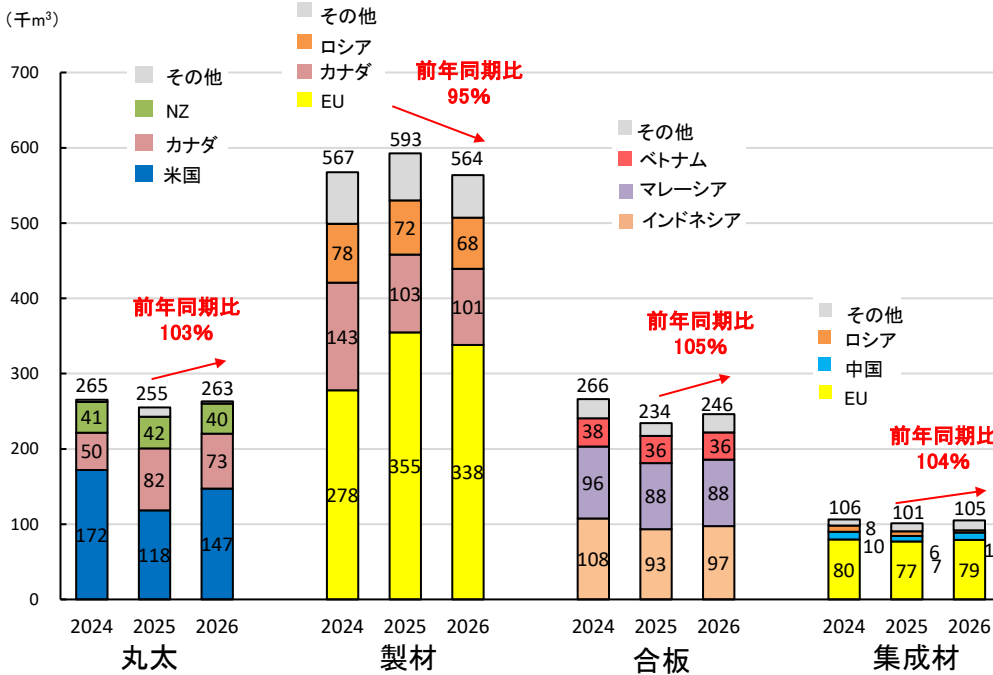
2：E Uに英国は含まない。

3：E Uは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

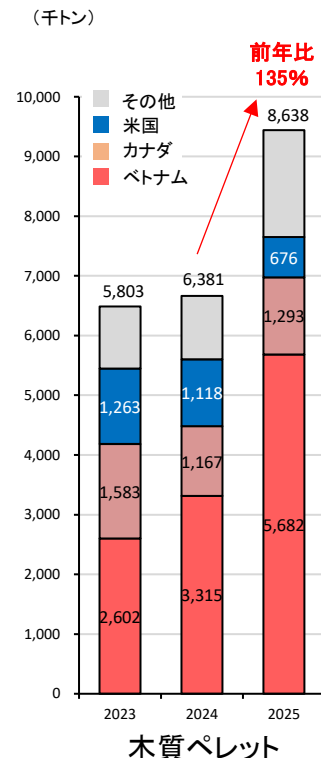
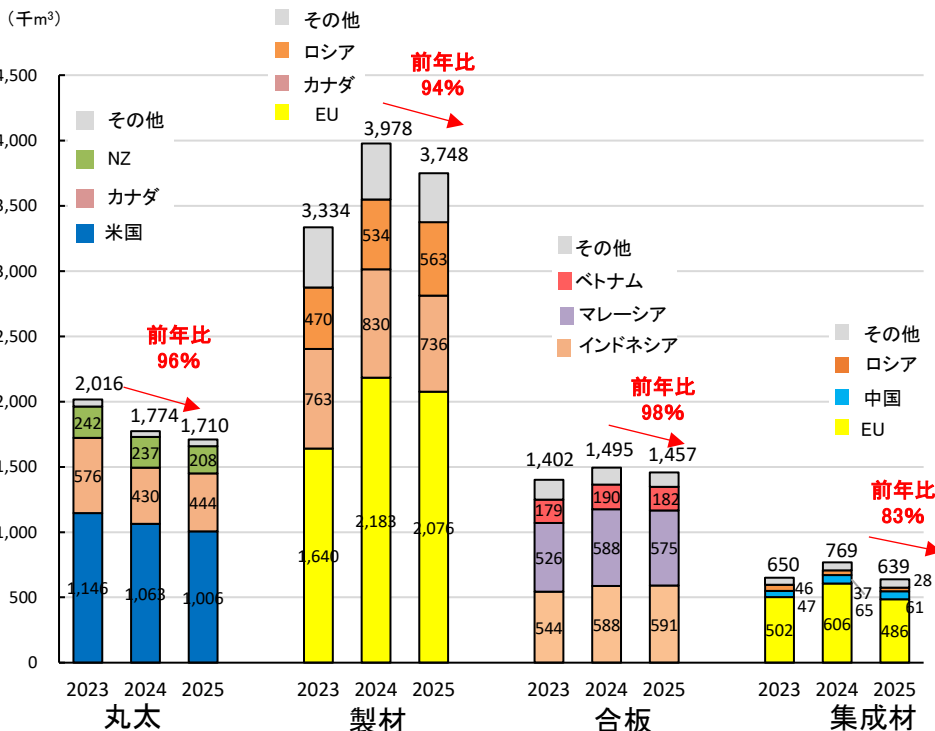
林産物輸出入情報-4 木材輸入量（累計）

- 2026年2月の品目別輸入量は、前年同期比で、丸太が103%、製材が95%、合板が105%、集成材が104%、木質ペレットが127%。2024年同期比では、丸太が99%、製材が99%、合板が92%、集成材が99%、木質ペレットが156%。
- 2025年の品目別の輸入量は、前年比で、丸太が96%、製材が94%、合板が98%、集成材が83%と減少する一方で、木質ペレットが150%と増加。

○2024～2026年の1～2月における品目別木材輸入量



(参考) 2023～2025年の品目別木材輸入量



資料: 財務省貿易統計
注1: 2023年9月号より木質ペレットのグラフを追加。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（丸太）

- 2026年2月の丸太輸入量は、前月比56%、前年同月比60%の9万³。

(単位:千³)

材種 国名	年 2025年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2026年 1月	2026年 2月	前月比	前年 同月比	2025年 1～2月	2026年 1～2月	前年 同期比
合計	[100%] 1,710	[100%] 169	[100%] 94	56%	60%	[100%] 255	[100%] 263	103%
米材	[85%] 1,450	[84%] 142	[83%] 79	55%	66%	[79%] 201	[84%] 220	110%
米国	[59%] 1,006	[48%] 81	[70%] 66	81%	84%	[46%] 118	[56%] 147	124%
カナダ	[26%] 444	[36%] 61	[13%] 13	21%	30%	[32%] 82	[28%] 73	89%
南洋材	[2%] 36	[0%] 1	[0%] 0	21%	2%	[3%] 9	[0%] 1	9%
インドネシア	[0%] 0	[0%] 0	[0%] 0	67%	皆増	[0%] 0	[0%] 0	375%
マレーシア	[1%] 16	[0%] 1	[0%] 0	21%	2%	[1%] 2	[0%] 1	39%
パプアニュー ギニア	[1%] 20	-	-	-	皆減	[3%] 7	-	皆減
ロシア材	-	-	-	-	-	-	-	-
ニュージーランド材	[12%] 208	[15%] 26	[15%] 14	56%	54%	[16%] 42	[15%] 40	95%
欧州材	[1%] 12	[0%] 1	[1%] 1	135%	30%	[1%] 3	[1%] 2	47%
EU 計	[1%] 10	[0%] 1	[1%] 1	137%	95%	[0%] 1	[1%] 2	121%
アフリカ材	[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0	38%	95%	[0%] 0	[0%] 0	172%
中国	[0%] 1	-	[0%] 0	皆減	90%	[0%] 0	[0%] 0	皆減
その他	[0%] 1	[0%] 0	[0%] 0	178%	58%	[0%] 0	[0%] 0	35%

資料：財務省貿易統計

注1：丸太は輸入統計品目表第4403項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（製材）

- 2026年2月の製材輸入量は、前月比84%、前年同月比89%の26m³。

（単位：千m³）

材種 国名	年 2025年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2026年 1月	2026年 2月	前月比	前年 同月比	2025年 1～2月	2026年 1～2月	前年 同期比
合計	[100%] 3,748	[100%] 306	[100%] 258			[100%] 593	[100%] 564	
米材	[22%] 813	[20%] 61	[18%] 47			[20%] 117	[19%] 108	
米国	[2%] 77	[1%] 4	[1%] 3			[2%] 14	[1%] 7	
カナダ	[20%] 736	[19%] 57	[17%] 44			[17%] 103	[18%] 101	
南洋材	[1%] 43	[1%] 4	[1%] 3			[1%] 7	[1%] 7	
インドネシア	[1%] 20	[0%] 2	[1%] 1			[1%] 3	[1%] 3	
マレーシア	[1%] 23	[1%] 2	[1%] 2			[1%] 4	[1%] 4	
パプアニューギニア	[0%] 0	-	-			-	-	
ロシア材	[15%] 563	[11%] 35	[13%] 33			[12%] 72	[12%] 68	
ニュージーランド材	[1%] 38	[1%] 3	[1%] 4			[1%] 6	[1%] 7	
チリ材	[4%] 142	[2%] 5	[8%] 20			[4%] 22	[4%] 25	
欧州材	[56%] 2,097	[63%] 194	[57%] 147			[61%] 360	[61%] 342	
EU計	[55%] 2,076	[63%] 193	[56%] 145			[60%] 355	[60%] 338	
(スウェーデン)	[20%] 754	[25%] 77	[23%] 60			[23%] 135	[24%] 137	
(フィンランド)	[20%] 763	[23%] 71	[19%] 49			[22%] 130	[21%] 120	
アフリカ材	[0%] 1	[0%] 0	[0%] 0			[0%] 1	[0%] 0	
中国	[1%] 42	[1%] 3	[1%] 3			[1%] 6	[1%] 6	
その他	[0%] 9	[0%] 1	[0%] 1			[0%] 2	[0%] 2	

資料：財務省貿易統計

注1：製材は輸入統計品目表第4407項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

9：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

- 2026年2月の合板輸入量は、前月比82%、前年同月比97%の11万³。

(単位:千m³)

国名	年 2025年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2026年 1月	2026年 2月	前月比	前年 同月比	2025年 1～2月	2026年 1～2月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 1,457	[100%] 135	[100%] 111	82%	97%	[100%] 234	[100%] 246	105%
インドネシア	[41%] 591	[38%] 51	[42%] 47	91%	93%	[40%] 93	[40%] 97	104%
マレーシア	[39%] 575	[39%] 52	[33%] 36	69%	89%	[37%] 88	[36%] 88	101%
ベトナム	[12%] 182	[15%] 20	[15%] 16	83%	102%	[15%] 36	[15%] 36	100%
中国	[7%] 100	[9%] 12	[10%] 11	95%	178%	[6%] 14	[9%] 22	157%
E U	[0%] 5	[0%] 0	[0%] 0	290%	47%	[1%] 2	[0%] 1	40%
その他	[0%] 4	[0%] 1	[1%] 1	109%	111%	[1%] 1	[0%] 1	88%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号111～299、第4412.31号、第4412.33号、第4412.34号、第4412.39号の合計。

注2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

注3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

注4：E Uに英国は含まない。

- 2026年2月の木材チップ輸入量は、前月比115%、前年同月比101%の91万トン。

(単位:千トン)

国名	年 2025年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2026年 1月	2026年 2月	前月比	前年 同月比	2025年 1～2月	2026年 1～2月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 10,749	[100%] 791	[100%] 913	115%	101%	[100%] 1,863	[100%] 1,704	91%
ベトナム	[40%] 4,277	[40%] 319	[40%] 365	114%	104%	[39%] 729	[40%] 684	94%
オーストラリア	[13%] 1,424	[13%] 101	[10%] 91	90%	56%	[16%] 298	[11%] 192	65%
タイ	[10%] 1,126	[17%] 133	[5%] 46	34%	46%	[11%] 197	[10%] 178	91%
米国	[10%] 1,026	[8%] 61	[13%] 119	197%	150%	[9%] 171	[11%] 180	105%
南アフリカ共和国	[11%] 1,140	[4%] 33	[16%] 150	460%	164%	[11%] 213	[11%] 183	86%
その他	[16%] 1,757	[18%] 145	[15%] 141	97%	119%	[14%] 256	[17%] 287	112%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.21号と第4401.22号の合計。

注2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

注3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（集成材）

- 2026年2月の集成材輸入量は、前月比77%、前年同月比83%の4.6万m³。
- 構造用集成材に限ると、前月比78%、前年同月比79%の3.8万m³。

（単位：千m³）

国名	年	2025年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
			2026年 1月	2026年 2月	前月比	前年 同月比	2025年 1～2月	2026年 1～2月	前年 同期比
総輸入量		[100%] 639	[100%] 59	[100%] 46	77%	83%	[100%] 101	[100%] 105	104%
うち	構造用集成材	[100%] 530	[100%] 48	[100%] 38	78%	79%	[100%] 83	[100%] 86	103%
E U		[76%] 486	[75%] 45	[75%] 35	78%	77%	[76%] 77	[75%] 79	103%
うち	構造用集成材	[88%] 465	[90%] 43	[90%] 34	78%	78%	[89%] 74	[90%] 77	104%
フィンランド		[34%] 219	[41%] 24	[41%] 19	78%	116%	[25%] 25	[41%] 43	173%
うち	構造用集成材	[41%] 218	[50%] 24	[51%] 19	78%	119%	[29%] 24	[50%] 43	178%
オーストリア		[13%] 80	[10%] 6	[8%] 4	60%	44%	[16%] 16	[9%] 10	62%
うち	構造用集成材	[13%] 71	[12%] 6	[9%] 3	58%	44%	[17%] 14	[11%] 9	65%
ルーマニア		[9%] 60	[3%] 2	[10%] 5	287%	79%	[10%] 10	[6%] 6	62%
うち	構造用集成材	[10%] 51	[2%] 1	[11%] 4	360%	78%	[11%] 9	[6%] 5	58%
中国		[10%] 61	[9%] 5	[9%] 4	79%	195%	[7%] 7	[9%] 10	134%
うち	構造用集成材	[7%] 37	[6%] 3	[6%] 2	78%	376%	[4%] 3	[6%] 6	172%
ロシア		[4%] 28	[3%] 2	[3%] 1	79%	38%	[6%] 6	[3%] 3	52%
うち	構造用集成材	[5%] 28	[4%] 2	[4%] 1	78%	38%	[7%] 6	[4%] 3	52%
その他		[10%] 64	[13%] 8	[12%] 6	73%	120%	[10%] 11	[13%] 13	124%
うち	構造用集成材	[0%] 0	[0%] 0	[0%] 0	-	-	[0%] 0	[0%] 0	-

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号910、第4412.51号100、第4412.52号100、第4412.59号100、第4412.91号100、第4412.92号100、第4412.99号110、190と、第4418.81号（構造用集成材）の合計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：「-」は輸入実績なし等。

5：EUに英国は含まない。

6：EUはフィンランド、ルーマニア、オーストリアの合計ではない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（木質ペレット、LVL）

- 2026年2月の木質ペレット輸入量は、前月比88%、前年同月比134%の71万トン。

（単位：千トン）

国名	年	月別数量					累計数量		
		2025年 (1月～ 12月)	2026年 1月	2026年 2月	前月比	前年 同月比	2025年 1～2月	2026年 1～2月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 8,638	[100%] 800	[100%] 707	88%	134%	[100%] 1,183	[100%] 1,507	127%	
ベトナム	[66%] 5,682	[66%] 531	[68%] 483	91%	160%	[67%] 794	[67%] 1,014	128%	
カナダ	[15%] 1,293	[19%] 154	[14%] 97	63%	80%	[15%] 180	[17%] 251	139%	
米 国	[8%] 676	[0%] -	[6%] 45	皆増	皆増	[0%] 0	[0%] 45	15,995%	
マレーシア	[5%] 472	[6%] 49	[7%] 47	96%	74%	[8%] 97	[6%] 96	100%	
インドネシア	[5%] 405	[8%] 63	[5%] 33	52%	87%	[8%] 96	[6%] 96	100%	
その他	[1%] 110	[0%] 3	[0%] 2	76%	58%	[1%] 15	[0%] 6	37%	

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.31号000を集計。

注2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

注3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2026年2月のLVL輸入量は、前月比74%、前年同月比113%の4.3万m³。

（単位：千m³）

国名	年	月別数量					累計数量		
		2025年 (1月～ 12月)	2026年 1月	2026年 2月	前月比	前年 同月比	2025年 1～2月	2026年 1～2月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 505	[100%] 57	[100%] 43	74%	113%	[100%] 88	[100%] 100	114%	
中 国	[66%] 333	[62%] 36	[55%] 24	66%	95%	[67%] 59	[59%] 59	101%	
ベトナム	[31%] 158	[34%] 20	[42%] 18	90%	154%	[29%] 26	[38%] 38	146%	
インドネシア	[2%] 11	[3%] 2	[2%] 1	54%	90%	[3%] 3	[3%] 3	110%	
その他	[1%] 3	[0%] 0	[0%] 0	98%	71%	[1%] 1	[0%] 0	64%	

資料：財務省貿易統計

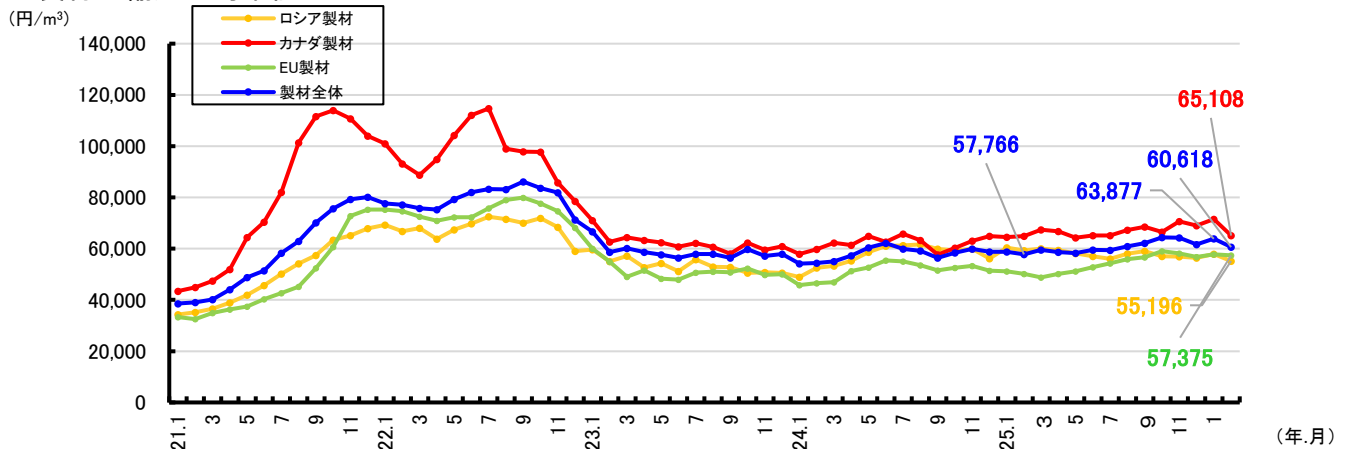
注1：輸入統計品目表第4412.41号000、4412.42号000、4412.49号を集計。

注2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

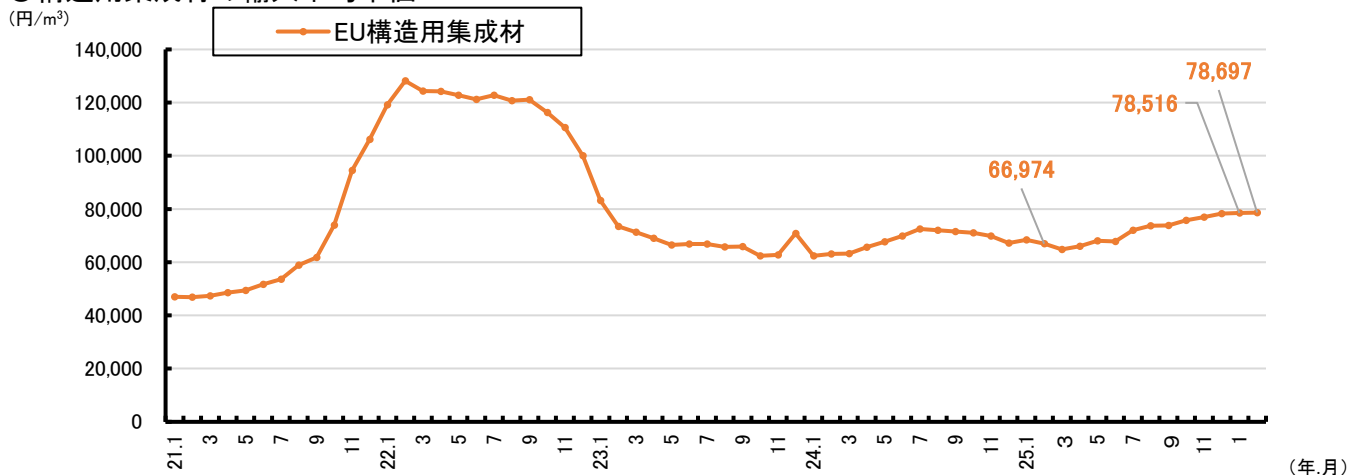
注3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2026年2月の製材輸入平均単価(総輸入額/総輸入量)は、前月比95%の60,618円/m³(前年同月比105%)。国別に見ると、カナダは前月比91%の65,108円/m³(前年同月比横ばい)、EUは前月比99%の57,375円/m³(前年同月比114%)、ロシアは前月比95%の55,196円/m³(前年同月比93%)。
- EUの構造用集成材輸入平均単価は、前月比横ばいの78,697円/m³(前年同月比118%)。
- 合板輸入平均単価は、前月比101%の82,739円/m³(前年同月比横ばい)。

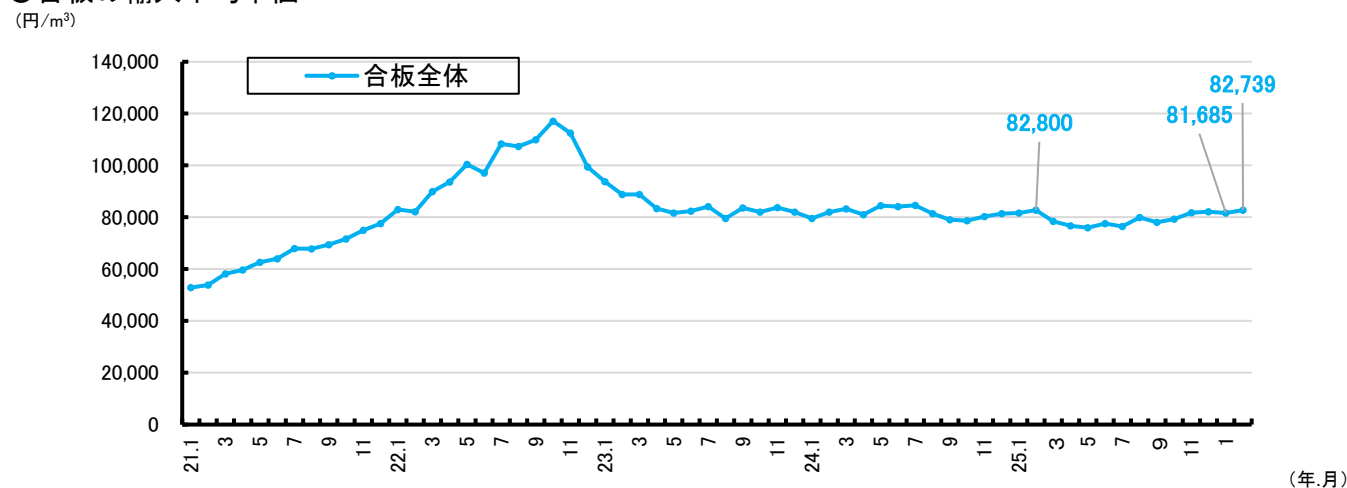
○製材の輸入平均単価



○構造用集成材の輸入平均単価



○合板の輸入平均単価



資料：財務省貿易統計

注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

特用林産情報-1 特用林産物の国内生産量

- 2024年の食用きのこ類の生産量は43万4,900トン（対前年比99.8%）となった。
- たけのこの生産量は2万865トン（対前年比126.2%）となった。
- 木炭の生産量は1万207トン（対前年比91.3%）となった。

〇きのこ類

単位:トン

年次	品目	きのこ類													
		しいたけ計	乾しいたけ	乾しいたけ (生換算値)	生しいたけ	きのこ類		なめこ	えのきたけ	ひらたけ	ぶなしめじ	まいたけ	エリンギ	きくらげ類	まつたけ
						原木栽培	菌床栽培								
2012	平成24	92,414	3,705	25,938	66,476	8,426	58,050	25,816	134,097	1,883	122,276	43,251	38,163	819	16
2013	25	92,437	3,499	24,491	67,946	7,707	60,239	23,383	133,647	2,290	117,363	45,453	40,200	765	38
2014	26	89,093	3,175	22,222	66,872	7,437	59,435	21,796	135,919	2,327	115,751	49,541	39,645	894	42
2015	27	86,284	2,631	18,415	67,869	7,611	60,258	22,897	131,683	3,263	116,152	48,852	39,692	1,182	71
2016	28	88,241	2,735	19,141	69,100	7,324	61,778	22,935	133,297	3,449	116,271	48,523	40,475	1,278	69
2017	29	86,767	2,544	17,807	68,961	6,393	62,568	22,946	135,615	3,828	117,712	47,728	39,088	1,710	18
2018	30	88,196	2,635	18,442	69,754	5,965	63,789	22,809	140,038	4,001	117,916	49,670	39,413	2,309	56
2019	令和元	87,971	2,414	16,901	71,071	5,914	65,157	23,285	128,974	3,862	118,597	51,108	37,635	2,315	14
2020	2	86,394	2,302	16,115	70,280	5,396	64,884	22,835	127,914	3,824	122,802	54,993	38,500	3,132	32
2021	3	86,573	2,216	15,514	71,058	4,981	66,078	24,063	129,587	4,463	119,545	54,521	38,344	3,031	39
2022	4	82,048	2,034	14,241	67,807	4,328	63,479	23,738	126,321	4,501	122,840	56,763	37,798	2,961	35
2023	5	76,088	1,816	12,714	63,374	3,995	59,379	23,752	117,543	4,630	117,924	55,290	35,793	2,904	19
2024	6	72,974	1,574	11,015	61,959	3,272	58,688	23,874	120,678	4,004	117,536	56,609	34,639	3,003	51

注: 乾しいたけの生換算値は「乾燥重量×7」により算出した。

〇その他食品

単位:トン

年次	品目	その他食用		
		くり	たけのこ	わさび (根茎+葉柄)
2012	平成24	20,900	39,244	2,670
2013	25	21,000	24,203	2,381
2014	26	21,400	36,364	2,328
2015	27	16,300	28,980	2,213
2016	28	16,500	35,619	2,266
2017	29	18,700	23,582	2,214
2018	30	16,500	25,364	2,080
2019	令和元	15,700	22,285	1,973
2020	2	16,900	26,449	2,017
2021	3	15,700	19,917	1,886
2022	4	15,600	21,798	1,635
2023	5	15,000	16,528	1,384
2024	6	14,000	20,865	1,497

注: くりの生産量は、農林水産省大臣官房統計部『果樹生産出荷統計』、『令和6年産西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量』による。

〇非食品

年次	品目	非食品																
		生うるし	木ろう	竹材	桐材	木炭	竹炭	オガ炭	オガライト	薪	木質粒状燃料	つばき油	しきみ	さかき	煉炭	豆炭	木酢液	竹酢液
		kg	t	千束	m ³	t	t	t	t	層積m ³	t	kl	t	t	t	t	kl	kl
2012	平成24	1,438	18	1,199	589	22,646	1,002	6,615	1,051	62,071	98,184	44	2,176	860	11,283	12,696	2,136	242
2013	25	1,045	24	1,196	647	21,409	1,119	7,060	435	74,683	110,092	36	1,960	854	7,446	8,831	2,134	232
2014	26	1,003	28	1,178	669	20,281	599	6,869	318	84,659	126,035	50	1,958	908	7,841	10,742	2,100	213
2015	27	1,182	19	1,235	599	17,711	499	7,643	261	72,493	119,570	47	1,892	1,016	6,104	8,235	2,497	185
2016	28	1,294	24	1,272	492	16,769	411	6,553	185	82,584	120,162	70	1,875	1,091	5,123	7,262	2,774	203
2017	29	1,434	15	1,196	465	15,942	526	6,628	88	82,839	126,532	61	1,881	945	6,615	7,306	2,410	193
2018	30	1,845	41	1,143	404	14,699	534	6,479	79	76,659	131,401	45	1,586	811	5,936	6,846	2,450	197
2019	令和元	1,997	26	1,071	264	14,393	447	6,481	66	73,739	147,321	40	1,524	935	4,728	6,093	2,087	193
2020	2	2,051	21	1,030	200	12,945	451	6,363	31	83,536	148,726	42	1,672	866	4,054	5,735	1,743	151
2021	3	2,036	22	916	187	11,550	459	5,156	19	91,791	155,836	78	1,865	1,075	3,972	5,123	1,708	192
2022	4	1,766	22	828	230	11,882	426	4,773	5	91,516	158,046	69	1,774	1,000	3,615	4,830	1,689	190
2023	5	1,651	23	898	275	11,176	526	5,715	4	100,167	158,646	40	1,663	1,032	3,294	3,958	1,537	174
2024	6	1,792	23	879	312	10,207	642	5,460	3	99,161	151,868	35	1,450	900	2,084	3,248	1,387	149

注: 1 木炭は白炭、黒炭、粉炭を含む。

2 煉炭、豆炭の生産量は日本煉炭工業会調べによる。

資料: 農林水産省『令和6年特用林産基礎資料』

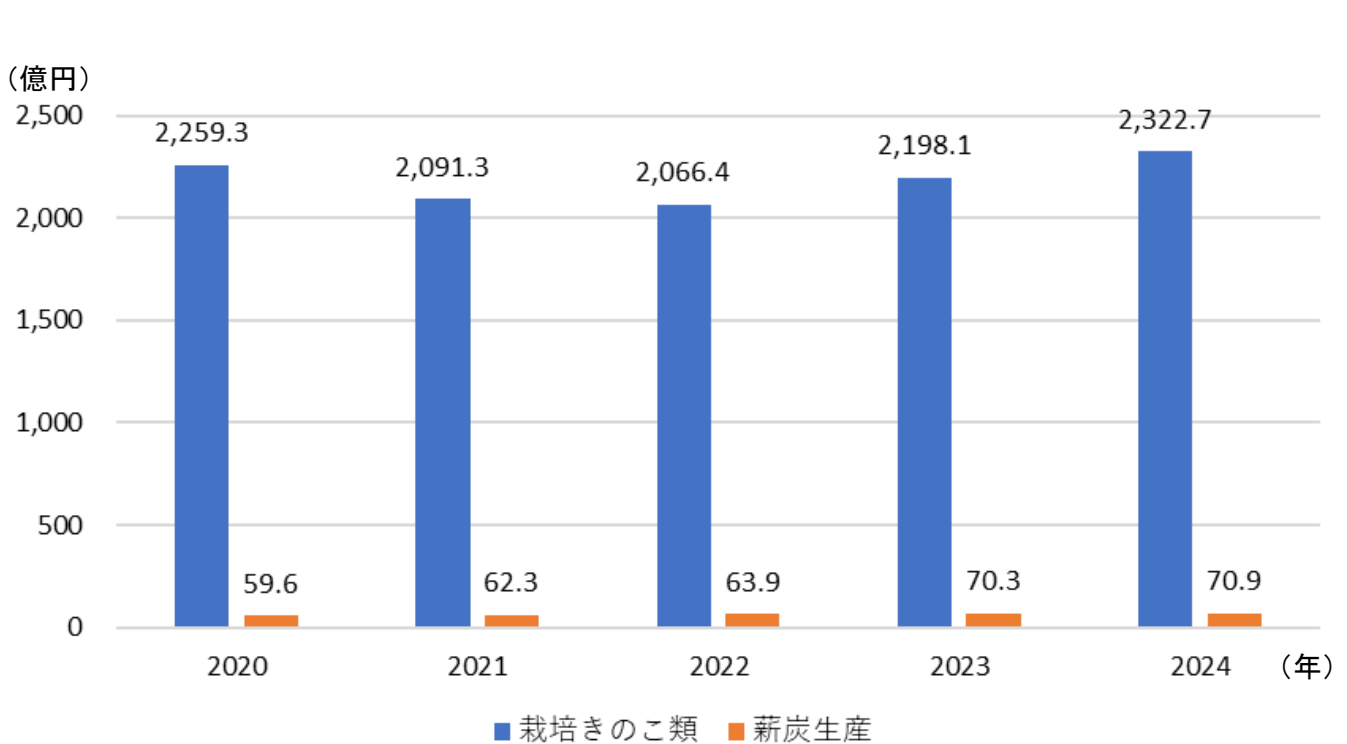
特用林産情報-2 特用林産物の産出額

- 2024年のきのこ類の林業産出額は、2,322.7億円（対前年比105.7%）となった。
- 薪炭の林業産出額は、70.9億円（対前年比100.9%）となった。

（億円）

	2020	2021	2022	2023	2024
栽培きのこ類	2,259.3	2,091.3	2,066.4	2,198.1	2,322.7
薪炭生産	59.6	62.3	63.9	70.3	70.9

出典：林業産出額



資料：農林水産省「令和6年林業産出額」

特用林産情報-3 特用林産物の輸出入量

- 2026年2月の乾しいたけの輸出量は3トン、輸入量は786トン。
- 2026年2月の木炭の輸出量は46トン、輸入量は5,048トン。

品目	単位	2022		2023		2024		2025		2026 2月	
		輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量
乾しいたけ	トン	36	4,596	36	4,350	40	4,292	57	4,268	3	786
生しいたけ	トン	14	2,262	16	2,162	16	2,691	13	3,583	2	593
なめこ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
えのきたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ひらたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ぶなしめじ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
まいたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
エリンギ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きくらげ類	トン	76	24,882	47	22,831	42	24,563	42	24,873	4	4,283
まつたけ	トン	0	408	0	481	0	487	0	526	-	-
くり	トン	…	8,481	…	8,585	…	7,415	…	6,925	…	484
くるみ	トン	…	53,991	…	54,099	…	55,483	…	53,538	…	9,488
たけのこ	トン	…	153,619	…	130,160	…	127,708	…	125,467	…	23,545
ねまがりたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
わさび	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
おうれん	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きはだ皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
木ろう	トン	5	10	7	5	7	15	7	15	4	-
生うるし	kg	…	23,880	…	28,140	…	29,420	…	25,395	…	0
つばき油	kl	…	218	…	210	…	138	…	136	…	55
竹皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹材	千束	0	159	0	163	0	130	0	120	-	22
桐材	m ³	…	9,813	…	9,910	…	9,337	…	8,824	…	1,401
木炭	トン	205	78,838	268	78,816	179	74,345	187	70,142	46	5,048
竹炭	トン	6	9,666	1	12,401	3	10,411	2	13,055	0	2,410
木酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
薪	層積m ³	558	9,048	580	8,508	328	6,035	562	6,724	-	1,274
オガライト	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
オガ炭	トン	…	43,396	…	45,198	…	44,785	…	46,569	…	6,279
煉炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
豆炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

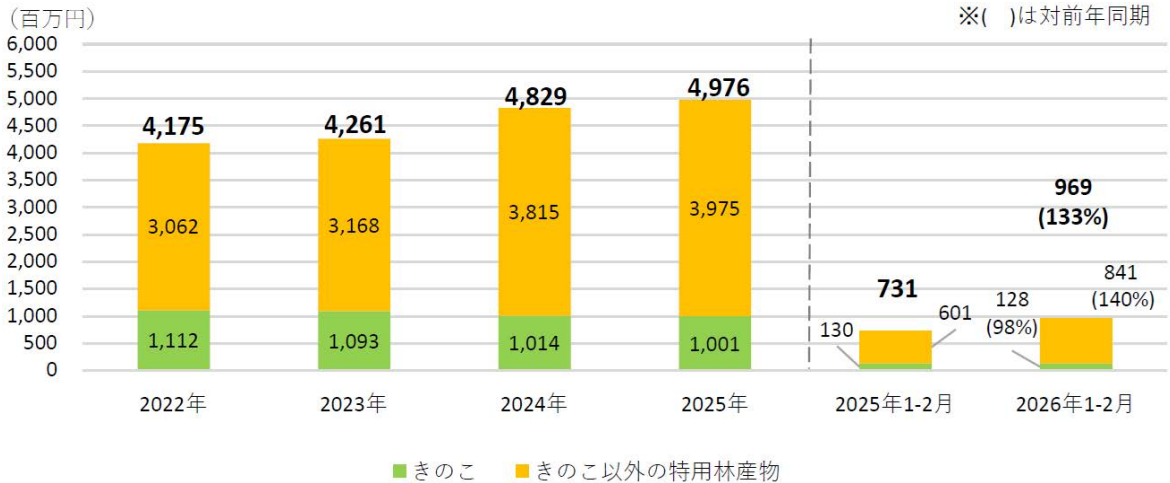
資料：財務省貿易統計

注：「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

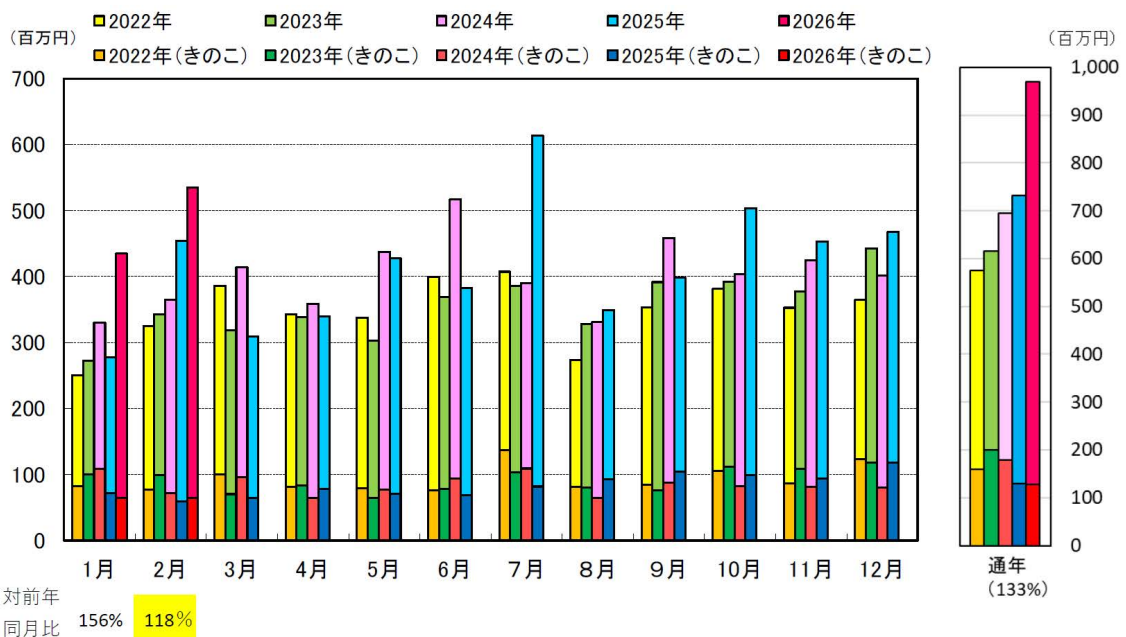
特用林産物の輸出額①

- 2026年1～2月の特用林産物輸出額は969百万円（前年同期比133%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけを含む）は128百万円（対前年同期比98%）、きのこ以外は841百万円（対前年同期比140%）となった。
- 2月の輸出額は、535百万円（対前年同月比118%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけを含む）が65百万円（対前年度同月比109%）、きのこ以外は470百万円（対前年同月比119%）となった。

○特用林産物輸出額全体の推移（累計）



○特用林産物輸出額全体の推移（月別）



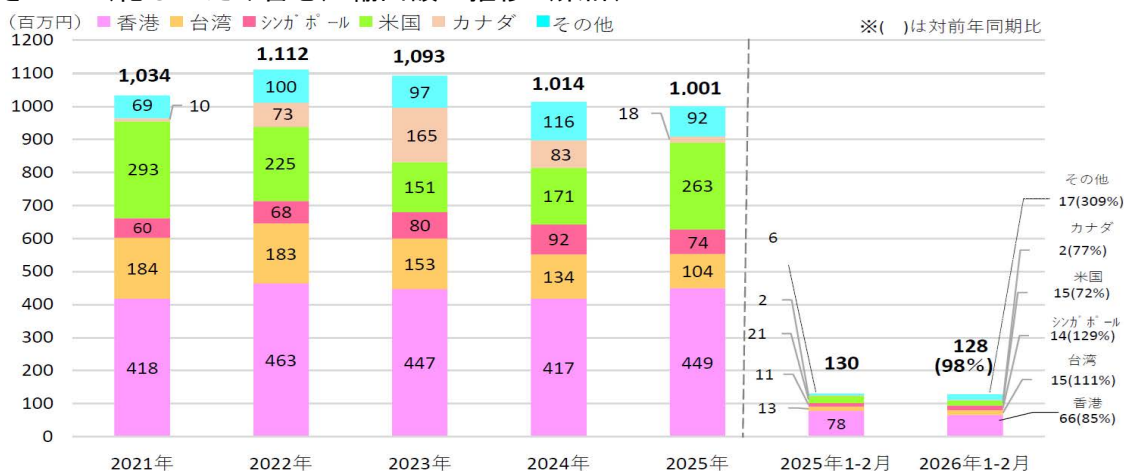
資料：財務省貿易統計

※生鮮きのこ、乾しいたけのほか、ロジン、植物性ろう等を含み、木質ペレット、チップ、薪、木炭は含まず。
 ※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

特用林産情報-4 特用林産物の輸出額②

- 2026年1～2月のきのこの輸出額は128百万円で、対前年同期比98%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比85%、台湾が111%、シンガポールが129%、米国が72%となっている。
- 2026年1～2月の輸出量は129トンで、対前年同期比95%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比96%、台湾が90%、シンガポールが105%、米国が63%となっている。

〇きのこ（乾しいたけ含む）輸出額の推移（累計）



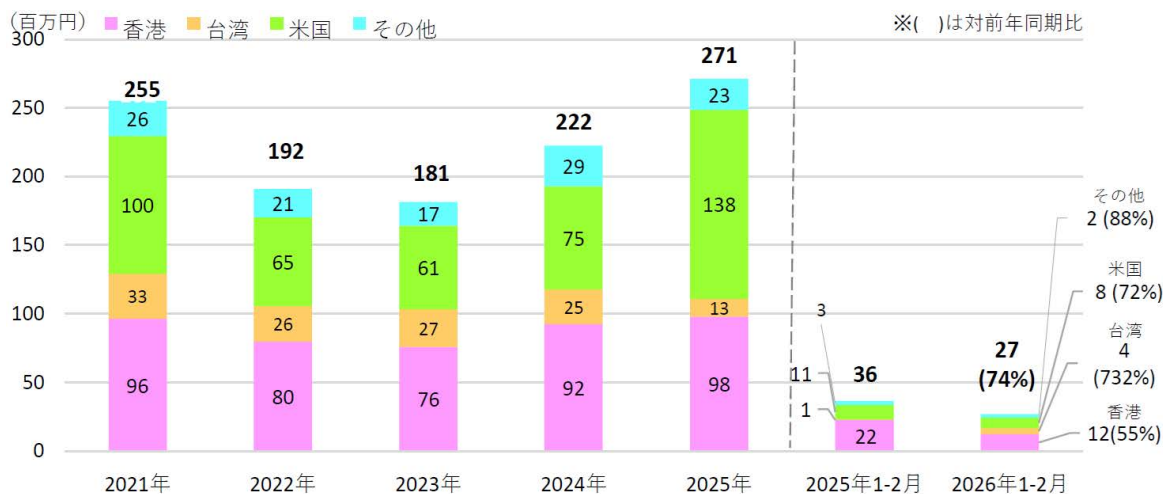
資料：財務省貿易統計

※()は対前年同期比

※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、生鮮きのこ、乾しいたけに加え、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ及びしいたけ以外の乾燥きのこを計上している。

- 2026年1～2月の乾しいたけの輸出額は27百万円で、対前年同期比74%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比55%、台湾は732%、米国は72%となっている。
- 2026年1～2月の輸出量は3トンで、対前年同期比51%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比53%、台湾が283%、米国が26%となっている。

〇乾しいたけ輸出額の推移（累計）

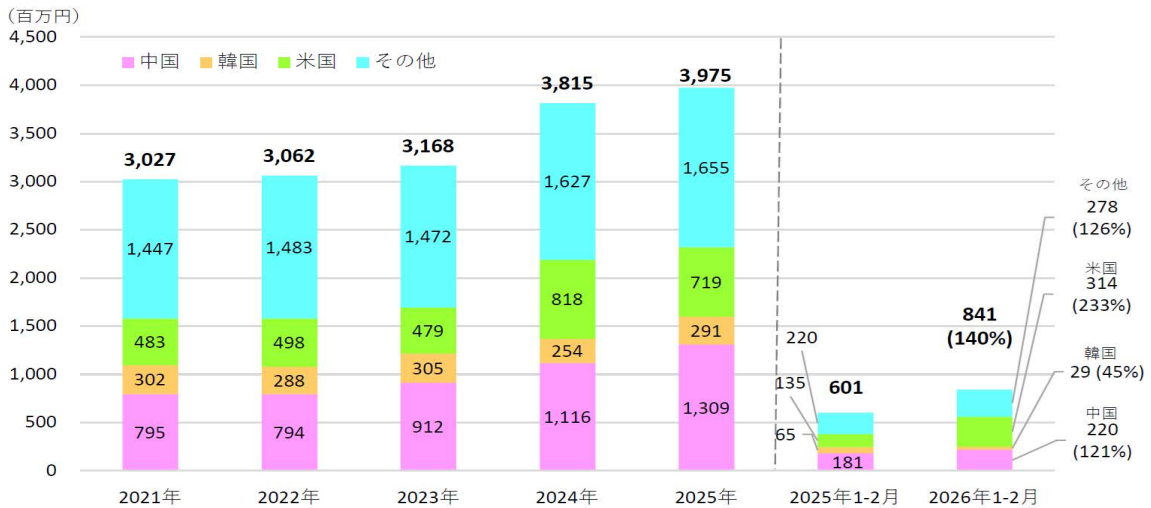


資料：財務省貿易統計

※()は対前年同期比

- 2026年1～2月のきのこ以外の特用林産物の輸出額は841百万円で、対前年同期比140%となっている。国別には、中国が対前年同期比121%、韓国が45%、米国が233%となっている。取引額の大きい品目では、ロジン（松脂）が対前年同期比86%、植物性ろうが130%、テルペン油が455%となっている。
- 2026年1～2月の輸出量は398トンで、対前年同期比97%となっている。主要な輸出先では、中国が対前年同期比117%、韓国が25%、米国が57%となっている。

○きのこ以外の特用林産物の輸出額の推移（累計）



資料：財務省貿易統計
※()は対前年同期比

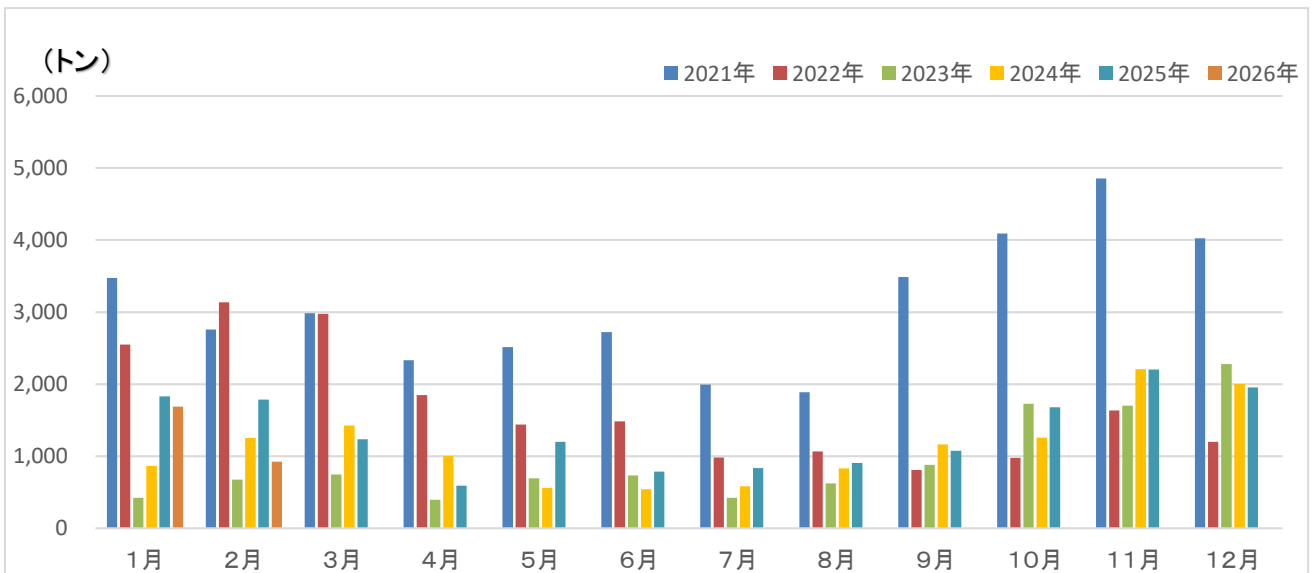
特用林産情報-5 中国からのしいたけ菌糸輸入量

- 中国からのしいたけ菌糸の輸入量は近年増加傾向にあったが、生しいたけの原産地表示のルール改正があった2022年4月以降は減少傾向に転じている。
- 2026年2月の輸入量は923トンであり、対改正前の同月比29.4%となっている。

○中国からのしいたけ菌糸輸入量（月別）

（単位：トン）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年 (令和3年)	3,472	2,757	2,984	2,330	2,513	2,722	1,996	1,889	3,488	4,092	4,856	4,022
2022年 (令和4年)	2,548	3,136	2,975	1,850	1,439	1,482	980	1,068	808	979	1,634	1,199
2023年 (令和5年)	420	675	746	395	695	732	424	622	880	1,726	1,702	2,278
2024年 (令和6年)	867	1,253	1,424	1,002	562	541	580	832	1,162	1,258	2,206	2,004
2025年 (令和7年)	1,831	1,787	1,237	590	1,200	785	834	906	1,076	1,681	2,205	1,955
2026年 (令和8年)	1,688	923										



資料：財務省貿易統計

- 2026年3月のきのこの卸売数量は7,241トン（対前年同月比106.3%）となった。
- 2026年3月のきのこの卸売総額は3,521百万円（対前年同月比96.1%）となった。

きのこ類の卸売数量

単位：トン

	2022年	2023年	2024年	2025年 3月	2025年 10月	2025年 11月	2025年 12月	2026年 1月	2026年 2月	2026年 3月
生しいたけ	45,782	41,526	41,335	1,472	1,511	1,702	1,910	1,574	1,371	1,435
なめこ	14,650	14,428	14,329	529	557	507	534	476	470	527
えのきだけ	94,232	82,563	82,716	3,023	4,053	3,631	3,790	3,742	3,302	3,420
しめじ	62,384	55,221	52,450	1,787	2,206	1,908	1,954	1,802	1,801	1,859
合計	217,048	193,738	190,830	6,811	8,327	7,748	8,188	7,594	6,944	7,241

きのこ類の卸売総額

単位：百万円

	2022年	2023年	2024年	2025年 3月	2025年 10月	2025年 11月	2025年 12月	2026年 1月	2026年 2月	2026年 3月
生しいたけ	41,358	40,866	40,948	1,458	1,596	1,834	2,285	1,818	1,478	1,417
なめこ	6,426	6,593	6,866	267	272	269	275	244	234	241
えのきだけ	22,842	25,259	28,128	1,049	1,295	1,590	1,859	1,592	1,280	1,036
しめじ	24,164	25,701	25,892	892	1,083	1,170	1,254	1,054	937	827
合計	94,790	98,419	101,834	3,665	4,246	4,864	5,673	4,708	3,930	3,521

きのこ類の卸売単価

単位：円/kg

	2022年	2023年	2024年	2025年 3月	2025年 10月	2025年 11月	2025年 12月	2026年 1月	2026年 2月	2026年 3月
生しいたけ	903	984	991	990	1,056	1,077	1,196	1,155	1,078	987
なめこ	439	457	479	504	489	531	514	512	498	457
えのきだけ	242	306	340	347	319	438	491	426	388	303
しめじ	387	465	494	499	491	613	642	585	521	445

資料：農林水産省「青果物卸売市場調査」を基に作成。

注1：月別の値は、全国の中央卸売市場のうち、一部の主要卸売市場で得られた旬別の調査結果を単純積み上げで集計したものである。

注2：年別の値は、全国の中央卸売市場の各年の調査結果及び農林水産省が保有する全国の地方卸売市場における直近の年度の市場情報を基に算出された推定値であり、2025年の値は、2026年4月末に更新予定。

林野庁が関係（主催・後援等）する各種セミナー・イベントの情報をご紹介します。

■ 4月中旬以降の開催情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
ウッドデザイン賞2026 「あなたのおすすめウッドデザイン」キャンペーン	2026年4月1日(水) ～7月3日(金)	オンライン募集	<p>周りで木を使った建築や空間、製品、木を使うことを促進する活動や取組など、「これはウッドデザイン賞にふさわしい素晴らしい作品だ」と思うものを推薦いただくキャンペーン</p> <p>主催：日本ウッドデザイン協会 推薦方法：下記（詳細）のページからご推薦ください。 詳細：https://www.jwda.or.jp/cms/news/contents/327/</p>
GREEN × EXPO 2027 (2027年国際園芸博覧会)	2027年3月19日(金) ～9月26日(日)	2027年国際園芸博覧会(横浜市上瀬谷)	<p>「幸せを創る明日の風景」をテーマに、2027年3月から横浜で開催される国際園芸博覧会</p> <p>主催：GREEN × EXPO協会 事前申込：入場チケット購入(2026年3月19日～前売りチケット販売開始) 詳細：https://expo2027yokohama.or.jp/</p>

GREEN×EXPO 2027は

横浜

で。



公式マスコットキャラクター
トウクントウク

地球と。咲きに行こう。 The Blooming Field of Planetary Citizens.

GREEN×EXPO 2027

YOKOHAMA JAPAN -56-

2027年国際園芸博覧会
横浜・上瀬谷 2027.3.19—9.26
International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan
City of Yokohama, Kanagawa Prefecture Mar.19-Sep.26 2027



国際園芸博覧会事務局
〒220-8588 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

A1クラスの国際園芸博覧会
37年ぶりの日本開催

「GREEN×EXPO 2027」とは

2027年に神奈川県横浜市(旧上瀬谷通信施設)で開催される国際園芸博覧会の略称です。「植物」、「花」、「緑」を総称し、「自然」、「環境にやさしい」という「GREEN」、国際的に共通する課題の解決に寄与する国際博覧会「EXPO」という語を掛け合わせ、これからの自然と人、社会の持続可能性を追求し、世界と共有する場であることを表現しました。日本では1990年の大阪花の万博以来37年ぶりとなる最上位(A1クラス)での開催で、BIE(博覧会国際事務局)認定の万博でもあります。



公式マスコットキャラクター
トウナクトウナク

「テーマ」

「幸せを創る明日の風景」

Scenery of the Future for Happiness

横浜スタジアム約28個分、
約100ヘクタールの広大なエリア

1000万株の花と緑が集結

四季折々の花と緑が集い、豊かな自然や生物多様性を体感できる空間が広がります。会期初めには、約40種600本の桜が咲き誇ります。



開催場所

神奈川県横浜市 旧上瀬谷通信施設

開催期間

2027年3月19日(金)~9月26日(日)

公式SNS

公式ウェブサイト



X



Instagram



Facebook



YouTube



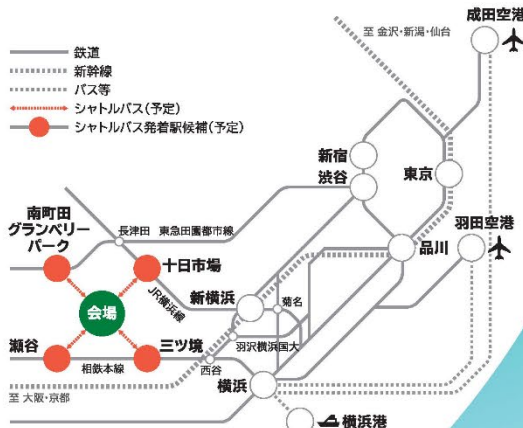
LinkedIn



お問い合わせ

GREEN×EXPO協会(公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会)

☎ 045-307-2027 ✉ info@expo2027yokohama.or.jp



2025年8月版

お問合せ先：
農林水産省農産局園芸作物課
花き産業・施設園芸振興室 (TEL: 03-6738-6162)

お知らせ

ウッドデザイン賞2026 「あなたのおすすめウッドデザイン」 キャンペーン ご推薦期間：4.1 (水) → 7.3 (金)



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2026

このデザイン素敵！

これは新しい木の使い方！

世の中に広めたい！

「あなたのおすすめウッドデザイン」をご紹介ください！

ウッドデザイン賞は、木の良さや価値を再発見させる製品や取組について、特に優れたものを消費者目線で評価し、表彰する顕彰制度です。皆様の周りで木を使った建築や空間、家具、雑貨、遊具などの製品、木を使うことを促進する活動や取組など、「これはウッドデザイン賞にふさわしい素晴らしい素晴らしい作品だ」と思うものをご紹介します。応募のご案内を差し上げます。



ご推薦方法



<https://forms.gle/eRceX57JAUhEy94GA>

二次元コードにアクセス
または上記URLより
必要事項を入力してください



ご推薦いただいた事業者の方へ、事務局よりメールにてウッドデザイン賞応募のご案内をさしあげます。



推薦された事業者自らが賞に応募いただけます。
応募締切：7/31(金)18時

※ 注意事項

- ✓ ご紹介いただいた情報をもとに、事務局において過去の応募履歴等予備審査を行い、支障のないものについて、賞の応募に関するご案内を差し上げます。
- ✓ どこからの紹介であるかは特定できない形で先方にご案内いたします。被推薦者には推薦者についての情報はお知らせしません。
- ✓ ウッドデザイン賞の可否は審査委員会による審査により決定し、ご紹介いただいた作品の受賞を確約するものではありません。推薦の有無は審査には影響いたしません。
- ✓ 事務局での対応の時間、及びご紹介先の応募に必要な登録作業等の時間を考慮し、おすすめ期間は、7月3日までとしております。
- ✓ 応募手続き等は、一般の応募者と同様になります。

ウッドデザイン賞の詳細はこちら

<https://www.wooddesign.jp/>

一般社団法人日本ウッドデザイン協会

Japan Wood Design Association (JWDA)

〒100-0004 東京都千代田区大手町1丁目2番1号
Otemachi Oneタワー6階 ワークスタイリング内

<https://www.jwda.or.jp>

会員募集中！

詳しくはサイトをご覧ください



① 建築・空間分野

2021年10月1日から
2026年10月1日に竣工



② 技術・建材分野 ▶

2026年10月1日までに成果が出て
いるもの/建材はプロダクツに同じ



③ プロダクツ分野

2026年10月1日に日本
国内の市場にでているもの



④ コミュニケーション分野 ▶

2026年10月1日までに実施実績のあるもの



⑤ 調査・研究分野

2026年10月1日時点で
公開可能なもの

ご紹介いただいた方の中から抽選で JWDAオリジナルの木製グッズをプレゼント！



(応募のご注意) 厳正なる抽選の上、当選された方にはメールでご連絡いたします。メールアドレスは正しくご入力ください。プレゼントの発送のため、ご住所・お電話番号及びご希望のプレゼントをお尋ねいたします。いただいた個人情報は、プレゼントの応募・発送にのみ使用させていただきます。

森林の土地を取得したときは届出が必要です

2026年4月～ 届出書に国籍等の記載が始まります

～森林の土地の所有者届出制度の概要～

詳しくは、所有者となった土地がある市役所・町村役場や、都道府県庁又は出先機関の林務担当までお問い合わせください。



なぜ届出が必要なのですか？

A

森林の所有者が分からないと、

- ① 行政が森林所有者に対して助言等ができない
- ② 事業者が間伐等をする場合に所有者に働きかけて森林を集約化し効率を上げられない

ことから、森林の土地の所有者の把握を進めるため、森林法に基づき、森林の土地の所有者届出制度が定められています。

また、**令和8年(2026年)4月から、届出書の様式が改正され、所有者となった方の国籍等を新たに記載していただくことになりました。**

なお、この届出により、森林の土地の所有権の帰属が確定されるものではありません。



適切に森林整備を推進！



どのような場合に届出が必要なのですか？

A

個人か法人かによらず、売買契約のほか、相続、贈与、法人の合併などにより、森林※¹の土地を新たに取得した場合に、事後の届出として森林の土地の所有者届出が必要です。

面積の基準はありませんので、面積が小さくても届出の対象となります。

ただし、国土利用計画法に基づく土地売買契約の届出※²を提出した場合には、森林の土地の所有者届出は不要です。

※¹ 都道府県が策定する地域森林計画の対象となっている森林です。登記上の地目によらず、取得した土地が森林の状態となっている場合には、届出の対象となる可能性が高いのでご注意ください。

※² 国土利用計画法に基づき、次の面積以上の土地の売買契約をしたときは事後届出が必要です。
市街化区域:2,000m² その他の都市計画区域:5,000m² 都市計画区域外:10,000m²



どのように届出を行うのですか？

A

所有者となった日から90日以内に、取得した土地がある市町村の長に届出を行います。相続の場合、財産分割がされていない場合でも、相続開始の日から90日以内に、法定相続人の共有物として届出をする必要があります。



届出書の提出



市役所・役場



森林所有者となった方は、立木の伐採を行う場合は市町村長に伐採及び伐採後の造林の事前届出、1ha超の林地開発(太陽光発電設備の設置を目的とする場合は0.5ha超)を行う場合は知事の許可が必要です(保安林では、立木の伐採等及び土地の形質の変更について、知事の許可等が必要です)。



どのような届出書を提出するのですか？

A

届出書の様式に記入のうえ、次の書類を添付して提出してください。

- ① その森林の土地の位置を示す図面(任意の図面に大まかな位置を記入)
- ② その森林の土地の登記事項証明書(写しでもよい)、又は、土地売買契約書、相続分割協議の目録、土地の権利書の写しなど、届出する方が権利を取得したことがわかる書類

森林の土地の所有者届出書

年 月 日

市町村長 殿

次のとおり新たに森林の土地の所有者となつたので、森林法第10条の7の2第1項の規定により届け出ます

1 所有権の移転に関する事項

所有権移転年月日※1	年 月 日	所有権移転の原因※2	□売買 □相続 □その他 ()
届出人である新所有者(譲受人、相続人等)		前所有者(譲渡人、被相続人等)	
氏名(法人の場合は名称)		前所有者氏名(法人の場合は名称)	
住所(法人の場合は本店の所在地)※3		前所有者住所(法人の場合は本店の所在地)	
連絡先※3		※1 売買の場合は土地の引渡しの日、相続の場合は相続開始の日(被相続人の死亡の日)、相続に伴う遺産分割協議の終了の場合はその終了の日を記載	
電話番号		※2 所有権移転の原因をレ印で選択。その他の場合は、贈与、会社の合併など具体的に記載	
メールアドレス		※3 住所(法人の場合は本店の所在地)が国外の場合は、国内の連絡先を別紙で提出	
国籍等※4		※4 法人の場合はその設立に当たって準拠した法令を制定した国についてレ印で選択及び記載	
□日本国籍		※5 日本国籍以外で「永住者又は特別永住者」に該当する場合にレ印で選択(個人に限る)	
□日本国籍以外(国名等:)		※6 持分会社の場合は業務を執行する社員について記載。それが法人である場合は※4と同様	
□うち、永住者又は特別永住者 ※5		※7 議決権保有者が法人である場合は※4と同様	
代表者の氏名(代表者が法人の場合は法人名)		※8 役員又は議決権について、過半を占める国がない場合にレ印で選択	
国籍等※4			
□日本国籍			
□日本国籍以外(国名等:)			
□うち、永住者又は特別永住者 ※5			
役員※6			
□日本国籍の者が役員等の過半を占める			
□日本国籍以外の同一国の者が役員等の過半を占める(国名等:)			
□上記のいずれにも該当しない ※8			
議決権※7			
□日本国籍の者が議決権等の過半を保有			
□日本国籍以外の同一国の者が議決権等の過半を保有(国名等:)			
□上記のいずれにも該当しない ※8			

2 土地に関する事項

番	土地の所在場所 ※1		面積(ha) ※2	持分割合 ※3
	市町村名、大字、字 等	地番		
1				
2				
3				
4				
5				
合計				

※1 一筆の土地ごとに記載。全ての筆を記載できない場合は、記載欄の形式に準じて別紙に記載

※2 ヘクタール単位で小数第5位を四捨五入し、小数第4位まで記載

※3 新たに所有者となつた土地について共有している場合、届出人の持分割合を記載

3 その他参考となる事項

森林の土地の用途	□森林として所有 □林地の開発(具体的には、)
	□その他(具体的には、)
	※()には、林地の開発やその他の所有の目的(例:住宅建築)を記載。
森林の土地の境界	□地籍調査済又は測量済 □未測量であるが境界は把握 □境界未把握、不明等
備考	

注意事項

- 1 新たに所有者となつた森林の土地について、その所在する市町村ごとに提出すること。
- 2 規則第7条第2項に規定する次の書類を添付すること。
 - (1) 当該土地の位置を示す地図
 - (2) 当該土地の登記事項証明書その他の届出の原因を証明する書面

林野庁のWebサイトにおいて制度の紹介や、届出書の様式・届出書の入力を支援するファイルを公開しています。



<https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/todokede/>

森林 所有者届



届出を出さないとどうなるのですか？

A

届出をしない、又は虚偽の届出をしたときは、10万円以下の過料が科されることがあります。

No!

無届

No!

虚偽届出

お問合せ先：林野庁 計画課 森林計画指導班 (TEL 03-6744-2300)

クリーンウッド法

素材生産販売事業者、木材関連事業者の皆さま

木材の合法性確認を支援します！

令和7年4月に改正法が施行されたクリーンウッド法（※）では、川上・水際
の木材関連事業者による、木材・木材製品の合法性確認等が新たに義務付けら
れました。林野庁では以下のサポートを実施中です！

※正式名称「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律」

事業者の皆さまを
サポートします！

クリーンウッドシステム

事業者の皆さまがクリーンウッド法に基づき、原材料情報や合法性確認結果の保存・伝達等をweb上で行うことができる「クリーンウッドシステム」の運用を開始しています。本システムは利用者登録を行うことでパソコン、スマートフォン、タブレット等から無料でご利用いただけます。

クリーンウッドシステムの主な機能

- 1 原材料情報の登録
- 2 合法性確認結果の登録・記録の作成
- 3 情報伝達
- 4 報告書作成・データ集計

● システムを使うと 記録の保存や検索が容易になります



- 一覧で整理、検索可能
- 大量の書類の保管不要

登録木材関連
事業者の目印！

ロゴマークを作成しました！

クリーンウッド法に基づき登録を受け、合法性が確認できた木材・木材製品を積極的に取り扱う「登録木材関連事業者」の証であるロゴマークを作成しました。登録木材関連事業者としての認知度の向上に役立ちます。

登録木材関連事業者ロゴマーク



CLEAN WOOD

登録木材関連事業者の皆さまは名刺、納品書、パンフレットやウェブサイト等に本ロゴマークを使用できます。是非ご活用ください。

クリーンウッドシステム利用者登録申請はこちらから



ロゴマークの使用詳細についてはこちらから



クリーンウッド法は林野庁サイト「クリーンウッド・ナビ」で随時情報提供中！

クリーンウッド法に関する情報提供

クリーンウッド・ナビ

Clean Wood Navi



クリーンウッド法を
分かりやすく解説した
パンフレット等も掲載しています！



お問い合わせ先：林野庁木材利用課 合法伐採木材利用推進班 (TEL:03-6744-2496)

クリーンウッド法

定期報告のご提出をお願いします

クリーンウッド法では、以下に該当する第1種木材関連事業者は定期報告を行う**義務**が法律で定められています。

対象となる事業者の皆さまにつきましては、ご提出お忘れないうようお願いいたします。

対象となる事業者

令和7年4月1日～令和8年3月31日の期間に第1種木材関連事業者として譲り受けた木材等が表の区分1～3の数量以上の事業者が対象です(1つの区分でも該当する場合、報告対象です)。

(表)

区分	数量	報告先
区分1	国産材(丸太)の総量: 3万m ³	農林水産大臣
区分2	輸入した「木材」を丸太換算した総量: 3万m ³	農林水産大臣
区分3	輸入した家具・紙等の物品(「木材」以外)の総量: 1.5万トン	経済産業大臣

第1種木材関連事業者とは・・・

国内市場に最初に木材等(家具・紙等の物品含む)を持ち込む木材関連事業者のことです。具体的には以下のとおりです。

国産材を取り扱う場合	輸入材を取り扱う場合
<p>以下が第1種木材関連事業者に該当します</p> <p>(1) 素材生産販売事業者から素材(丸太等)を購入する事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伐採事業者から丸太を購入する製材工場 ・原木市場 ・原木を購入して輸出する事業者 <p>(2) 素材生産販売事業者から素材(丸太等)の販売を受託する事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木市場 ・原木流通事業者 <p>(3) 自ら所有する樹木を伐採し加工する事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社林を自社工場で製材し販売する事業者 (伐採の直営、委託を問わない) 	<p>以下が第1種木材関連事業者に該当します</p> <p>(1) 木材・木材製品の輸入を行う事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸入商社 ・代行輸入事業者 ・自ら輸入を行う合板工場等

報告期限 **令和8年6月末日まで**

- ・報告内容
 - ・報告様式データのダウンロード
 - ・具体的な報告先
- などの詳細については「クリーンウッド・ナビ」の定期報告ページをご覧ください！



こちらより
アクセス！

お問い合わせ先：林野庁木材利用課 合法伐採木材利用推進班 (TEL:03-6744-2496)

ウッド・チェンジ ロゴマーク 活用のご案内

ウッド・チェンジ ロゴマークは、「ウッド・チェンジ (※)」の趣旨に賛同し、木材利用の取組を積極的に推進していることのPRにご使用いただけます！（例：ポスター、チラシ、webサイト等）

広くロゴマークをご使用いただくことで、「ウッド・チェンジ」の輪が大きくなり、「木づかい運動」を盛り上げ、木材利用の需要拡大につながります。多くの方の使用登録をお待ちしています！

(※) ウッド・チェンジとは、身の回りのものを木に変える、木を暮らしに取り入れる、建築物を木造・木質化するなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動を指します。

【背景】

林野庁では、日本の森林の健全な維持やカーボンニュートラルにつながる「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を促進するため、建築物等の木造・木質化や身近なものの木製品化による木材利用拡大に取り組んでいます。

その一環で国民運動として「木づかい運動」を展開しており、「ウッド・チェンジ」を合言葉に様々な取組を行っています。



WOOD  CHANGE

WOOD  CHANGE



【ロゴマークの使用申請について】

1. ウッド・チェンジ ロゴマーク使用規程をご確認の上、内容にご了承いただける場合には、使用を開始する日の5日前（土、日、祝日の日数は算入しない）までに、登録フォームに必要事項を入力して申請してください。
2. 使用を認められないと判断される場合のみ、遅滞なく通知いたします。

(注) 使用が認められない場合の例として、営利を主たる目的とする場合が該当します。

例えば、販売して収益を上げる予定の布バッグやTシャツの柄としてロゴマークをプリントするなど、商品そのものへのマークの使用はお控えください。

なお、商品のチラシやパッケージ、イベントで着用するTシャツや配布者自ら製作する頒布品等に使用することは問題ありません。

ロゴマークの使用規程・ガイドライン、申請登録フォームなど、詳細はこちらから↓
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wood-change-logo.html>

お問い合わせ先：林野庁木材利用課 消費対策班 (TEL : 03-6744-2298)



原油価格・物価高騰等による影響を受けた

林業者・木材産業者の資金繰りをお手伝いします！

最大5年間
保証料免除

林業・木材産業災害復旧対策保証

対象事業	資金使途	借入期間	保証料率	保証割合	保証限度額
<ul style="list-style-type: none"> ・造林・育林 ・素材生産 ・木材・木製品製造 ・林業種苗生産 ・薪炭生産 ・きのこ生産 ・木材卸売等 ・木材製品利用 	運転資金	運転資金： 5年以内 (長期は 7年以内)	財務内容 に応じて 0.15% ～	80%	8,000万円
	設備資金	設備資金： 15年以内	1.80%		

借換資金に係る保証

対象事業	資金使途	借入期間	保証料率	保証割合	保証限度額
<ul style="list-style-type: none"> ・造林・育林 ・素材生産 ・林業種苗生産 	運転資金	10年以内 (設備資金の 借換： 15年以内)	財務内容 に応じて 0.20% ～ 1.80%	80%	3億円

※「借換資金に係る保証」は、全国木材協同組合連合会が実施している「林業施設整備等利子助成事業（借換資金）」への応募が必要です。

詳細：https://www.zenmoku.jp/mokukyodo/shisetsuseibi_josei_2/r07_josei.html

※保証には一定の審査があります。

(受付期間) 令和9年3月31日まで

再延長！

お気軽にご相談ください

独立行政法人 農林漁業信用基金

電話 03-3434-7825 (林業信用保証管理部)

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1

愛宕グリーンヒルズMORIタワー28階

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/index.html>

林業関係者のみなさま



みどり認定

をご存知ですか？

「みどりの食料システム法」に基づき、省エネなどに取り組む林業関係者の認定制度がスタートしています！

認定の対象となる取組例



・省エネ型林業機械の導入による
燃油使用量の削減



・きのこ栽培における断熱性能の高い被覆
資材等の利用による燃油使用量の削減

※写真はシイタケの菌床栽培における被覆資材の活用例

認定を受けるメリット

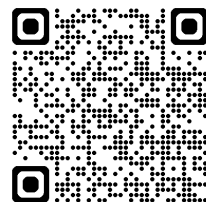
- さまざまな国庫補助金の採択で優遇されます。
- 都道府県の無利子融資の特例が活用できます。
- 環境にやさしい事業を行っていることをアピールできます。

(令和6年5月)

みどりの食料システム法の認定を受けてみませんか？

- 林業は、温室効果ガスの吸収源となる森林を育む環境に優しい産業です。一方で、林業機械などの燃油使用による温室効果ガスの発生といった環境負荷が生じている側面もあります。
- 今般、このような環境負荷を低減し持続可能な林業を確立するため、みどりの食料システム法が施行されました。
- 法律では、環境負荷低減に取り組む林業関係者の5か年の計画を認定し、各種支援措置を講ずることとしています。
 - ✓ 「環境負荷の低減」の取組例
 - ・ 燃油使用低減や温室効果ガスの排出削減など

申請書の作成方法は
こちら！



□ みどり認定を受けるメリット

メリット① さまざまな国庫補助金の採択で優遇されます！

- 計画認定を受けると、国庫補助事業の採択審査のポイントが加算されます。
対象事業：林業・木材産業循環成長対策交付金 など

メリット② 都道府県の無利子融資の特例が活用できます！

- 計画認定※1を受けると、林業・木材産業改善資金の特例措置(償還期間の延長)を活用できます。

融資	林業・木材産業改善資金
利率	無利子
償還期間	10年以内(据置3年以内)※特例措置では12年
貸付限度額	個人:1,500万円、会社:3,000万円 等

※1 林業・木材産業改善資金助成法に規定する林業・木材産業改善措置を含むこと。
※2 資金の詳細については都道府県に御相談ください。

□ みどり認定の申請方法










申請については、まずはお住まいの都道府県庁に御相談ください！

お問合せ先 農林水産省大臣官房みどりの食料システム戦略グループ
(TEL:03-6744-7186)

森林保険

森林所有者の皆さまの
安心を支える
公的保険制度です。

保険金のお支払いの対象となる 8 種類の災害

							
火災	風害	水害	雪害	干害	凍害	潮害	噴火災
山火事で 受けた損害	暴風による 幹折れ、根返り などの損害	豪雨、洪水に よる埋没、水没、 流失などの損害	豪雪、積雪による 幹折れ、根返りな どの損害	乾燥による 枯死などの損害	凍結、寒風など による枯死など の損害	潮風、潮水浸水 などによる枯死 などの損害	火山噴火による焼 損、幹折れ、埋没、 根返りなどの損害

森林保険の Q & A

加入できる森林は？

原則人工林ですが、
間伐等の人手が加えられた
天然林でも加入できます。

誰でも申し込めますか？

個人、法人を問わずどなた
でもお申込みでき、保険契
約者になることができます。

相談・申込先は？

最寄りの森林組合、森林組
合連合会にお気軽にご相談
ください。

山火事・自然災害への備えはできていますか？

いざというときの備えに、森林保険をご活用ください。



自然災害の例（風害）
令和5年8月発生 鹿児島県

加入例① 植栽後の干害や凍害に備えて・・・



樹種:スギ 林齢:1年生
面積:1ha 付保率:100%
森林の所在地 東京都
保険期間:1年間 割引:なし

保険金額(補償限度額)
101万円
保険料(掛け金)
3,999円/年

加入例② 間伐後の風害や雪害、火災に備えて・・・



樹種:スギ 林齢:30年生
面積:1ha 付保率:100%
森林の所在地 東京都
保険期間:1年間 割引:なし

保険金額(補償限度額)
279万円
保険料(掛け金)
8,732円/年



国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林保険センター

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町66番地2(興和川崎西ビル9階)
TEL:044-382-3500 URL:<https://www.ffpri.go.jp/fic/>



ウェブサイト



Facebook



YouTube

企業における森のプログラム活用 普及動画&パンフレットのご案内

「森のプログラム」とは、山村地域において、豊かな森林空間を活用して提供される健康・観光・教育等の体験プログラムです。

近年、社員の心と体の健康づくりやチームビルディング等を目的として、森のプログラムを活用する企業が増えています。

林野庁では、より多くの企業に森のプログラムを活用いただくため、**企業の皆様向けに、企業研修などでの森のプログラムの活用事例をご紹介します動画、パンフレットを作成・公開しました。**

●企業の皆様は、**社内における森のプログラム導入のご検討に**

●森のプログラムを提供する地域の皆様やコーディネーターの皆様は、**企業への森のプログラムのご案内に**

ぜひご活用ください！！

普及動画&パンフレットはこちら

林野庁 森林サービス産業 **検索**



動画



これまで森林と接点がなかった企業にも、社員研修における森のプログラムの活用がどのようなものかイメージをもっといただけるよう動画を作成しました。

実際の研修の様子や研修参加者&研修担当者へのインタビューで構成されています。

パンフレット



企業における森のプログラムの活用意義や活用事例をご紹介しますパンフレットです。

プログラム導入による効果について、参加社員へのアンケート結果等をもとに具体的に説明しています。

お問い合わせ先：林野庁 森林利用課 山村振興・緑化推進室 (TEL 03-3502-0048)